

演劇ぶっく

ENTERTAINMENT
P H O T O
M A G A Z I N E

10

OCT.2010
vol.147
750yen

ロングインタビュー
宮沢章夫

「演劇をつくる」
役者の
タクラミ

「表紙のヒト」

松本慎也

(スタジオライブ)

関戸博一

特集 | 演劇をつくる「役者のタクラミ」

演劇はライブです。その中心にいる俳優たちが様々な出来事を乗り越えて、観客の心を動かす作品に仕立て上げていく切磋琢磨に迫ります。

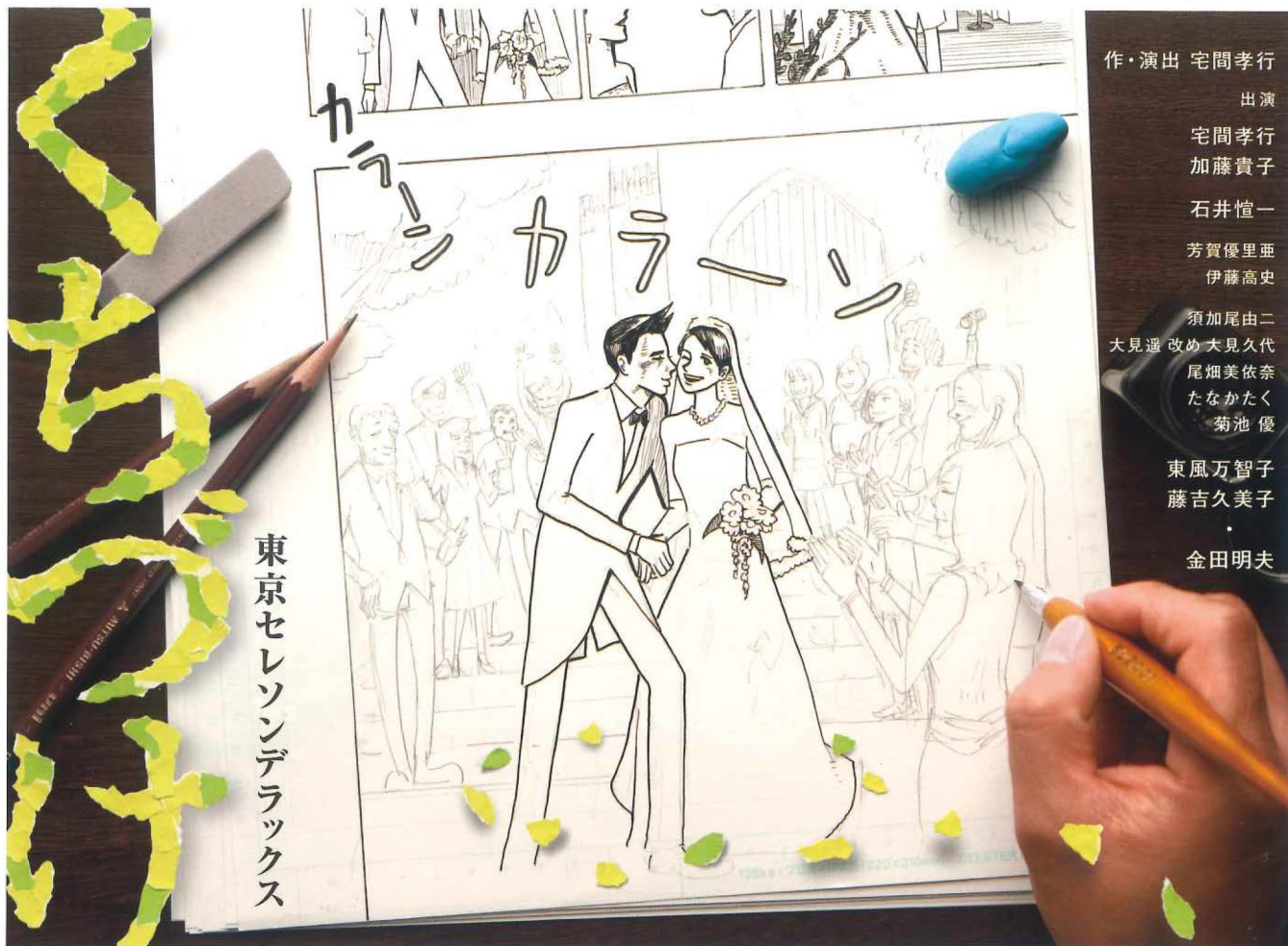
ヨーロッパ企画『サーフィンUSB』緊急? USBタクラサミット開催!

ナイロン100℃『2番目、或いは3番目』“役者のタクラミ”ここにあり | 大倉孝二 長田奈麻

『ガラスの仮面』二人の天才少女の壮絶な演劇バトル

| 大和田美帆 奥村佳恵 新納慎也 細田よしひこ 香寿たつき

『広島に原爆を落とす日』つか芝居で挑む2役 | 筧利夫



東京セレソンドラックス 10周年記念イヤースペシャル『くちづけ』

神様・・・私は、どうすれば、いいんでしょう・・・

3年ぶりの新作『くちづけ』・・・これは本当にあった話を元に作った「優しくも切ない切ない物語」です。

東京セレソンドラックスがくついったのが2001年。その時からペンネームを使って脚本演出もするようになりました。そんな頃だったと思います。新聞の片隅の、小さい小さい事件を伝える十数行の記事・・・その事件の切なさに心がかきまわりました。事件の真相も、その後どうなったのかも、何も知りません。でも、この事件の切なさを伝える作品をいつか作りたい、とずっと思っていました。つまり10年近く暖めていたわけです。そして、やっと作れました。この物語が伝える「優しく」と「切なさ」を、是非、劇場でご覧いただきたいです。ご来場心からお待ちしております。

メインテーマ：あのわ「グッド・バイ・マイ・ラブ」(スピードスターレコーズ/ビクターエンタテインメント)

東京セレソンドラックス主宰 宅間孝行

東京公演1万人集客!!



大阪公演

2010年9月22日(水)～9月26日(日)
会場：梅田芸術劇場シアター・ドラマシティ
料金 前売・当日：¥5,800(税込) 全席指定
チケット好評発売中!

お問合せ：キョードーインフォメーション
06-7732-8888 <http://www.kyodo-osaka.co.jp/>

月	火	水	木	金	土	日
★12:00	★17:00	9/22 23祝	24	25	26	
◇13:00	◆18:00	●	○	○	○	★
◇14:00	●19:00	●	●	●	●	★

名古屋公演

2010年10月8日(金)～10月10日(日)
会場：名鉄ホール
料金 前売・当日：¥5,800(税込) 全席指定
チケット好評発売中!

お問合せ：中京テレビ事業
052-957-3333 <http://cte.jp/>

月	火	水	木	金	土	日
★12:00	★17:00	●19:00	10/8	9	10	
			●	★	★	★

札幌公演

2010年10月15日(金)～10月17日(日)
会場：道新ホール
料金 前売・当日：¥6,000(税込) 全席指定
チケット好評発売中!

お問合せ：ミュージックファン
011-208-7000(平日10:00～18:00) <http://musicfun.co.jp/>

月	火	水	木	金	土	日
			10/15	16	17	
			●	◆	◇	

作・演出 宅間孝行

出演

宅間孝行

加藤貴子

石井愼一

芳賀優里亜

伊藤高史

須加尾由二

大見通 改め大見久代

尾畑美依奈

たなかた

菊池 優

東風万智子

藤吉久美子

金田明夫



第一線で活躍中の演出家 映画監督 俳優 脚本家に学ぶ!

赤堀雅秋クラス 卒業公演(2010年4月28日、29日@笹塚ファクトリー)

2010年10月生募集中!

1年コース
夜間部

演劇コース

舞台に立つ!

専任講座

オリジナル作品を実際の舞台で公演!

1年間学んできたことの集大成として、実際に劇場公演を行います。専任講師のもとでじっくり作品づくりに取り組み、観客の前で発表することで「舞台に立つ」ことの楽しさと、可能性を体感します。



卒業公演担当

土田英生

つちだひでお ● 89年「B級ブラティス」(現MONO)結成。90年以降全作品の作・演出を担当。01年「崩れた石垣、のぼる鮭たち」、09年「チューホフを待ちながら」で第56回・第64回文化庁芸術祭優秀賞をそれぞれ受賞。並行してテレビドラマの執筆も多数。



MONO第37回公演「赤い葉」舞台写真
2010年2-3月/赤坂レッドシアター 他 撮影:谷古宇正彦

『演劇に恋を』

私が演劇に携わったきっかけは大学の学生劇団だった。そこには明確な演技理論などは存在せず、ただ怒鳴られてばかりいた。話し合えば必ず「根性」という言葉が出て来るような場所だった。最初はイヤで仕方なかった。一日も早くやめたかった。しかしそれでも……私は演劇に恋した。そしてそれは熱烈な恋愛だった。その恋愛は今でも現在進行形で私の中で続いている。それがいいことか悪いことは分からない。ただ、私自身は幸せだと感じている。問題があるとすれば、私の演劇への恋心が、やや落ち着いて来ていることくらいだ。倦怠期なのかとも知れない。私は期待する。ここで多くの人が演劇に強烈な恋をすることを。それが一生続く出会いになればいいと思う。役者になって売りたい。それは当たり前の欲望だと理解出来るけど、売れる為にどうしたらいいかという明確な道筋はない。チャンスを待っていたら……などという幻想は捨てた方がいい。ただ、実はとても簡単なことなのだ。演劇の魅力にきちんと取り付かれること。演劇に正面から恋をすること。その恋が中途半端な浮気心でなければ、自然と道は拓ける。好きな相手であれば一緒にいるだけで楽しい。そして、「好きこそ物の上手なれ」という言葉は真実だと思う。だから皆も恋をしに来て欲しい。相手はかなりの魅力的だ。それは私が保証する。願いがかなうなら、私も皆と一緒に、もう一度あの初々しい恋心を取り戻したい。

演劇コース 担当講師



演出家・劇作家・俳優
THE SHAMPOO HAT
赤堀雅秋



演出家・劇作家
ロリータ男爵
田辺茂範



演出家・劇作家
シベリア少女鉄道
土屋亮一



劇作家・演出家
ボカリン記憶舎
明神慈



演出家・脚本家・俳優
河原雅彦



俳優・演劇集団
キャラメルボックス
西川浩幸



演出家・劇作家・俳優
カムカムミニキーナ
松村武



演出家・俳優・トレーナー
東京オレンジ
横山仁一



舞台演出家
映像ディレクター
板垣恭一



演出家・振付家・ダンサー
カンパニーデラシネラ
小野寺修二



劇作家・脚本家・演出家
ペンギンパイルパイルズ
倉持裕



脚本家・演出家・俳優
Piper
後藤ひろひと



演出家・劇作家・演劇
集団キャラメルボックス
成井豊



プロデューサー・ディレクター
「劇団☆新感線」代表
細川展裕



演出家・劇作家・作家
遊園地再生事業団
宮沢章夫

映像俳優コース

専任講座

映画監督オリジナルの作品に出演!

担当講師がつくるオリジナル作品に出演。完成した作品は、1年間の集大成として実際に映画館で上映、舞台挨拶も行います!

[担当講師] 光石富士朗

みつしふじろう ● 「大阪ハムレット」(08年)「おぎゃあ。(02年)」等を手がけ、いずれも賞を獲得している。ことに演出の腕は群を抜いており、役者たちを生き生きとフィルムに収める手腕はみごと。最新作は「はさみhasami」。



「大阪ハムレット」第21回東京国際映画祭
「日本映画・ある視点」部門正式出品作品

[担当講師] 入江悠

いりえゆう ● 「SRサイタマノラッパー」(09年)「SRサイタマノラッパー2 女子ラッパ☆傷だらけのライム」(10年)。日本映画監督協会新人賞。ゆうばり国際ファンタスティック映画祭グランプリ。富川ファンタスティック映画祭アジア映画最高賞(韓国)。現在新作準備中。



「SRサイタマノラッパー2 女子ラッパ☆傷だらけのライム」2010年6月全国ロードショー

映画監督コース

専任講座

一人一本、「本当に撮りたい映画」を撮る! 映画監督になる!

監督からアドバイスを受けながら、1人1作品、脚本から撮影、編集までを手がけます。完成した作品は、実際に映画館で上映します。

[担当講師] 富永昌敬

とみながまさのり ● 「バビロニア山椒魚」(06年)「オダギリジョー、香椎由宇出演」『パンドラの匣』(09年)「染谷将太、川上未映子、仲里依紗、窪塚洋介出演」などの俊英。最新作は、本谷有希子原作「乱暴と待機」(浅野忠信、美波、小池栄子、山田孝之出演/10年秋公開予定)。



「乱暴と待機」2010年10月9日
テアトル新宿ほかにて全国ロードショー
©2010 乱暴と待機 製作委員会

舞台に立つ! 映画に出る! 映画監督になる!

ENBUゼミナール

〒164-0012 東京都中野区本町2-28-11-2F
東京メトロ丸の内線・都営大江戸線「中野坂上駅」より徒歩3分

資料請求・説明会予約のお申し込みはこちらから

☎ 03-5358-5211 (10:00～22:00)

✉ enbu-info@enbuzemi.co.jp

🌐 <http://enbuzemi.co.jp/>

QRコード対応機種携帯からも資料請求・ご予約いただけます▶



『学校説明会』開催中!

映画監督コース 11:00～12:30 演劇コース・映像俳優コース 13:30～15:00

★体験講座あり
(無料・予約制)

9/12 (日) 9/26 (日) 10/10 (日)

団塊の世代を代表して
万感の想いを込めて
演じます！歌います！ハジケます！

トム・プロジェクト プロデュース

ひとり芝居
風間杜夫
五部作一挙上演!!

カラオケマン★旅の空★一人★コーヒーをもう一杯★霧のかなた
作・演出 水谷龍二

2010年11月3日(水・祝)～11月10日(水)

下北沢 本多劇場 東京都世田谷区
北沢2-10-15 TEL.03-3468-0030

11月	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
	(水・祝)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)
13:00	★	★	★	★	★	★	★	★

全8ステージ(開演は開演の30分前)

ロビーにてひとり芝居写真展開催！五部作の世界が広がる！

- 入場料 全席指定
○一般前売:5,500円 一般当日:6,000円 学生:4,000円 シニア:5,000円
※学生・シニア等はトム・プロジェクトのみで販売。前売当日とも同料金 ※未就学児童の入場不可
○団体チケットあります。詳しくはトム・プロジェクトまでお問い合わせ下さい。
- 一般発売 2010年8月20日(金) 10:00～
- チケット取扱
○チケットぴあ 0570-02-9999(音声自動認識/Pコード 405-689)
○ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター対応)/0570-084-003(Lコード 38813)
○e+ (イープラス) <http://eplus.jp>
○本多劇場 窓口販売 (11:00～19:00)
○トム・プロジェクト 03-5371-1153 <http://www.tomproject.com>
- 主催: トム・プロジェクト
文化芸術振興費補助金(芸術創造活動特別推進事業) 平成22年度(第65回)文化庁芸術祭参加公演

真実の記憶への扉が今、開き始める...

月の女神 ディアナ

出演 姿月 あさと・湖月 わたる
今 拓哉・平澤 智・水谷 あつし

構成・演出・振付 謝 珠栄

脚本 篠原 久美子 / 作曲・音楽監督 林 アキラ / ミュージカル台本・作詞 T.S
美術 大田 創 / 照明 小川 修 / 音響 山中 洋一 / 衣裳 友好 まり子 / 舞台監督 加藤事務所
提携 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術劇場 小ホール1 2010年10月8日(金)～31日(日)

前売り開始: 2010年7月3日(土)
料金 [全席指定・税込]
前売り: 8,000円 / 当日: 8,500円

公演日程

10/8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
13:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
14:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

TSミュージカルファンデーション 03-5738-3567 (月～土10:00～18:00) ローンチケット 0570-084-003 (Lコード:30067) <http://l-tike.com/>
東京芸術劇場チケットサービス 03-5985-1707 <http://www.e-get.jp/tgg-ts/pt/> イープラス <http://eplus.jp>
チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:404-526) <http://t.pia.jp>

お問い合わせ: TSミュージカルファンデーション 03-5738-3567 <http://tsmusical.com>
主催・企画・製作 TS Musical Foundation

宮本亜門×鹿賀丈史！世界一ロングラン・ミュージカル！！

ホリプロ創業 50 周年記念公演

亜門版
ミュージカル

ファンタスティックス



蔡曉強

二瓶鮫一

齊藤暁

神田沙也加

鹿賀丈史

田代万里生

モト冬樹

矢部太郎
(カラテカ)

人生はいつだって愛にあふれている。
それぞれの人の、それぞれの「愛」の物語。

脚本・作詞=トム・ジョーンズ 作曲=ハーヴェイ・シュミット

演出・振付=宮本亜門



THE FANTASTICKS

Book and Lyrics by TOM JONES Music by HARVEY SCHMIDT

2010.10/9(土)▶31(日) Bunkamura シアターコクーン

料金/ステージシート¥10,000 S席¥9,000 コクーンシート¥5,000(全席指定・税込)
※ステージシートは出演者と同じ空間で臨場感溢れるご観劇をお楽しみいただけます(TBS ホリプロのみ取り扱い)

◆ホリプロチケットセンター 03-3490-4949 <http://hpot.jp> (PC&携帯)

◆TBS オンラインチケット TBS ファンタスティックス 検索

チケット好評発売中!

主催/TBS ホリプロ 提携/Bunkamura 企画制作/ホリプロ

THE FANTASTICKS is presented through special arrangement with Music Theatre International (MTI), 421 West 54th Street, New York, New York 10019 - tel: (212) 541-4684, www.mtishows.com



演劇集団キャラメルボックス
25th④クリスマスツアー



CAST

西川浩幸

上川隆也

近江谷太朗

大森美紀子

坂口理恵

岡田さつき

前田綾

温井摩耶

三浦剛

筒井俊作

實川貴美子

渡邊安理

何度か涙のうしろ姿をみても、
僕は、この世に、
生きていたい。



脚本・演出 成井豊

大阪公演 10月30日(土)~11月7日(日)
イオン化粧品シアターBRAVA!

料金(全席指定・税込) S席(1-2階A~D列) 7,000円 A席(2階E~J列) 6,000円
前売開始 8月29日(日) 10:00
主催 毎日放送 制作協力 サンライズプロモーション大阪 協力 ソネットエンタテインメント株式会社

	10/30	10/31	11/1	2	3	4	5	6	7
	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●

東京公演 11月30日(火)~12月25日(土)
サンシャイン劇場

料金(全席指定・税込) 7,500円 前売開始 9月19日(日) 10:00 主催 tv asahi 協力 ソネットエンタテインメント株式会社

	11/30	12/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
14:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

北九州公演 11月13日(土)13:00/18:00・14日(日)13:00
北九州芸術劇場 大ホール

料金(全席指定・税込) S席(1階A列~2階D列) 7,000円 A席(2階E列~3階F列) 5,000円
※ユース席(24歳以下、要身分証提示) 4,000円 前売開始 9月12日(日) 10:00 ※当日券は500円増し
主催 (財)北九州市芸術文化振興財団 共催 北九州市

チケット取り扱い:キャラメルボックス (大阪・東京公演のみ/北九州公演のご予約は各プレイガイドにて)
電話予約 0120-481-315
インターネット予約 <http://www.caramelbox.com/>

★25周年記念!! 10日間の期間限定!! 『サンタクロースが歌ってくれた』アナザーキャスト~10days Limited Version~
サンシャイン劇場 11月18日(木)~28日(日)の10日間限定で、キャストを総入れ替えた別バージョンを上演。詳しくはHPをご覧ください。

演劇ぶっく no.147 OCT.2010

特集 [演劇をつくる] 役者の タクラミ

演劇はライブです。
その中心にいる俳優たちが
様々な出来事乗り越えて、
観客の心を動かす作品に
仕立て上げていく、
そのポイントに迫ります。

[表紙のヒト]

008 松本慎也× 関戸博一

シェイクスピアという大きな器の中で
どれくらい僕たちが遊べるか。



010 [スタジオライブ]じゃじゃ馬ならし
出演者に聞け! タクラミアンケート
山本芳樹 青木隆敏 曾世海司 石飛幸治 林勇輔 岩崎大

012 ガラスの仮面
二人の天才少女の壮絶な演劇バトル
大和田美帆 奥村佳恵 新納慎也 細田よしひこ 香寿たつき

013 [ヨーロッパ企画]サーフィンUSB
緊急? USBタクラサミット開催!
石田剛太 酒井善史 角田貴志 諏訪雅 土佐和成
中川晴樹 永野宗典 西村直子 本多力 山脇唯



- 020 [ナイロン100℃]2番目、或いは3番目
“役者のタクラミ”ここにあり
大倉孝二 長田奈麻
- 022 広島に原爆を落とす日
つか芝居で挑む2役
寛利夫
- 024 [東京セレソンドラックス]くちづけ
台本はガイドライン、人物としてまず生きる
加藤貴子 東風万智子 芳賀優里亜
- 026 宝塚BOYS
BOYS、それぞれのたくらみ
浦井健治 杉浦太陽 黄川田将也 東山義久 藤岡正明 瀧川英次 石井一彰
- 028 [演劇集団キャラメルボックス]また逢おうと竜馬は言った
本筋からズレない“面白さ”を
筒井俊作 阿部丈二
- 030 東宝 エリザベート
僕だけにしか出せないトート像を
城田優
- 032 [ルドルフ]授業
「本当に好きな世界」を体現したくてユニットを結成
筒井加寿子
- 034 役の精神性や背景を引き出す稽古 小林聡美
- 036 自分の“色”を稽古場で探っていく 高橋一生
- 038 渡辺はま子さんの人生を感じながら 斉藤由貴
- 040 幻想的なのに現実を映す2人を 姿月あさと・湖月わたる
- 042 五部作でもう1人の風間杜夫の人生を 風間杜夫
- 044 憧れていた役に挑むために 神田沙也加
- 046 [ぬいぐるみハンター]お肉体関係
バトルロイヤルな“Love & Peace”出演者全員座談会
- 048 出演者pod タクラミ版
あだち理絵子 甘粕阿紗子 伊比井香織 内山唯美 野口かおる 松本芽紅見
森すみれ いけだしん 猪岐英人 高間響 田中次郎 松居大悟 山増圭

LONG INTERVIEW

080 宮沢章夫



046 [劇団、江本純子]婦人口論
演出ノート 江本純子

048 TAKARAZUKA NEXT VOL.5
北翔海莉

050 NACSTYLE/PAGE.17
鈴井貴之×森崎博之

052 インディー高橋のPatchy小道具研究所 R/47

058 栗根まことの人物ウォッチング/千葉雅子

069 えんぶ情報館
東から1枚/久住昌之
ヨーロッパ企画の人類滅亡会議/ヨーロッパ企画
川上友里の風物詩/川上友里

071 特捜! えんぶスクープ関西版 吉永美和子

078 連載「過剰な人々」を巡るささやかな冒険⑧
[ジャン・ジュロドゥ/オンディーズ]宅間幸行・坂口真

089 素晴らしいギャグ人生2010 西川清幸

092 フロム・リーダーズ
プレゼント広場

[表紙MODEL]松本慎也×関戸博一 撮影◇安川啓太

CONTENTS

エンゲキの育て方

[特集]Don't think!! ~感じるエンゲキ~

054 [本能中枢劇団]
家庭の安らぎの喜びと恐怖
吉原朱美 飯野遠 真下かおる 成田さほ子 宮下今日子

056 [劇団機軸童子]
蟹 松田賢二 池下重太

057 [toi presents]
華麗なる招待 柴幸男

058 [ゴキブリコンビナート]
何も言えなくて...啞 Dr.エクアドル

059 [東京デスロック]
2001年-2010年宇宙の旅 多田淳之介

060 チラシ交換会
澤田育子(good morning N°5)×夏目慎也(東京デスロック)

061 歩く俳優
小宮節男(自己批判ショー)×佐伯さち子(野鳩)

062 近藤良平・コンドルズ 池袋大作戦!!
『にゅ〜盆踊り』潜入レポート

064 田辺茂範の取材簿
[東京オレンジ] ∞INFINITY/横山仁一

066 シバイのミカタ
バナナ学園純情乙女組/劇団銀水巻/椿組/「ビーター・パン」/維新派/ピースピット
オッセルズ/月刊「根本宗子」/「少年口伝」九四五/TSミュージカルファンデーション



作・演出:倉持 裕

出演

高橋一生、野波麻帆/小林高鹿、ぼくもとさきこ、玉置孝匡/河原雅彦

近藤フク、吉川純広、内田亜希子

前売り開始日:2010年7月10日(土)

M&Oplays + PPPP プロデュース

窓

東京公演 2010年9月16日(木)~26日(日) 本多劇場

料金: 前売り ¥5,500 / 当日 ¥5,800 (全席指定・税込)

<チケット取り扱い場所>

- ・電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 404-075)、http://pia.jp/t
- ・イープラス http://eplus.jp/ (パソコン・携帯)
- ・ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーターダイヤル 10:00 ~ 20:00)
0570-084-003 (Lコード: 36915 自動応答 24 時間受付)
http://l-tike.com+ローソン各店舗
- ・CN プレイガイド 0570-08-9999 (10:00 ~ 18:00 年中無休) http://cn.cn.jp
- ・カンフェティ 0120-240-540 (平日 10:00 ~ 18:00)
http://confetti-web.com/
窓口販売のみ
- ・本多劇場

お問い合わせ: 森崎事務所 03-5475-3436

TIME TABLE



東京都世田谷区北沢2-10-15 tel 03-3468-0030
井の頭線、小田急線、「下北沢」南口徒歩2分

大阪公演 2010年9月29日(水) シアター・ドラマシティ

19:00 1回公演 ※各回開演は開演の30分前 未就学児童はご入場できません。

料金: 前売り ¥6,000 / 当日 ¥6,300 (全席指定・税込)

<チケット取り扱い場所>

- ・電子チケットぴあ 発売日特電 (10:00 ~ 18:00) 0570-02-9507
発売日以降: 0570-02-9999 (Pコード 404-018) http://pia.jp/t/ + びあ各店舗、
サークルK サンクス、
- ・ローソンチケット 0570-084-005 (Lコード 52014)
0570-000-407 (オペレーターダイヤル 10:00 ~ 20:00)
http://l-tike.com+ローソン各店舗
- ・CN プレイガイド 発売日特電 (10:00 ~ 18:00) 0570-03-9911
発売日以降: 0570-08-9999 http://www.cnplayguide.com
- ・イープラス http://eplus.jp/ (パソコン・携帯)
- ・梅田芸術劇場窓口 発売日以降 10:00 ~ 18:00
- ・梅田芸術劇場オンラインチケット (発売日以降 10:00 以降) http://pia.jp/koume/(PC・携帯)



<協力> 梅田芸術劇場
お問い合わせ: 06-6377-3888 (10:00AM ~ 18:00)
www.umegai.com

梅田芸術劇場 シアター・ドラマシティ
大阪市北区茶屋町19-1

- 阪急電車をご利用の場合
「梅田駅」茶屋町口より徒歩3分。
- JR線をご利用の場合
「大阪駅」御堂筋北口より徒歩8分。
- 地下鉄をご利用の場合
御堂筋線「梅田駅」1号出口より徒歩5分。
御堂筋線「中津駅」4号出口より徒歩4分。
谷町線「東梅田駅」1号出口より徒歩7分。
四ツ橋線「西梅田駅」3号出口より徒歩11分。
- 阪神電車をご利用の場合
「梅田駅」東出口より徒歩10分。



3キャリア対応!



気になる? 演劇をケータイで! 栗根まこと、馬場徹、富岡晃一郎、松永玲子! 豪華
演劇人による毎週更新の「演モコラム」! 水野美紀がオススメの書籍を紹介する
「演モ書店へようこそ」! 演劇のなぜなに? 疑問・質問に答える「演劇モバイル探偵
社」などなど! 演劇好きのあなたの為のサイトです!

QRコード
から今すぐ
アクセス



staff

美術: 中根聡子/照明: 宮野和夫/音響: 高橋 剛/舞台監督: 久保熱生/衣裳: 戸田京子
演出助手: 大塚光成/制作助手: 土井さや佳/制作デスク: 大島さつき
宣伝美術: 坂村健次 (C2design) / 宣伝写真: 江藤麻志
宣伝スタイリスト: 関けいこ / 宣伝ヘアメイク: 大和田一美 (APREA)
衣裳協力: SPELLBOUND、kambani

制作&プロデューサー: 大矢由美

協力: (有)クリオネ、(株)舞プロモーション、(株)東宝芸能、(株)ハイレグタワー、(株)ダックス、
(株)リゾコーポレーション、(株)ヘリンボーン、(株)エー・チーム

主催・製作: (株)森崎事務所 M&Oplays

助成: 平成 21 年度文化芸術振興費補助金 (芸術創造活動重点支援事業)





松本慎也(左)

まつもとしんや○3月10日生まれ、愛媛県出身。AB型。Junior7(04年入団)。アトリエ・ダンカンプロデュース「風が強く吹いている」、『漂流教室〜大人たちの放課後〜』『困ったメン〜絶望のジングルベルMIX〜』『ミュージカル黒執事〜The Most Beautiful DEATH in The World〜千の魂と望む死神』等に出演。2009年秋に音楽ユニット「雪月花」としてCDデビュー。

次回予定○アトリエ・ダンカンプロデュース 音楽劇『ACT 泉鏡花』10/1〜10/10東京グローブ座他、仙台、名古屋、長崎、京都、金沢公演あり

A1...お客様の存在がスタミナ源だと思います。終演後は特別なことがない限り、疲れていてもロビーに出て「ありがとうございました」と一人一人のお客様にお礼を言います。お客様が楽しんでくださっているのを実感できるのが一番喜ばれますね。

A2...相手がいるということ大切にしたいと思っています。芝居は一人じゃできないし、そもそも人は一人じゃ生きられない。もちろん自分から発信することすごく大切だと思うんですけど、常にきちんと人を受けとめられることを大事にしたいですね。

関戸博一(右)

せきどひろかず○10月12日生まれ、神奈川県出身。A型。Junior7(04年入団)。LEMON LILVE vol.3「OH! クラウディア」、劇団M.O.P.『阿片と拳銃』、Nsquareプロデュース「in fantasio」『朗読劇 モスリタ』、むーとびあ:vol.2「はじめの食卓」、劇団クロックガールズ「あり得ない」等に出演。2009年秋に音楽ユニット「雪月花」としてCDデビュー。

次回予定○スタジオライフ「DRACULA」11/10〜28/博品館劇場、12/4-5/サンケイホールブリーゼ

A1...芝居を始めたころ、アルバイトなどで芝居をしたいけどできない時期があった。そのころに立ち返ると、いまこの舞台にいられるというのは幸せなことだなと思うんですね。だから、つらかった時期が今でもスタミナ源になっているかな。それがあからいふことに耐えられるという。

A2...自分の役というのはあくまで作品の一部である、ということ大事にしたいなと思っています。自分だけが目立ってほしいという発想ではなく、相手を生かすために逆に自分がどれだけ引けるかだったり。もちろん自分が目立ちたいという気持ちはやっぱりあるんですけど(笑)。

- Q.1 俳優をまっとうする為の「スタミナ源」は?
Q.2 役者として「こだわっていること」

表紙のヒト

スタジオライフ

松本慎也×関戸博一

シェイクスピアという 大きな器の中で、 どれくらい僕たちが 遊べるか。



シェイクスピアが実際にお芝居をしていたころは、女優はいなく男優のみで上演されていました。当時のことはともかく、現代で男優が女性を演じて面白くみせるには、いやでも企まざるをえない要素がたくさんあります。その仕掛を逆手にとって、スタジオライフの『じゃじゃ馬ならし』は男優が女性を演じているからこそそのおもしろさを多彩にみせてくれました。その真ん中で、思い切りよく姉妹役を演じていた二人のタクラミ対談!?



今回「じゃじゃ馬ならし」を観ていただいて、シェイクスピアっておもしろいなと改めて感じました。お二人はキャタリーナとピアンカという姉妹役ですが、まずそれぞれの役を演じられた印象からお伺いします。

松本 僕の一番最初の「じゃじゃ馬ならし」の印象は決して良いものではなくて。扱っているテーマが男尊女卑的な感じで、僕が演じたキャタリーナ目線で読むとイラッとしたんですね。納得できなくて、それが稽古場からみんなでお芝居をつくる、本番に入ってお客さんに一緒にいたことと、すごく愛を欲していて、本当はかわいらしいところをもったキャタリーナが自分の中に明確に起きてきたんですね。そういうキャタリーナをつくれた、そういうふうになんか生きたというのすごくよかったなと思います。

関戸 僕は妹のピアンカという役で、最初台本を読んだときは、すごく計算高く、男を手玉にとめるのかなと思ってたんですけど、自分でやってみると、いやな女というよりも、そういうふうな育つて本人は無い。

キャタリーナとピアンカという姉妹の落差をつくりだす

意識で男を手玉にしているという。いかに計算高くやろうかなと思いついて始めたものが、最終的にいかに奔放に、逆に自由に生きるかという要素がやっている中で増えていきました。計算しているというよりは、本能で生きている子なんだなという実感がすごくありました。稽古をしていく中でどんどん楽しくなっていました。

松本 いろいろ話しながらやっていて僕はどっしりもじゃ馬にならなすぎだめだと思つた。せつき(関戸)の役は美しく貞淑というのがはつきり伝わるというイメージじゃないですか。その落差を、どういっつくり方をつくるかというのを稽古場からずっと相談して。お互いのバランスなんですけど。

関戸 ピアンカはある意味絶対嫌われなきゃいけないポジションにいるし、ピアンカがあまりに愛されちゃうと今度はキャタリーナとの関係もおかしくなっちゃいます。キャタリーナをどう見せたいかによつてピアンカのポジションも変わってくるんだな。

松本 最初稽古場でやっていたときは、普通にもつと美しく貞淑にやっていたんだよね。

関戸 しとやかにね。

松本 でもだんだん、もつとはじめていくと、いか。全体の流れもそうですけど、その中で美しくいこうかなんですけど、もつと天然というか。

関戸 そうなんです。だからキャタリーナもピアンカもある意味生き方のスタンスは、どっちも自分に素直に、葛藤がありながら生きている中で生まれてきた。親から与えられた立場だったり、環境だったり違う方向に行っていました。

松本 求めているものが一緒で、「コミュニケーション」の手段が違うというか。

みんなバカになって 楽しくやろうよ

関戸 あとは、うちのシェイクスピア作品は「シェイクスピア様〜!」というのではなくて、「シェイクスピアおじさん」というのが

松本 しめつぽくならない。違まわいな表現とかではなくて。今回の芝居でも全部スリット、動いて、攻撃してとかだったので、観ている人たちにキャタリーナがいじめられているところも爽快感で楽しんでもらえるような。エンターテインメント性があつたと思います。シェイクスピアだから小難しくするのはなくて、シェイクスピアという大きな器の中でどれくらい僕たちが遊んでやろうみたいな、どのくらいいるんだことを放り込んでお客さんに楽しんでもらおうか。

みんなで今この瞬間を つくってこれている

— 今回演じられていて、一番気持ちいい瞬間、やりがいのある瞬間を教えてください。

松本 キャタリーナの一番最後の、長セリフの始まる瞬間ですね。共演者たちは役として「キャタリーナどうなんだ」という目で見てるじゃないですか。それプラス、絶対「マツシんがばれよ」というふうにも見えてくるのをすごく感じるんです。後ろにいるリジーとおばさんも「勝負はキャタリーナ!」とお客さまにというよりは、僕に声をかけてくれているのをすごく背中を感じて、お客さんはお客さんで僕が盛り上がるようにあつてくれて、照明さんも明かりをしっかりとつけて、みんなで今この瞬間をつくってこれる、自分はそれをもつてあとがなれるだけ。あの瞬間で「やってやる! みてるよ!」と。

関戸 あの瞬間の集中力はすごいものがあるよね。

松本 あの瞬間は一番、それだけになるといって、一番しびれるというか。あの分量の長セリフをしゃべるときは普通緊張するじゃないですか。ドキドキして。でも不思議とあのシーンは出る前もあまり緊張せず「今日もしやべりますか」みたいな感じで出て行つて。でもみんなからもうもの

あるので、ある意味どんどんバカになっていく(笑)。ザ・演劇! というのではなく、みんなバカになって楽しくやろうよという。小難しいことをやっている印象はなかったですね。

— 受け取る方も堅苦しい印象は全くなくて、そこがすごく新鮮でした。劇の構造としても「猫おばさん」と「売れない女優」という二人が狂言回し風に出てきて、彼女たちがいることで僕らも客観的に見れるというか。気持ちよく落ち着くという部分でも見やすいつくりになっていました。お二人はその部分でやはりやすかつたのかな。

松本 「売れない女優リジー」と「猫おばさん」のおばさん天使の二人がキャタリーナの心情をお客様とつないでくれる役というか、舞台にいる僕たちとお客様のその中間ぐらいにしてくれる。息置くという部分もあるし、やっている僕たちがパワーをもらえる部分もあつて、お客様とつないでもらうて、今度はお客様が僕たちに乗っかってきてくれて、お客様からもパワーをもらって最後の長セリフに向かう。そういう部分もあつたなあと思います。

— 俳優の躍動感みたいなものがダイレクトに受け止められて。スタジオライフは、男優がきちんと意識して女役を演じている気持ちがある。その上でエンターテインメントにしようという意識があるから、とても観やすいですね。俳優さんたちがすごく粒立って見えました。今まで男優が女性を演じてきたというところ、その部分が全部栄養になって出てきてよい結果が出ているんだな。シェイクスピア劇とスタジオライフの25年間はものすごく良い出会いだったのかなと思います。

関戸 うちの強みは、倉田さんもよく言うし僕らも思っているんですけど、ただ女役をやるというよりは、男が女役をやることの意味を常に考える。男性がやるからたとえばけんひつにしても、いやみひとつにしても、実際に女性やると観てきつくなっちゃうものを、男性がやることによつてすごくおもしろく観られる。

— 役者冥利につきますね。

松本 あの静寂の瞬間、僕のセリフを出す前の瞬間。しびれますね。

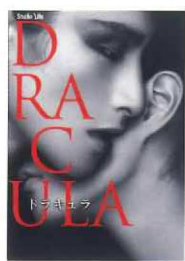
関戸 そのセリフを受けてこちらの方が緊張してるかもしれない笑。「なんか拾ったか」と思う。なんかあればそれを拾っていかなくちゃ。自分のこと言えれば男どもを手玉にとつていくのがとても楽しいというか(笑)。家庭教師二人がピアンカを取り合つてあるんですけど、男ってバカだなあ(笑)。哀しくなるくらい男ってバカだなーと。

— 自分のことですね(笑)。

関戸 そうなんです。本当に(笑)。その手玉にとつていく自分と、とられていく男二人の三人の呼吸がすごく合う瞬間というのがあつて。気持ちいいようにだまされていく。これ気持ちいいものなんだな(笑)。かわいい女の子が悪い子になつてくのは周りの男がチャホヤするからいけないんだ(笑)。思い通りに周りの人間たちが動いていく感覚というのはちょっと気持ちよかったですね。

スタジオライフ 『DRACULA』

原作○ブラム・ストーカー
脚本・演出○倉田淳
出演○高橋研一 曾世海司 山本芳樹
青木隆敏 及川健 三上博
山崎隆一 関戸博一 他
11/10〜28/博品館劇場
12/4-5/サンケイホールブリーゼ
【お問い合わせ】
スタジオライフ 03-3319-5645



公演情報

石飛幸治

(猫おばさん)



A1...客席からの登場でしたので、より普通のおばさんとして溶け込めるように、博品館のエレベーターの一階からお客様に混じって入りました。

A2...まずは、睡眠をとる事! いつもアンテナを張り、いろいろな事にいつも興味を持って子供のようにききまわること。

いしとびこうじ 7月31日生まれ、北海道出身。0型。Senior。「女中たち」、「タンゴモデルナ VOL.7 マリアの息子たち」、ブロードウェイ・ミュージカル「ドロージー・シャベロン」に出演。TV「七瀬ふたたび」のほか連続アニメ「真・マジンガー 衝撃! Z編」あしゅら男爵、ドラマCD「ボーの一族」、森ビル「ヒルズラジオ」ナレーションなど声優としても活躍。

次回予定◇ブロードウェイ・ミュージカル「Into The Woods」12/1~3◎六行会ホール

林勇輔

(リージー・ディクソン)



A1...ハードなスケジュールを全うするため、喉の潤いのためという正当な理由を掲げ、焼肉を食べること。タクラミという...実際に体が欲しました。役によって、食べたいと思うものが違うんです。

A2...僕の場合、やはり、コンプレックスだと思います。今年でちょうど役者生活15周年なのですが、続けてこれたのはコンプレックスが人一倍強かったからだと思います。あとは、欲望ですね。

はやしゆうすけ 5月16日生まれ、香川県出身。0型。Junior1 (95年入団)。無名塾ミュージカル「森は生きている」、一人芝居「つれない美男子」、「女中たち」、ブロードウェイ・ミュージカル「ドロージー・シャベロン」のほか小劇場、TV出演も。また渋谷の青い部屋「Vagabontic Fabulous Night」にも出演。

次回予定◇スタジオライブ「DRACULA」11/10~28◎博品館劇場、12/4・5◎サンケイホールブリーゼ

岩崎大

(ルーセンショー)

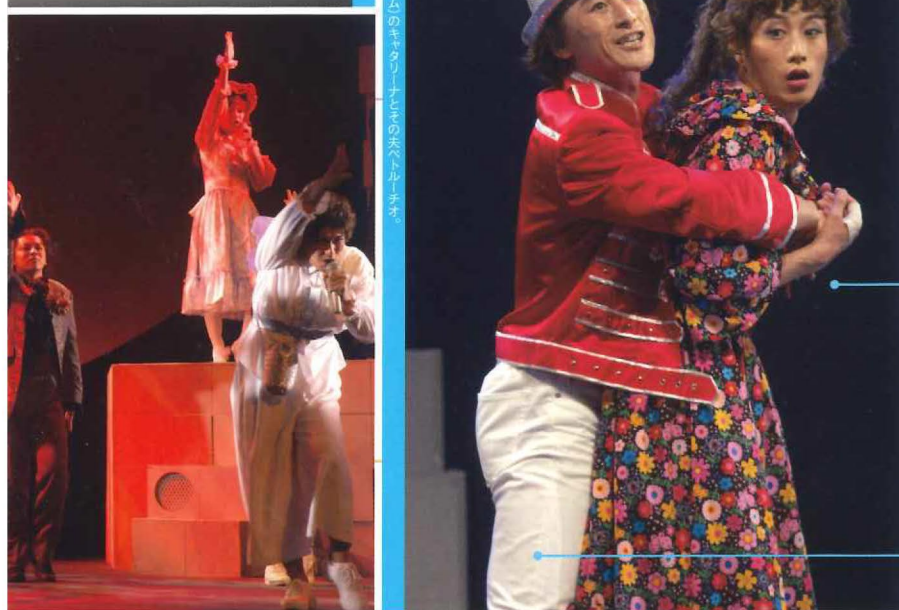
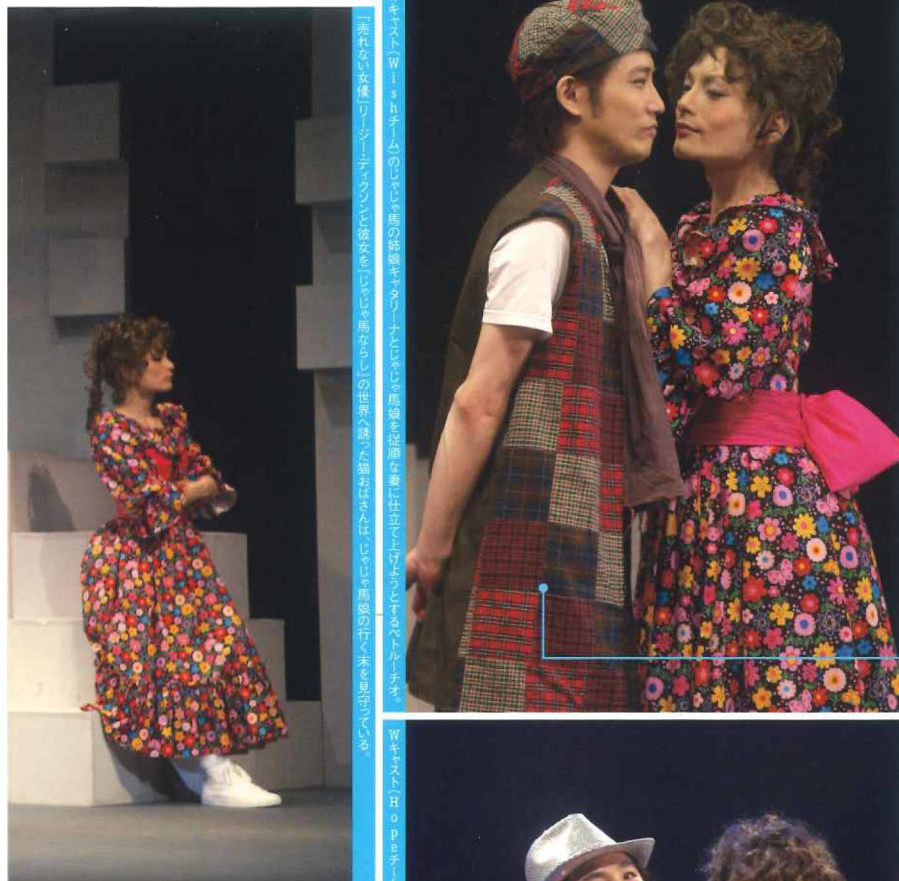


A1...たくらみと言う事は考えてないですが、いかに自分らしく舞台を楽しめるかは考えました。この役はこの人以外には考えられない、と思って欲しいな。今回は歌やダンスが沢山あったので、特に自分らしさを追求したと思います。

A2...スタミナ源は、やはり美味しいご飯です。美味いって事で、幸せになれるし、やる気にもなれる。いつもよりも、モリモリ食べてたと思います。そして何と言っても、お客様からの拍手や熱意ですね。これは何よりのスタミナ源でございます。ありがとうございます。

いわさきだい 7月2日生まれ、東京都出身。AB型。Junior3 (98年入団)。ミュージカル「ふたり」、明治座「わがば」、ミュージカル「あらしのよるに」、教一舎プロデュース「URASUJI」、東宝演劇「月の輝く夜に」、カムカムミニキーナ「アザラシ」、「美しき青徳 Beautiful Magic」、「ミュージカル風情事-The Most Beautiful DEATH in The World- 千の魂と迷った死神」等に出演。映画「The Other Life」(監督:赤地義洋)、「BOM!」(監督:鹿島勤)出演。

次回予定◇good morning N°5「祝・絶望」9/23~26◎THEATER BRATS



スタジオライブ 『じゃじゃ馬ならし』 出演者に聞く!

タクラミ アンケート

【演劇をつくる】
役者の
タクラミ

Q.1 今作での「タクラミ」を教えてください。
Q.2 俳優をまっとうする為の「スタミナ源」は?



山本芳樹

(ベトルーチオ)

やまもとよしき 7月22日生まれ、兵庫県出身。A型。Junior1 (95年入団)。加藤健一事務所「モスクワからの退却」「思い出のすきま」「川を越えて、森を抜けて」、ミュージカル「あらしのよるに」、アトリエ・ダンカン「サド侯爵夫人」、ライズ・プロデュースミュージカル「森は生きている」、DIEプロデュース 朗読劇「私の顔の中の消しゴム」等に出演。ダンスカンパニー・カレドスコープでの出演多数。映画「The Other Life」(監督:赤地義洋)出演。

次回予定◇アトリエ・ダンカンプロデュース 音楽劇「ACT 泉鏡花」10/1~10◎東京グローブ座他、仙台、名古屋、長崎、京都、全沢公演あり

A1...この役は、どうしても一般的に嫌な男とか、とんでもない奴とかというイメージがあると思うのですが、それをなにか惹かれるところがあるとか、ああ、こういう男なのかとか、何か魅力を感じるとか、どこか憎めないとか、少しでも好きになってもらえたら成功だと思って演じました。
A2...つねに進化していって欲しいという欲ですね。ということとは、どういうことかという、自分と向き合っていないといけないうことですね。もちろんときには、それが辛かったり、プレッシャーになったりしますが、つねにどこか磨いていきたいですね。なので頑張ります。



青木隆敏

(キャタリーナ)

あおきしげと 12月2日生まれ、滋賀県出身。0型。Junior5 (00年入団)。RUPプロデュース「The Kiss of an Invisible Man 透明人間の蒸気」「OVERSEAS オーバーシーズ」「ミュージカル風情事-The Most Beautiful DEATH in The World- 千の魂と迷った死神」等に出演。2003年秋より「イル」として音楽活動を行う。オリジナルCDも多数発売中。

次回予定◇演劇集団アーク・パフォーメーション「今度はおそろ」9/20~26◎シアターサンモール

A1...「トーマの心臓」のユリスモールでつけた筋肉を落として、より華奢に見えるようにしました。それでもじゃじゃ馬らしく動き回るキャラクターを目指して、アクションも出来る大好きなアンジェリーナ・ジョリーさんの映画を見まくってヒントを買ったりしていました。
A2...十代や二十代前半の頃は、若さだけで、ハードな舞台も乗り越えていたのですが、最近は...（笑）疲れが取れにくくなってしまっているの、焼肉に行ったり銭湯に行ったり、マッサージに行ったり、アロマを焚いたり、観葉植物を置いてみたりと、少しでも心と体を癒せるように気遣っています。



曾世海司

(ベトルーチオ)

そせかいじ 10月18日生まれ、宮城県出身。0型。Junior2 (96年入団)。G2プロデュース「止まらない12人」「痛くなるまで目に入れる」、王立劇場「荒波次郎」、リリパットアミーニ「夜の姉妹-劇場編」、玉造小劇場配給芝居vol.3「お代り」、ライズ・プロデュースミュージカル「森は生きている」等、ほかに新感覚落語「YEBISU亭」出演。TV、ラジオへの出演も多数。映画「オーディション」(監督:三池崇史)、「The Other Life」(監督:赤地義洋)がある。また書籍、WEB等でエッセイも発表。

次回予定◇アトリエ・ダンカンプロデュース 音楽劇「ACT 泉鏡花」10/1~10◎東京グローブ座他、仙台、名古屋、長崎、京都、全沢公演あり

A1...「ベトルーチオは強引な豪傑」というのがこの役の第一印象。ですが、第二、第三印象もちゃんと感じてもらえるような要素を、セリフ以外の部分に如何に盛り込めるか、これが勝負所でした。結果、ベトルーチオの「愛」がそこに透けて見えたら嬉しいな、と思いついて。
A2...朝食!これ大事!という時の踏張りには効く!...気がします。心の滋養には、映画館での映画鑑賞。その時取り組んでいる芝居と全く違うジャンルの映画を見ると、意外と参考になったり元気をもらえたり。何より、劇場で見る予告編が好きで、あれだけでもワクワクしちゃいます。

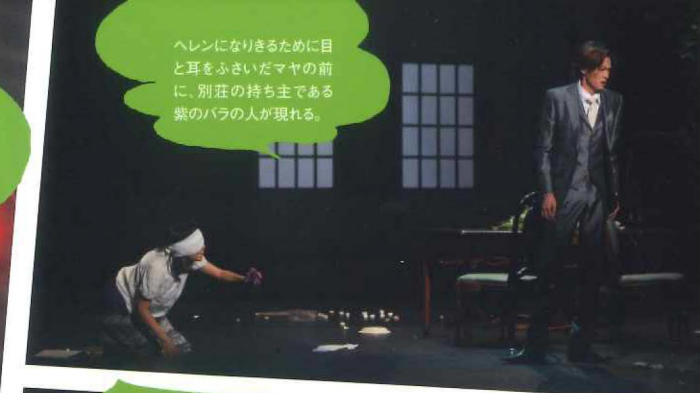
スタジオライブ 音楽劇 『じゃじゃ馬ならし』

作◎ウィリアム・シェイクスピア
脚訳◎松岡和子
上演台本・作詞・演出◎倉田淳
出演◎山本芳樹 松本慎也 青木隆敏
曾世海司 岩崎大 関戸博一 他
7/8~25◎博品館劇場
7/31・8/1◎梅田芸術劇場 シアター・ドラマシティ

従順で美しい妹娘ビアンカには大勢の結婚希望者がいるのですが、父親が「じゃじゃ馬」の姉キャタリーナが結婚するまでは妹は結婚させないと宣言しています。これをなんとかしようと、色と金に目くらんだイタリア紳士たちが策謀をめぐらします。最後にはタイトルどおり「じゃじゃ馬」娘をベトルーチオという男が、強引な努力で従順な妻に仕立て上げるという落ちになるのですが……。



マヤと亜弓、2人がいつかは演じたいと願う「紅天女」は、演劇と人間の本当の心を問う物語。



ヘレンになりきるために目と耳をふさいだマヤの前に、別荘の持ち主である紫のバラの人が現れる。



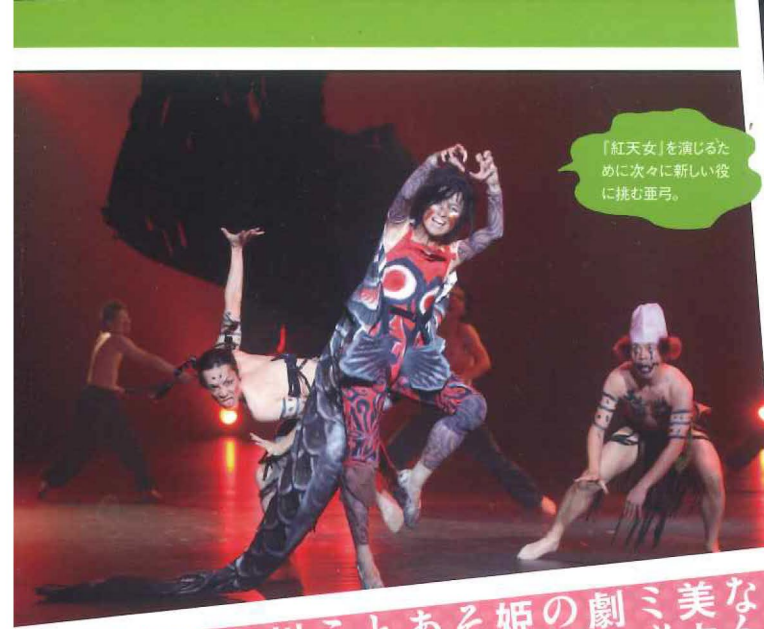
マヤのヘレンの奔放で自由な演技に、サリバン役の歌子は大きな衝撃を受ける。

劇団つぎの主宰で往年の大女優である月影千草は、平凡な少女の北島マヤに演劇の才能を見出す。そのマヤのライバルとして現れたのが、有名映画監督と大女優の間に生まれた姫川亜弓。2人が目指すのは月影が上演権を持つ幻の名作「紅天女」のヒロインだった。その2人が「たけくらべ」に続いて、再びオーディションで闘うことになる作品は「奇跡の人」。マヤは母の失踪により舞台を失敗し破門となったが、紫のバラの人や劇団仲間などの助けをかりてオーディションに挑む。2人のヘレンを受けて立つサリバン先生役は亜弓の母親である歌子だった。オーディションの結果は？そしてマヤの破門はとけるのだろうか？

亜弓は母の歌子が演じるサリバンを相手に「奇跡の人」のヘレンを熱演する。



ヘレンの演技で演劇賞を手にするマヤ。だが亜弓の力も認めた月影先生は2人に「紅天女」への挑戦を許す。



「紅天女」を演じるために次々に新しい役に挑む亜弓。



「奇跡の人」のヘレン役を退ふオーディションで、寝転がったまま動かないマヤに審査員たちは驚愕する。

「演劇をつくる」役者の7クワミ

二人の天才少女の壮絶な演劇バトル

そこには演劇のすべてが書かれている。なんのために演じるのか、なんのために続けるのか。美内すずえのメガヒットコミック『ガラスの仮面』の劇的世界を生きたる2人の演劇少女、北島マヤと姫川亜弓。その闘いをともに生き、あるいは見守る人たちが、その愛。この舞台は、演劇人・蜷川幸雄からの熱いメッセージであり同時にすべての演劇に関わる人たちへの熱いエールが詰まっている。

彩の国ファミリーシアター
音楽劇『ガラスの仮面～二人のヘレン～』



自分を殺す演技に挑み人形になりきるマヤと、それを指導する月影。

原作◎美内すずえ 脚本◎青木豪 演出◎蜷川幸雄 音楽◎寺嶋民哉
出演◎大和田美帆 奥村佳恵 細田よしひこ 新納慎也 香寿たつき 夏木マリ
8/11～27◎彩の国さいたま芸術劇場大ホール、9/2～5◎イオン化粧品 シアターBRAVA!

ガラスの仮面のキャラクターへのアプローチ

天才少女北島マヤとそのライバルである姫川亜弓。育った環境も性格もまるで違う2人を中心に繰り広げられる舞台が、音楽劇『ガラスの仮面』。劇団つきかげを率いる月影千草や、マヤを思う若手俳優の桜小路優、マヤをひそかに助ける大手芸能社長の速水真澄、そして亜弓の母の歌子と、おなじみのキャラクターが活躍する。今回の劇中劇は名作「奇跡の人」、その演じ方を中心に、それぞれにキャラクターへの取り組みを聞く。

一歩先の技術が必要だった

前回と比べて技術的な面を求められることが多くなりました。
たとえば「奇跡の人」のヘレンの演技でも、亜弓とは別なマヤならではの演技を考えて、それを具体的に表現することも、自分の発想でなければならぬことでした。また、今回のマヤは母の失踪とか劇団を破門されるなど、挫折を味わうんですが、蛭川さんから「挫折部分をうまく表せない、ひまわりみたいだ」と指摘されて、柔らかな屈折や儚さが課題でした。でも女優という意味でもこんなに自分と重なる役はないと思っています。月影先生は蛭川さんにしか見えないし、マヤが「甘い」といわれるとその言葉は自分にも響いてきます。

今回の劇中劇のヘレン役では、自伝に書かれていた「WATERの意味が全身でわかった瞬間、牢獄から出たようだった」という言葉を意識して演じています。シーンは短けれど、魂こめて挑戦中です。
作品のフレイヤーに「演劇を愛するすべての人へ」と書いてありますが、私自身「ガラスの仮面」はバイブルだったし、心に届く台詞がたくさんあります。また、演劇を好きになつてもらえる演出もいっぱいあります。そんな作品に出演できる幸せを噛み締めながら、精一杯マヤとして生きている毎日です。



北島マヤ 大和田美帆



おおだみほ 83年生まれ、東京都出身。03年にミュージカル『PURE LOVE』のヒロイン役でデビュー。以後、舞台を中心にテレビ、CM等幅広く活躍。最近の出演作は舞台『夢の国』『ウーマンイン・ホワイト』『EVIL DEAD THE MUSICAL』、映画『天使の恋』『今度の日曜日に』、テレビドラマ『ヤンキー君とメガネちゃん』など、ディズニータンパニープレイハウスディズニータンパニー出演中。
次回予定 〇ミュージカル『ワンタフルタウン』(10月青山劇場、11月中日劇場・梅田芸術劇場)に出演。



姫川歌子 奥村佳恵



亜弓の強さが好きだし尊敬している

初演の時は、動きとか表情とか、外見から入ろうとしたところが大きかったのですが、今回は亜弓として話せるにこそ居れるようになりました。でもさらに内面を表現できるようにになりたいと思っています。
劇中劇の「奇跡の人」が大きなポイントとなつて、亜弓が演じるシーンが先にあつたので稽古場ではまず、目が見えない、耳が聞こえない、喋れないという三重苦の中にいるヘレンを想像してなり切るだけで必死でした。ただ本当はヘレンは頭も良いし、感受性もある人だと思っていますので、そこを大事にしたいな。また、あとで自由演技的なマヤの場面もできてきたので、そこから逆に亜弓とマヤとの差を模索していた部分もあります。
今回、客席から見る場面もあるので、わりと客観的なものも見えてきて、自分が入り込んでいると思つてもそう見えなかつたから、見せ方を考える冷静さが必要なんだと勉強になりました。
この作品は大きな力を役につけて、私自身、前回のオーディションで亜弓役選ばれてから人生が変わりました。亜弓は何度もマヤに惨敗して悔しさを味わうけれど、それでもマヤを超えてみせると「紅天女」を目指して進んでいきます。そんな強い亜弓を羨ましいと思うのと同時に尊敬もしています。



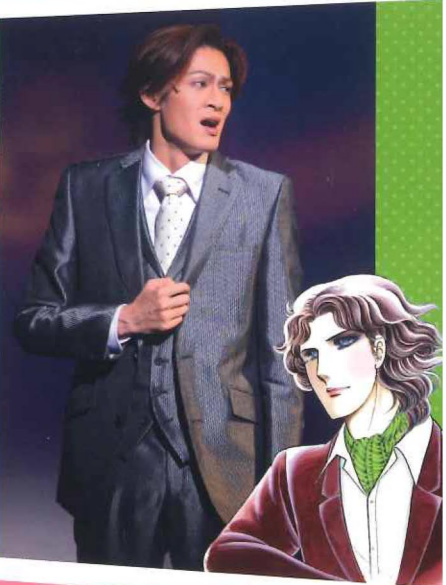
姫川歌子 香寿たつき

宝塚を退団してからずっと女優として経験を重ねてきて、ちょうど演じる役に変化が訪れる。まさにタイムリーな時期にお母さんでもあり、女優でもある姫川歌子役という面白い役をいただいたと思っています。し、役者としての自分と歌子を上手く重ね合わせられる役だなと思っています。
歌子は2人のヘレンとそれぞれ場面を演じるのですが、マヤちゃんとの場面はあとからできたんです。それは歌子がそのあと歌う歌に出てくる「2人の違い」という歌詞に説得力を持たせるためだったのですが、実際にマヤと亜弓の違いが見えたことで、より面白い場面になったと思います。演技的には亜弓とマヤの差や、マヤの自由さに振り回される歌子のイメージを出せるように、「一緒にいろいろ考えながら作りまし



桜小路優 細田よしひこ

これが初舞台なんです。だから舞台上でどのくらいの声を出せばいいのか、わからないことだらけで、もう何も考えずに蛭川さんの言われた通りにやろうと思いました。
最初、稽古場で待機してて、その場面の人が順繰りに演技して見せていくとき、自分の番になるのがすごく嫌で(笑)、自分の番が来ないで欲しいなと思つたけど、でもきてしまつて。やつたらやつたで何も言われないのが不安で、蛭川さんに「大丈夫ですか?」と聞かずに「初めてですよ?」と。次の日からもまた言われないと不安で、時間が空くと聞かに行くんですけど「大丈夫」と。たまにわざと小さな声で台詞を言つて「どうでしたか?」と聞いたら「どうせこいつが声出せて言つたら出るでしょ?」。見抜かれてました(笑)。
僕はよくハングリ精神がないと言われるんですが、蛭川さんも育ち的に似ている部分があるということで「逆にそこで培われた個性を大切にしろ」と言ってくれました。また暗い影を背負った役を演じるための想像力を身につける」とも。



速水真澄 新納慎也

また教則本を開くような気持ち
速水真澄役をつて依頼をいただいた時は「何で俺やねん?」ってまず思いました(笑)。こんな二枚目の役は久しぶりで、漫画のキャラクターへの読者からのプレッシャーをすごく感じました。原作がまずありながら、例えば「9頭身でキラキラの目」とか、見た目に制限される部分は多いんです。でも、その見た目の部分は仕方が無いと思つたらもうおと。笑。それよりも、そこから先の部分をちゃんとしたいなと思ひました。生身の役者が演じる演劇として上演する以上、速水真澄の人間臭い部分というか、葛藤、孤独、あと、恋に不器用なところとかを表現していきたいと思つて、大切に作っていました。



今回、稽古の中で蛭川さんがおっしゃっていた言葉は、自分に對してのもの以外も全て台本に書き込んでいたんですが、公演が終わつて改めてその読み直したとき、また新たな発見があるんじゃないかと期待しています。

おおだみほ 〇83年生まれ、東京都出身。03年にミュージカル『PURE LOVE』のヒロイン役でデビュー。以後、舞台を中心にテレビ、CM等幅広く活躍。最近の出演作は舞台『夢の国』『ウーマンイン・ホワイト』『EVIL DEAD THE MUSICAL』、映画『天使の恋』『今度の日曜日に』、テレビドラマ『ヤンキー君とメガネちゃん』など、ディズニータンパニープレイハウスディズニータンパニー出演中。
次回予定 〇ミュージカル『ワンタフルタウン』(10月青山劇場、11月中日劇場・梅田芸術劇場)に出演。



おおだみほ 〇83年生まれ、東京都出身。03年にミュージカル『PURE LOVE』のヒロイン役でデビュー。以後、舞台を中心にテレビ、CM等幅広く活躍。最近の出演作は舞台『夢の国』『ウーマンイン・ホワイト』『EVIL DEAD THE MUSICAL』、映画『天使の恋』『今度の日曜日に』、テレビドラマ『ヤンキー君とメガネちゃん』など、ディズニータンパニープレイハウスディズニータンパニー出演中。
次回予定 〇ミュージカル『ワンタフルタウン』(10月青山劇場、11月中日劇場・梅田芸術劇場)に出演。



なつきまり 〇1973年歌手デビュー。80年代より演劇へも活動の場を広げ、紀伊國屋演劇賞個人賞など受賞多数。蛭川作品には「リチャード三世」「近代能楽集-弱法師」など数多く出演している。
次回予定 〇10月-ドラマ『医龍 Team Medical Dragon3』(フジテレビ)に出演。

月影千草 夏木マリ

強く誇り高い演劇のひと
マヤの才能を見つけて育てた月影千草を演じるのは、夏木マリ。全身黒の洋服に、右目が隠れるウェーブのかつた長い髪、まさに漫画から飛び出してきたような月影千草である。天才女優と呼ばれながら、怪我で引退した月影だが、今も心から演劇を愛している。伝説的舞台「紅天女」にける情熱、そして、誰よりもマヤの才能を信じているからこそ、誰よりもマヤに厳しく接する。今回はマヤに次々と課題を与え、苦しい挫折を味合わせ。しかし、その裏には愛情深くマヤを見守る姿がある。またライバル亜弓の才能を認める正しい眼差しも持っている。
そんな強くて誇り高い本物の演劇人月影千草を、夏木マリは魂を込めて演じている。(文編集部)



Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源 Q2.役者として「こだわっていること」

大和田美帆 〇A1.格好つけてるみたいですが、お客さんの涙とか拍手です。見てくれる人がいなかったら舞台は成立しないし、カーテンコールの拍手を聞くとき明日も頑張ろうと思えるので、A2.人の心を動かす芝居がしたい。蛭川さんも自分の心が動かないと人の心は動かないっておっしゃっていたので、誰かの心を動かすために自分の心も動かす。これも格好つけてるかもしれませんが(笑)。 奥村佳恵 〇A1.お仕事にスタミナ源です。と聞いたらおもしろいんですけど、でもそうなんです。お仕事があると嬉しいし、色んな感情が動かし、お仕事がないとダメになっちゃうので(笑)。お仕事があること自体がスタミナ源です。A2.お米を食べる。というのがあるんですが(笑)、役者としてというか、人としてでもですが、唯一の存在でありながらも、周りを囲って、適度に判断のできる人でありたいと思っています。 細田よしひこ 〇A1.実家が和菓子屋さんなんですけど、その和菓子さんがスタミナ源と言いたいところですが(笑)。実際は好きなことをやれているので、疲れません。A2.育った環境とか変えられないことであるので、そういう所を含めて自分の個性を信じて、自分であることを大切にしていこうとします。 新納慎也 〇A1.不安がスタミナ源です。不安だから台詞を何度も口にしたし、稽古もするし、舞台上で失敗するのが怖いから努力もするんです。A2.こだわっていることはすごく多いと思うんですが、でもそのこだわりの「ま、いっか!」って捨ててしまえること。そして、この人が出てくると何か起こる。そっからお客さんがワクワクしてくれる役者であらいたいです。 香寿たつき 〇A1.愛犬のルディと家でゆっくりテレビや映画を見る時間が今、一番のmyセラビーであり、スタミナ源です。A2.宝塚を離れても「清く正しく美しく」という言葉に、役者として必要な礼儀だったりが含まれていると思うので「清く正しく美しく」源です。

近未来。地球の水位は上昇し、都市の多くは水没の憂き目にあう。それは、我々の国の首都ですら、例外ではなかった。最新テクノロジーにより過剰に発達した情報都市「アキハバレー」は、街全体をドームで覆うことで水没を逃れ、いまだ活動し続ける。一方で、水没した街に文字通り流れ着き、サーフィンに目覚めるといふ、にわかサーファーが急増。そんな一大サーフムーブメントの中、そこに商機を見出した某IT企業は、サーファーに集ってもらうことでサーフィンのデータを収容できる「サーフィンUSB」を開発。そのデータをバーチャル体験出来るシステムを活用し、ニュービジネスを目論むのだが……。



サーフィンUSBを使って収容したデータはweb上にアップロードされ、世界1億人以上のユーザーによってバーチャル体験可能となるのだが……

ヨーロッパ企画 サーフィンUSB

作・演出◎上田誠 音楽◎木暮晋也
出演◎石田剛太 酒井善史 角田真志 諏訪雅 土佐和成
中川晴樹 永野宗典 西村直子 本多力 山脇雄
7/28~8/10 京都府立文化芸術会館 8/4~15 本多劇場
8/20~21 三軒茶屋ホールフリーゼ 8/28~29 かもも
ちバレス 8/31 アステールプラザ 大ホール 9/3 アートピアホール

サーフィンのデータを収容するため、2人のサラリーマン(酒井善史、中川晴樹)が、サーファー達の元を訪れる

「演劇をつくる」
役者の
タクラミ

サーフィンと体験と演劇と

ハイブリッドとは、こういうコトでしょう！
サーフィンをする。サーフィンを体験する。演劇を体験する。演劇をする——。
それらが混在し、ひとつのエンターテインメントとして、そこにある。
ヨーロッパ企画・第29回公演『サーフィンUSB』
その「レア」な魅力、あたかも波のうねりの如し！

緊急？
USB
タクラミ
サミット
開催！

用語解説をします。「緊急？」……まず、出演者の皆様はアンケート取材を依頼。10名分の回答を回収した後、無理を言わせて頂きました。ちなみに、メンバーは自分以外の回答について、全く知らされておられません。「USB」……ヨーロッパ企画の最新公演「サーフィンUSB」のこと。「タクラミサミット」……役者のタクラミ+サミット。「開催」……それでは、始めます！！

これは自分の作品でもある！

——行きます！アンケート1は「役者のタクラミ」というキーワードを、ご自身に当てはめた場合、連想することは？」という質問でした。これに対し、回答1は「今の自分が面白いと感じていることを、いかにして演出家の意図に織り込めるか、試行錯誤すること」。

一同 うわ……(騒然)。

土佐 くそ真面目な奴おるな！

石田 これは……おもしろくないねえ(笑)。発言に関しては、タクラミって正にそういうことだと思えますけど。

中川 これ、ヨーロッパ企画の人ですか？

土佐 そんな人いる？

石田 若干ダサいな。

酒井 その人と一緒にやっている訳ですからね。

諏訪 でもこれ、真面目やから。中川 退団でしよ？

酒井 退団すか？

諏訪 これ誰？

本多 いや！僕じゃない……と思う。

西村 犯人当てみたいになつて。石田 でも、優等生回答ではあるからね。これ……、永野さんなんじゃないですか？

永野 ……………僕、本日をもって辞めさせて頂きます。

一同 あははは(爆笑)。

永野 ……なぜ僕がね、こういう模範回答を書いたかと言うと、僕は高校から演劇を始めて、演劇ぶっくに育てられてきたんですよ！

中川 それ、古田新太さんにも同じこと言ってたよね？

永野 え？……いや、だから、中学・高校演劇をやっている人に、タクラミなり、演出家と役者の関係性なりというものを、この質問を通じて伝えたかった訳ですよ！

土佐 ちやうと怒ってるやん(笑)。

——(笑)。こちらの意図としては、良い回答だと考えたので、トップバッターに選ばせて頂きました。ちなみに今日は、こういう流れで進行しますので……。

山脇 わ、怖い。

石田 いや、別に傷つくとかでは……。石田 これ、自分が面白いことなの？劇の面白さじゃなくて？

永野 勿論、それは前提としてありますよ。

諏訪 プラス、自分の何かを入れたんですから(笑)。

永野 そう！そういうことです。作品ごとに「これは自分の作品でもある」という部分を盛り込めればと。エゴイズティックでもありますが、それを提案することで、稽古場もホットになるんじゃないかと。演



出家にも、何か刺激を与えられるんじゃないかと！

土佐 上ちゃん(上田誠)そういうの喜びますよね。

石田 上田は、劇団内で流行っていること、役者が面白がっていることを、割と積極的に盛り込んでいくからね。

アドリブというより
ニアンスを変える

——回答2です。「舞台上でのいたずら。どちらかと言うと、僕はされる側ですが」。

土佐 ……読まれた瞬間「俺じゃないよ」(またもや騒然)。

一同 (またもや騒然)。

中川 ……………僕だよ。

西村 え？

諏訪 誰もいたすらないよね？

永野 被害妄想ですよ。

土佐 したら怒るでしょ？

中川 怒らないよ！舞台上で怒ったことなんか無い。

諏訪 いま怒ってるじゃないですか。石田 いたすらうっていうのは？

中川 いたすらうという言い方はあれですけど、これまでやって来なかったことを、本番でバツとやるとか。アドリブを入れるというより、「ニアンス」を変える。

諏訪 なるほど。良い意味でのいた

ずらだ。
山脇 いたすら心。
本多 この中で一番いたすらっぱいのは誰だと思えます？

中川 永野さん。

一同 ああ……。

石田 この人の場合、タクラミとしてやってくるのか、段取り忘れてるだけなのかよく分からないけど。

永野 でも、分からないようにやらないと意味ないじゃん。……段取り忘れも大いにある。

中川 後で聞くと「ごめん、忘れたって」。

大抵上手いじゃないか
おとなしく

——回答3。「タクラミを持ってやっても、上手いじゃないか」の方が多いと思うので、ついつい出てしまいがちだけど、邪魔なものかな？と思います」。

永野 なまってるな！

山脇 これ、関西圏の人ですね。本多 書き言葉が関西弁って、なかなかない。

諏訪 生粋の関西人だ。

土佐 これ、はい、僕です！

永野 これは、素直に台本に従おうというコト？

土佐 永野さんみたいに、面白いことやって上手い人いけば、僕、大概上手くないかな。それやったらおとなしく。

諏訪 でも、よくやってるよね？

土佐 でもミスってるでしょ？

永野 そうかな。場を沸かす時にやるよね？

土佐 一瞬だけ。

永野 それが功を奏してる気もするけど。

石田 1回ありましたね。(劇中で)ボテト取るくだりで「ウミネコ来るぞ！」って。あれやなくなりましたもんね？

土佐 1発目上手いこといったけど、



2発目から全然上手いこといかなくなって。

永野 そうね。習字もなぞると下手になるから。

一同 えっ？

酒井 いまの例え？

土佐 永野さんごめんなさい、この僕の時間なっ。

本多 昔、本番前に「今回ぶっ壊す！」みたいなこと言ってたよね？

石田 「めちゃくちゃやっつたー」というのが、この人の口癖だったんですよ。

土佐 演劇はじめて5、6年経って、ようやく演劇のことが分かってきたよね。昔は迷惑かけてたなあ。

諏訪 でも、言うわりにはおとなしかったよ。

土佐 みんなどうしてるんですか？

石田 それで崩すかも？と思うと……、あんまり。

諏訪 勇気ないなあ。

本多 躊躇したらタイミング逃すもんね。

石田 人によるんじゃない？西村さんと絶対対峙するのやらないよね。

西村 うん、ないですね。怖い。

酒井 確かに、割とハイスピードですからね。

とにかく
見た目を気にして

——では、アンケート2に移ります。「今作「サーフィンUSB」にはどのようなタクラミを持って挑みましたか？」これに対する回答1は「サーファーでない僕が、最もサーフアールしくなる見え方はどんなだろう？というのを常に意識しています」。

石田 僕です！！

——早い(笑)。

石田 これ、安直な考え方なんですけど、とにかく僕がサーファーに見えるから、それをどうしようかと。まず、サーフボードを持つとサーファーに見える。それから、びしょびしょであればあるほどサーファーに見えるんじゃないか？というので、舞台上に出る前、とにかく水をかける。あと、髪が長い方が滴がたり落ちるんじゃないか？とか。

土佐 石田君は、出の前に水浴びる量が一番多いもんね。「早よ出るや！」と思う。

諏訪 (登場する順番が)1人目から、濡れとかん。

石田 今回はとにかく、見た目を気にしています。

土佐 サーフボードがない時は？

石田 何かあったら客席を見るようにしています。というのは、そこは海じゃないですか。海があるっていうのを常に意識してる。

諏訪 基本やなく。演劇の基本。

石田 それが一番、サーファーに見えるかな。

諏訪 勇気あるよね、客席見ると。集中できてなかったら、完全にもつていけちゃう。

石田 だから、通路見えます(笑)。

いてもいいし
おらんでもいいし

——次は、是非ご本人から解説を。回答2「波を扱った芝居なので、な

るべくタクラミないようにしました」。

一同 おお(やはり騒然と)。

永野 なんか、詩的だね。

土佐 「自分の思い通りにはならん」ということですかね？波は。

諏訪 とにかく凄まじく、みたいな。

土佐 あく、なるほど！！

永野 アンケートでキザに構えるタイプ？

中川 モテようとした？

諏訪 かこよかった？じゃあ、狙い通り、タクラミ通りです。

酒井 タクラミだったんだ(笑)。

諏訪 波自体がね、形がないものだから。それを演劇で表現しようと追求した結果、もはや役者すら要らないんじゃないかと。情景であればそれでいい。

永野 景色に溶け込む感じ？

諏訪 そうやね。

永野 ただいる。

諏訪 もしくはいなくてもいい。

石田 他の芝居だったらタクラミむんですか？

諏訪 台本によっては、題材適所の役割があるけど、波だと「あればいい」だけだから。いてもいいし、おらんでもいいし……、どっ、カッコイイしよ？

一同 (微笑)。

土佐 正直、分かんないけど。

中川 じゃあ、格好いいでいいんじゃない？

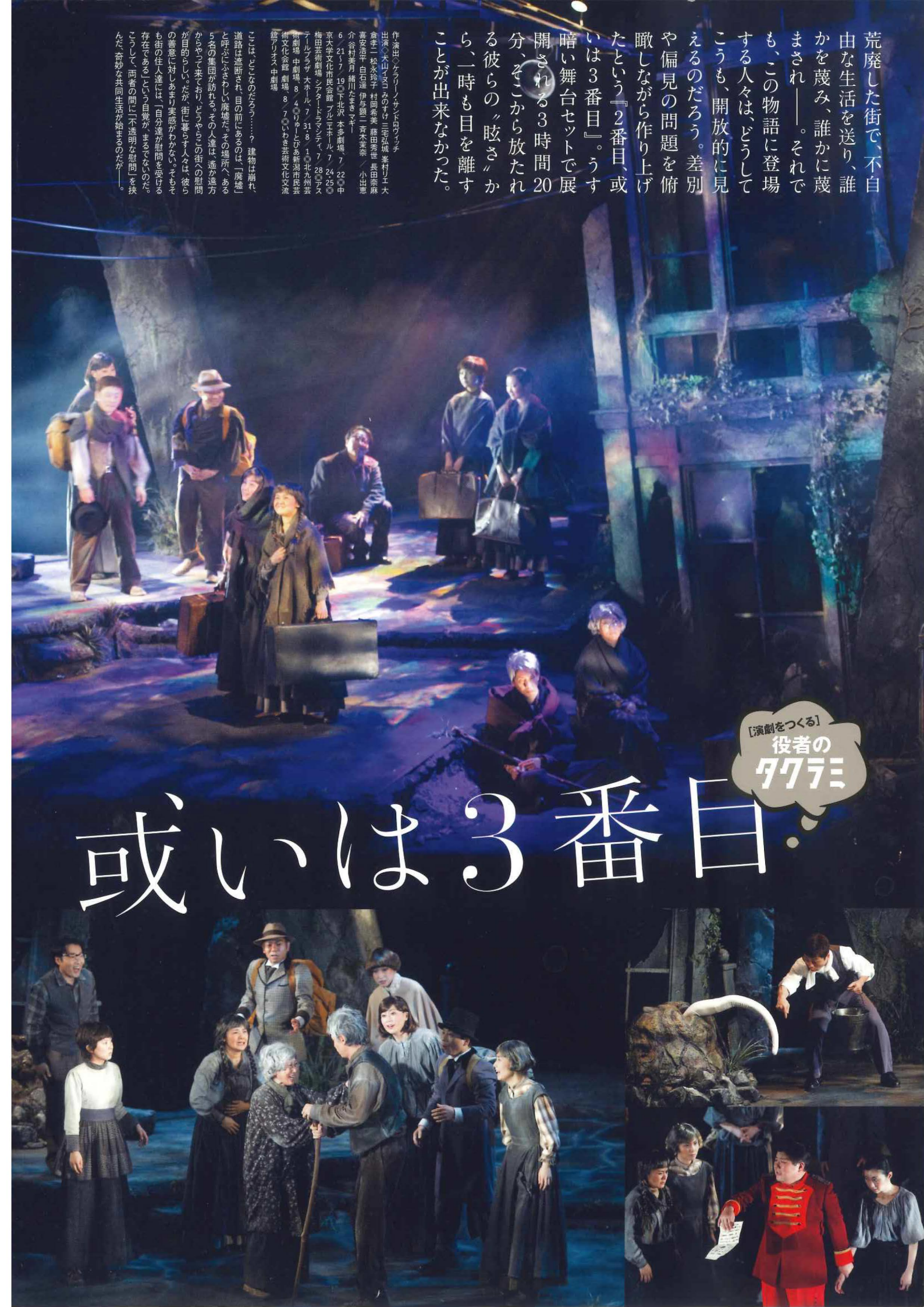
諏訪 ……深みまで行っちゃったな、今回は。

中川 深みにはまってるな。

酒井 「深み」の意味が違ってきたや



ナイロン100℃
2番目、



或いは3番目

【演劇をつくる】
役者の
タクミ

荒廃した街で、不自由な生活を送り、誰かを蔑み、誰かに蔑まされ……。それでも、この物語に登場する人々は、どうしてこうも、開放的に見えるのだろうか。差別や偏見の問題を俯瞰しながら作り上げたという『2番目、或いは3番目』。うす

作演出：ケリノサトウウツチ
出演：大山イサミ、三宅弘城、妻村リエ、大倉孝二、松永玲子、村岡希美、藤田秀世、長田奈麻、喜安淳平、白石達也、伊与勢一、斎木実奈、小出恵介、谷村美月、緒川たまき、
6/21・19 下北沢 本多劇場 7/22 中央大学文化市民会館 プルエホール 7/24 25 梅田芸術劇場 シアタードラマシティ 7/28 テアトル・チルドレンホール 7/31 8/1 北九州芸術劇場 中劇場 8/4 9/1 ぴあ新洲市民芸術文化会館 劇場 8/7 9/1 いわき芸術文化交流館アリオス 中劇場
ここはどこなのだろう……。建物も、道路も、道標も、目の前にあるのは、「廃墟」と呼ぶにふさわしい。廃墟だ。その場所へ、ある5名の集団が訪れる。その人達は、遙か遠方からやって来て、りりやらのこの街の慰問が目的らしい。だが、街に暮らす人々は、彼らの善意に対しあまり素直かわない。そもそも街の住人達には、「自分達が慰問を受ける存在である」という自覺がまるでないのだ。こうして、両者の間に「不透明な慰問」を挟んだ、奇妙な共同生活が始まるのだが。



大倉孝二

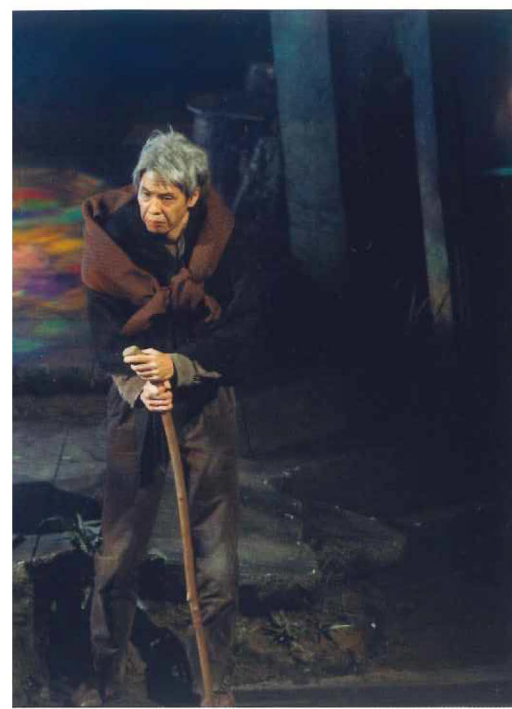
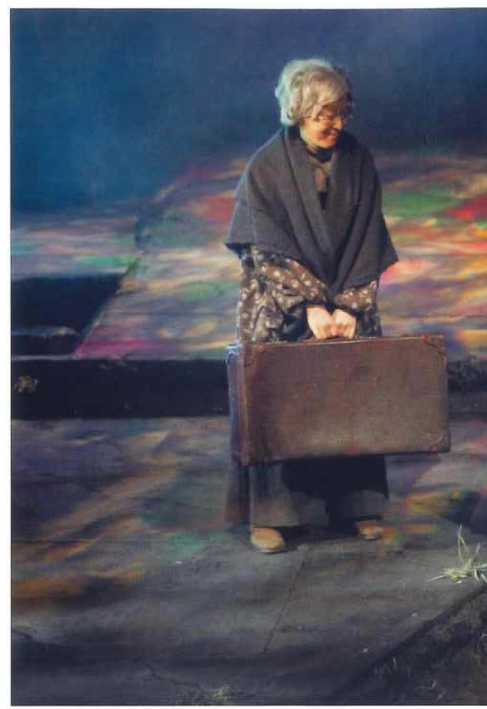
おおくらこうじ〇東京都出身。95年にナイロン100℃のオーディションに合格。以降、劇団の看板俳優として多くの公演に出演する。今作では、劇中に登場する某家族の「老人」役で、長田奈麻と老夫婦役を担った。

次回予定〇映画「宇宙で1番ワガママな星」(伊東圭介監督)公開中 〇NHK連続テレビ小説「ケゲゲの女房」毎週月～土8:00～8:15 O.A.

長田奈麻

おさだなお〇東京都出身。ナイロン100℃旗揚げ公演「予定外」に参加し、以降多くの公演に出演する。ナイロン作品では、振付を担当した作品も数多い。今作では、劇中に登場する某家族の「老人の妻」役で、大倉孝二と老夫婦役を担った。

次回予定〇D-BOYS STAGE 2010 trial-3「アメリカ」(作・演出:赤堀雅秋)9/29～10/3〇本多劇場、10/19-20〇名鉄ホール、10/22～24〇森ノ宮ビロテホール、10/30〇リョーとびあ劇場、11/3～7〇紀伊國屋ホール 〇NHK教育「できたできた」毎週水曜9:00～9:15 O.A. 〇映画「白夜行」(深川栄洋監督)2011/1/29公開



「演劇をつくる」
役者の
タクラミ

2番目、
ナイロン100℃

或いは3番目

夫婦役で共演した 今作について

長田 今回、すごく苦労したんですけど、相手が長田君だったから「何とかかなる」と思っていました。設定上は、私が大倉君の面倒をみる関係なんですけど、裏では面倒みてもらっています。

大倉 お客さんから笑いを期待される役回りなんですけど、KERAさんから「そこは面白さより、ちょっと哀愁あるドラマを漂わせて欲しい」と言われる場面もあって……、正直、訳分かんないなと笑。今回の芝居を貫いているテーマはそこなんです。シュールな世界観でありながら、リアリティある家族の物語をやって欲しい、みたいな。

長田 でも、私的には大倉君がやり易くしてくるから、すごく助かってますね。

大倉 ……終始そんな話してたら気持ち悪いよ？
長田 なんて!? だってホントそうなんだもん。
大倉 気持ち悪いって、そんな記事。長田 じゃあじゃあ……、今のウン(笑)。裏でオナラしたり、出の前にパンチとか入れられて、すごく迷惑してます！
——(笑)。その他、舞台上で感じることもありますが？
大倉 実際問題、僕より長田さんの方がだいぶ年上なので……。

たりとか……。
大倉 ああさ、質問の意図と全然違うよ？(笑)。
長田 離れちゃった？ ごめんなさい、何でしたっけ？
——役作りの際、ご自身がこだわったことを。

長田 そうだ！ それで「変にこだわらなくて良かったの」って思ったんです。「普通に会話すること」の重要性を感じましたね。
大倉 (笑)。僕は……、分かり易い所でいうと、場面によって急にI Qが変わったり、老人らしくない動きをしたりするので、おじいさん風のノロい動きをユー・トルにすることがありました。何でもアリになり過ぎちゃわないように、普段はノロノロ動いて、特殊な時以外はあんまり早い動きをしないようにするとか。あと、KERAさんからも言われたんですけど、やっぱりこういう役って、意識的に笑わせてよう見えた時、「これはおじいちゃんじゃなくて大倉だ」と感じてしまう瞬間があるじゃないですか？ 今回の役は、そこに気を付けました。演劇って「その役者として立つても良い瞬間」があるじゃないですか。笑わせるシーンだと、割とそういう芝居をする人もいますよね。良い悪いは別としてそれはなくしてくれと言われていたの、そこは意識しています。

——その辺りの繊細な感覚って、役者さんご自身の匙加減で決めるものなんですか？
大倉 人によるんじゃないですか？ 演出家に「挙手」投足を見せて、「こっちの方が良いですか？」と確認しながらやる人もいるし、全く好きにやって、演出家に正されたら修正するという人もいます。どっちかと言うと、僕は後者かもしれない。
長田 私も同じ。だって、ひとつ質問したら、ぶわっって返ってくるから。
大倉 長田さんは、色々言われるとテンパっちゃうんですよ。

長田 だいぶじゃないじゃん！
大倉 そういった意味で、なだめられたりするシーンでも、リアリティあるなだめ方を感じることはありますよ。

長田 なだめ方？ どこだ？ すげえ気になる(笑)。
大倉 何て言うんですかね？ 包容力というか、役者よりも、少し本人からしみ出てる。

長田 え、どこだろう？(笑)。気持ちわるい。
大倉 あは(笑)。
大倉 そこは不思議な喜びがありますね。普段は、誰も俺にいたわってくれないじゃないですか？

長田 憎まれ口ばかり叩くから「もううー」ってなるんだよね。じゃあ、普段の行動を変えてみれば？
大倉 いや、普段はいたわってもらわなくていいんだけど(笑)、舞台上で皆が優しくしてくると「悪くないねえ」って。

自分自身に 見えないように

——今号では、役者のタクラミ、という特集を予定しております。そこです、

長田 すぐ「わっっ！」ってなっちゃうから、あまり言われたくないんです(笑)。

タクラミ方、 それぞれ

——役者のタクラミについて、もう少し聞かせて頂いてよろしいですか？
大倉 いきなり人のことですけど、マギーさんはタクラミの人じゃないですかね？
長田 あ……。

大倉 どれだけタクラミで、それをどれだけ成功させるかということに、すごく色んな意味を見出している人だと感じます。僕もそういう所はありますけど、レベルが違いますねえ。もって無自覚かもしれない。僕は「自分が勝手に楽しんでしまおう」という状況が多いかも。その結果を、お客さんも喜んでくれるのが一番いいと思うけど、喜んでくれなかったら「ごめんなさい」と思っちゃって……

——そういうシーンは、今作中に幾つありますか？
大倉 ありますね。僕自身と、それに伴う共演者の人が楽しけりゃいいかって。

長田 私も一緒です！ 共演者との会話とかやりとりとか、そういう、人との絡みが一番面白い。……私、絶対にオファーも来ないんですけど、1人芝居って何が楽しいんだか分からない。どんなにギャラもらってもやらない！ まあ、元々来ないんですけど(笑)。
大倉 また質問の意図から離れる(笑)。

長田 そっか、ええと、タクラミですよ。……小出恵介君は、わざとライブ感を楽しんで臨みますね。台詞の言い方とかを固めすぎないで、その日のライブ感でタクラミしてる感じ。本人は、それがすごく楽しいみたいです。
大倉 それもある種のタクラミですよ。自分はそのようなスタンスで、みたいな。今回マギーさんと共演して、まあ、過去

“役者のタクラミ” ここにあり

今号の特集「役者のタクラミ」について、ダイレクトに訊き、ダイレクトに答えて頂いたインタビューだと思います。ナイロン100℃『2番目、或いは3番目』にて「トボケた老人」役を演じ、絶妙な存在感を示した大倉孝二。そして、その「老人の妻」役を演じた長田奈麻。この2人が語る、役者のタクラミ、ここにあり!!

ただただ、 やってる(笑)

——最後に、どんな切り口でも構わないので、今作全体について、思うことなどありましたら。

大倉 うーん……、公演をやってる間は、人のシーンも自分のシーンも客観的に捉えてないんです。今やってることで頭がいっぱいという、いつも……。ただただ、やってる(笑)。つまんない芝居とか面白い芝居とか、そんなことは決められないし、僕がすべき作業は、それを受け止めることじゃないような気がして。ただ、芝居をやるだけ。作品の評判とか考えたところで「それで何か良いことある？」って思っちゃったんですよ。ただただ、面白くする。

長田 わ、かつこい!! 締めとして最高！
大倉 ちょっと黙ってて(笑)。でも、何年か経って、不意に「あれ面白かったよ」とか言われた時に、「あ、あれは面白かったんだなあ……」と振り返ることはありますけどね。

——なるほど。こんなコト言ったら、大倉さんは嫌がられるかもしれませんが、正に「生粋の俳優」って感じですね。
大倉 いや違うんですよ。しんどいんですよ。要は、作品の出来とか評判とか受け止めるのがしんどい。タフじゃないので。

Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源 Q2.役者として「こだわっていること」
大倉孝二●A1.ユースケ(「サンタマリア」)さんから教えてもらった、舌くちんと書いて「舌舐(じゃこう)」と読むんですけど……、ドリンク剤です。漢方系なんです。普通のドリンク剤よりキツくなくて、最近ではそれがいいと早く、手放せなくなっています。A2.毎日本番をやるのが嫌にならないう。気を付けています。本番中もそうだし、本番前もそう。長田奈麻●A1.ニンニクとショウガ!! ただし、ニンニクは休日の前日に限り、たらふく摂取。A2.本番前のストレッチとアップ。

広島に原爆を落とす日

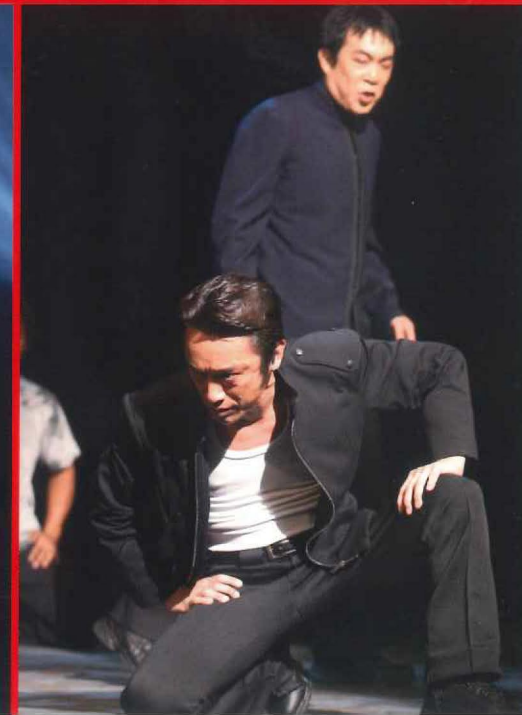
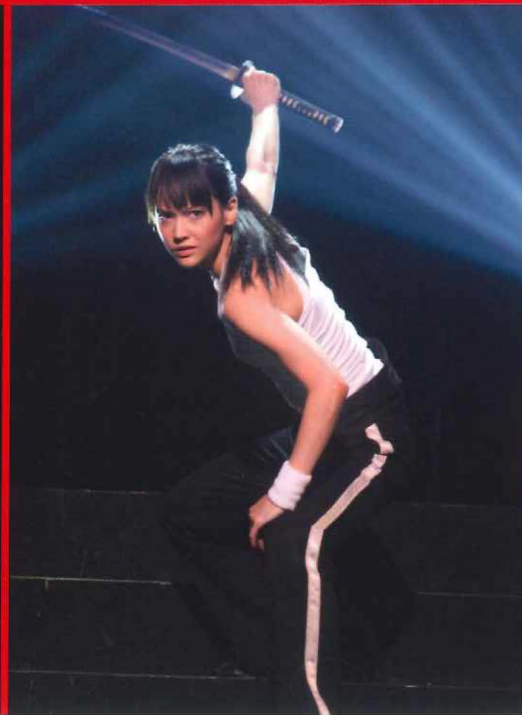
作○つかこうへい 演出○岡本俊一 監修○杉田道成
出演○寛利夫 仲間リサリア・ティンシ 大口兼悟 馬場徹
武田義晴 山本亨 山口紗弥加 ほか
8/6～8/22◎Bunkamuraシアターコクーン
8/27～8/29◎森ノ宮ビロテホール



つか芝居で挑む2役

シアターコクーンでつかこうへいの伝説的作品「広島に原爆を落とす日」が舞台。主演は、つか作品の常連でもあった寛利夫。7年ぶりのつか芝居で、日本とアメリカという2つの国に引き裂かれながら、広島に原爆を落とすことになった男のドラマを熱く演じた寛に、初めて挑戦した2役と、作品への取り組みを聞く。

【演劇をつくる】役者のタクワミ



硬軟を意識しながら

——海軍少佐の犬子と新聞記者の山崎、初めての2役の演じ分けは意識していますか？

犬子と山崎は、あまり内面的な演技分けは考えてないんですが、硬軟という意味では考えてますね。海軍という場所にして、戦争が背後にあり、そのなかで重大な任務を任されて、ちよっと肩肘張っている感じが犬子。一方、笑いのシーンに絡んだりもする、ちよっと抜けた感じがするの山崎。そういうことを考えて、微妙なタッチで変えています。でも、たぶん、いる場所やシーンが違うんで、あんまり意識しなくてもそういう風になるんじゃないかな。

——衣装とか変わらなくても、ちゃんと別の顔になっているのがすごいな。それにあんなに圧迫的な言葉のスピード感ですね。

つかさんの作品って台詞を聞かせるようにですが、結局その中にあるパワーを見せるようなところがあるんです。でも身体が元気があったらそのパワーが出るかっていうと、それだけではない。なんかその辺のコンセントレーションが難しいんですよ。だから疲れてくる週末の方が全然良いんだけど、またそれはそれで綱渡りになっちゃう恐怖もあるし(笑)。

——テーマも原爆ですし、重い事実と闘う舞台だという気がします。

でもいつも重いんですから、芝居するときには、別に楽しくないです。[「エンジョイブレ」]とか言うけど、あれは詭弁です(笑)。まあ、普通は2週目ぐらいになると慣れてくるんだけど、この芝居は全く慣れないし、なんか良い誤算があつて、あまりないタイプの、本当にシビアな芝居なんだと思います。だから安定のしょうがない。

現実の重さの中で

——「原爆」を扱ったこの作品ですが、

そのテーマについて思うことは？

この芝居は「原爆」というものに関して、いわゆる教科書的な内容になってないし、実際に学校で習わないようなことを台詞で言ってますよね。でもそれは、たとえばインターネットで調べればすぐ出てくるような、教科書には載っていないけど、たぶん本当のことだったりする、そういうことを言ってる芝居なんだろうなと思います。

——初日が広島に原爆が落とされた8月6日でしたが、現実と舞台が重なることへの反応はいかがでしたか？

人によっては重く受け止める人もいるだろうし、人によってはもう芝居じゃないだろうし、でもあくまでお芝居として見る人のなかには、「なんだろ？」って思う人もいるかもしれない。なんか日によってお客さんの雰囲気も違います。初日だけでなく、長崎に落とされた8月9日なんか、こっちは台詞を聞かせようとしてもお客さんが積極的に関心してくれて、非常に集中した場になって、それは良かったんですけど、やっぱり重かったですね。

つか芝居から蟻川シェイクスピアへ

——稽古期間中、つかこうへいさんがお亡くなりになって、追悼公演という



寛利夫

かけいとしお◎1962年生まれ、静岡県出身。大阪芸術大学在学中、劇団☆新感線に参加。卒業後、1985年劇団第三舞台入団。90～94年、つかこうへい作・演出「飛龍伝」に出演。以降「つかこうへいダブルス」と銘打った「幕末純情伝」と「飛龍伝」の連続公演や、ミュージカル「ミス・サイゴン」などで活躍。

次回予定◎彩の国シェイクスピア・シリーズ第23弾 「じゃじゃ馬馴らし」10/14～30◎彩の国さいたま芸術劇場大ホール

ことになってしまいましたが、そのことへの思いは？

この「広島に原爆を落とす日」は、歴史的事実とつかさんの小説が元になっているんですが、そのなかで、僕らはただ語り部として生きること、全うすべきなんじゃないかと。役者として出てるといよりは、物語を伝える伝道師としてですね。まあ、どれも同じか。そういう役割りをちゃんと果たすということしか考えてないです。

——この舞台のあとは、初めての蟻川幸雄さんの「じゃじゃ馬馴らし」だそうです。

まさか自分が出るとは思っていまませんでしたからね。でも不思議なんです、よ、うちの近所のよく行く寿司屋さんに偶然蟻川さんが現れて、そこでご挨拶したことがあって。ペトルーチオ役を誰にするか、ああでもない、こうでもないと考えてる時に僕が浮かんだらしい(笑)。何かの縁なんだろうね。シェイクスピア作品自体1、2回か出演したことがないし、オメルのお芝居もこれが初めてです。蟻川さんの稽古はみんな初日に全部台詞を覚えてるというじゃないですか。この間の「コースト・オブ・ユートピア」も、9時間間の芝居なのに覚えてたと聞かす驚きます。もう、当たって砕けるしかないです(笑)。

構成・文○岩見那津子 撮影○田中重紀

そこで生きる「天使の子」とそれを取り巻く人たち
ギャップを抱えながら生きることの難しさと
その困難を乗り越えようとする愛とその闘いが
セレソソならではのペースに富んだ笑いの中で
シビアに鋭く描き出される



知的障害者たちが暮らすグループホーム「ひまわり荘」に、漫画家の愛情いっぱい(金田明夫)とその娘のマコ(加藤貴子)がやってくる。マコや元からの入居者だったうーやん(宅間孝行)達との生活は、明るく笑いに満ちたものであったのだが、目を背けることのできない辛い現実も彼らの身に迫ってくる。



う強い思いはありました。オーディションを受けて、今、こんな素敵な役をいただけたことが本当に嬉しくて。とにかく良い作品にしようというみんなの情熱がすごいので、そこに置いていかれないように私も日々舞台上で成長していきたいと思っています。

東風 素敵な作品になっているに違いないから、一度の作品から見てみたい(笑)。そう思える作品に出会えたのも幸せですし、同時に役者としてみんなが日々進化しようとする前を見つめる環境に居られることにも幸せを感じています。あと、この作品を通して今まで知らなかった知識を得られたのは、自分自身としてもとても勉強になりましたね。

加藤 それは私も同じで「くちづけ」に出演したことでこの問題についてすごく考えることになりました。「実はうちの家族にも……」という告白を受けた時には、観に来てくださったお客様との距離もすごく縮まった感じがしたんですよ。この作品はストレートに人の心に響く力を持って、またお客様の数だけ物語が生まれる普遍性を秘めていると思うんです。その部分を伝えるために、当たり前のことですが、毎日いよいよ、精一杯、舞台上に立ちたいと思います。

台本は
ガイドライン、
人物として
まず生きる

【演劇をつくる】
役者の
タワラミ

東風万智子

加藤貴子

芳賀優里亞

東風万智子●A1.どこでも眠れる子なんですけど、睡眠。
A2.睡眠がスタミナ源なので枕(笑)。心と身体が健康で

加藤貴子●A1.心を揺さぶられることを日常から受け入れること。

A2.逆にこだわりをなくして、ニュートラルな状態にいること。

A2. スポンジみたいに色んなことを吸収していける姿勢。

BOYS それぞれのたくらみ

【演劇をつくる】役者の7クワミ

宝塚大劇場の舞台に立つという夢を追いかけた青年たちが生きた宝塚男子部。実話を舞台化したこの作品で、夢と現実の狭間でいくたびも傷つきながら、ひたすらレッスンに励むその姿は、演じる役者たちの現実とも重なる。夢を語り合い、ぶつかり合い、競い合い、安下宿で茶碗酒を呑みながらも、華やかなロマンの世界への憧れと夢を捨てることができない青年たち。そんな「宝塚BOYS」を演じた7人に、作品と役柄について一言ずつ答えてもらった。

❶、今回のストーリー、また役柄で自分といちばん重なる部分はどこですか？

❷、何度も再演されるこの舞台の魅力とは何でしょうか？



石井一彰



竹田幹夫



藤岡正明

『宝塚BOYS』

原案・辻則彦 脚本・中島淳彦 演出・鈴木裕美
出演・浦井健治 杉浦太陽 黄川田将也 東山義久
藤岡正明 瀧川英次 石井一彰 初風諒 山路和弘
8/6~9/1シアタークリエ

昭和20年、秋。幼い頃から宝塚の舞台に憧れていた青年、上原は1枚の召集令状で青春を失い、今度は自らの書いた手紙で、人生を変えようとしていた。手紙の宛先は宝塚歌劇団創始者・小林一三。内容は宝塚歌劇団への男性登用を訴えるものだった。折よく小林一三も、男子も含めた本格的な「国民劇」を考えていた。そしてその年の12月に集まったメンバーは、上原をはじめとする7人の個性豊かな面々だった。そんな彼らの世話をするのが下宿のおばちゃん君原佳枝と、歌劇団から派遣された担当の池田也だった。

A1、舞台という世界への憧れを持っているところ。竹田幹夫ほど自信満々ではないですが、たまに自信満々の発言をすることがあるみたいです…。

A2、夢のためにがんばるという事は、本当に人間の一番すばらしい姿だと思います。それはどんな所で共通で、観に来てくださった方が、そこに共感するから、この舞台を何度も観たいと思うのではないかと思います。

いいかずき◎84年、東京都出身。東宝ミュージカルアカデミー第一期生。07年「レミゼラブル」で初舞台。以降「歌謡シアター「ラムネ」〜夢の途中編」。「ミス・サイゴン」など、ミュージカル、リーディングなどの舞台で活躍。最近の出演作品は「MATERIAL」。「戯伝享楽」など。

次回予定◎「GOLD」11月◎作品館劇場、「アンナ・カレーニナ」2010/12月〜2011/2月◎シアタークリエ

Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源
A1.美味しいご飯とお客様、共演者の笑顔と自分の応援です。あと、ちゃんと動かないと生きていけないか！という恐怖によって頑張っています。

Q2.役者として「こたわっていること」
A2.まだまだ未熟な自分です。とにかく少しでも役に近づけるよう、それだけいつも考えています。



Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源
A1.美味しいご飯とお客様、共演者の笑顔と自分の応援です。あと、ちゃんと動かないと生きていけないか！という恐怖によって頑張っています。

Q2.役者として「こたわっていること」
A2.まだまだ未熟な自分です。とにかく少しでも役に近づけるよう、それだけいつも考えています。

瀧川英次



太田川剛 / 元宝塚オーケストラのメンバーで関西分、周囲を巻き込むが、実は身体が弱くて病気で倒れる

A1、ストーリーで言えば「死に物狂いでやりたい事がある」ということ。役と重なる部分は「友人との和を重んじる」こと。まあ、重んじているだけで、上手なコミュニケーションが取れているかは微妙ですが…。

A2、宝塚男子部が実際にあったと言ったこと、普遍的なテーマを持った脚本だからだと思います。

たきわえい◎77年、神奈川県出身。舞台を中心に北野組「アウトレージ」など、映像でも活躍。演劇ユニット「七里ガ浜オールスターズ」を主宰、演出・出演をする。他への舞台出演も多く、福島三郎演出「ウルトラビュイ」、アトリエダンカン「風が強く吹いている」、チェルフィッチュ「三月の5日間」、イキウメ「散歩する寸時」など。

次回予定◎DVD「赤川龍彦先生のエロメル添削」Vol.1迷惑メールめった斬りの巻、Vol.2出会い系サイト潜入めった斬りの巻〜 松竹より好評発売中。

Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源
A1.よく食べてよく動くことですが、よく寝て、よく食べることで。それと、終演後に仲間と飲むビール。

Q2.役者として「こたわっていること」
A2.常に新鮮でありたいと思っています。人間としてだけでなく、芝居中には役の感情、役同士のコミュニケーション。メンタル面では、芝居を楽しみ、期待すること…とか。



上原金蔵 / 元特攻隊員でピアノが得意。やや気弱なリーダー。男子入団を希望する直訴ハガキを書き、男子部結成のきっかけを作った

A1、やはり「宝塚が好きだ」という気持ちをもったボーイズの心情と、「舞台が好きだ」という自分自身の感情が近い部分でリンクして、舞台に立たせて頂いている身としてはとても感情移入しやすいところが多い作品かなと感じます。キャスト、スタッフ全体が同じ方向を向いてより良い舞台を目指している姿勢と、戯曲の中の池田さんや君原さんとボーイズとの関係性などが、重なって見える気がしています。

A2、きっと「懸命に生きるとのこと」や「夢や希望を持つことの大切さ」。その過程の歩みの愛おしさなど、何気ない日常を垣間見る作品の中で、何気ないからこそ、日々の生活で大事なものをもう一度見直すきっかけやヒントが、沢山詰まっている舞台だからなのかなと。自分も演じ終えて毎公演、身体は疲れていても心は満たされている感覚を味わえたので、多分そういう「活力」のようなものを、この舞台からもらえていたのかなと思います。

うらいけん◎81年、東京都出身。04年ミュージカル「エリザベート」のルドルフ皇太子役に抜擢。以降ミュージカルを中心にストレートプレイ、リーディングなど数々の舞台作品に出演。最近の出演作品「蜘蛛女のキス」劇団☆新感線「義経とサムライ」など。06年第31回菊田一夫演劇賞、10年第44回伊園屋演劇賞、第17回読売演劇賞大賞杉村春子賞を受賞。

次回予定◎「エリザベート」10/1〜29◎帝国劇場

Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源
A1.心を鍛える。映画鑑賞。お気に入りの喫茶店をこーヒーを楽しむ。いかに自分がリラックスして、いかに自分のポイントを出す。

Q2.役者として「こたわっていること」
A2.自然体でいること。いかに柔軟な感受性を持って一回一回の公演に臨めるか。そのために、少しでも早くに劇場付近の喫茶店でホットしてから来場できるように。ちゃんと五感を研ぎ澄ませた状態で舞台に立てるよう、なるべく心身ともにメンタルな調整をキープしていきたいと思っています。

Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源
A1.一回一回の公演を全力で、楽しんでや。開始15分前に円陣を組んで仲間たちと心を合わせて、みんな向かっていこうと。宝塚BOYS「ワー!!」

Q2.役者として「こたわっていること」
A2.ポジティブでいること！悩んでも、迷っても、苦しい中でも、最後には自分のプラスになった！また成長できたんだ！、と思うようにしています。



長谷川好弥 / 旅芸人の息子で芝居達者、明るく盛り上げ役。女好きなのが竹田に好きな女性をとられてしまう



Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源
A1.よく食べ、よく動くこと。

Q2.役者として「こたわっていること」
A2.作品のキャスト、スタッフを愛すること。

A1、DIAMOND☆DOGSのメンバーも7人で、今年8年目…と言うこともあり、同じグループ愛を感じる。

A2、脚本、演出の素晴らしさとスタッフの愛とキャストの情熱

ひがしやまよしひさ◎76年、大阪府出身。学生時代にダンスと出会い「エリザベート」のトートダンサーで人気に。以降「レミゼラブル」、「D〜永遠という神話」(主演)、「戯伝享楽」など数々の舞台作品に出演。自らの主宰するエンターテインメント・ユニット「DIAMOND☆DOGS」では振付・構成も手がける。

次回予定◎DIAMOND☆DOGS8周年記念公演、オリジナルミュージカル「BLUE&RED」9/22-26◎天王洲銀河劇場

Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源
A1.役者として必要とされること。役者が役を選ばないで、これを演じたいと思ってもいいようにすること。

Q2.役者として「こたわっていること」
A2.特にも作りの時はご機嫌でいること。自分の機嫌が良いと作品の機嫌も良くなるように感じる。



黄川田将也

きかわだまさや◎80年、埼玉県出身。00年映画「ホワイトナイト」でスクリーンデビュー。以降映像を中心に活躍。昨年の大河ドラマ「天地人」では本多政重役で注目される。初舞台は09年の鈴木裕美演出の「風が強く吹いている」。今年も同じ鈴木演出で「富士見町アパートメント」などに出演。

山田浩二 / 元関市の愚連隊と自称してイキがっているが、実は日本舞踊の家の息子でお坊ちゃん

A1、夢を追っているところ。役柄的には強くなりたっているところですが、重なります。

A2、登場人物たちが、ただ一生懸命に生きていること。簡単そうだけど、実は一番むずかしいと思う。



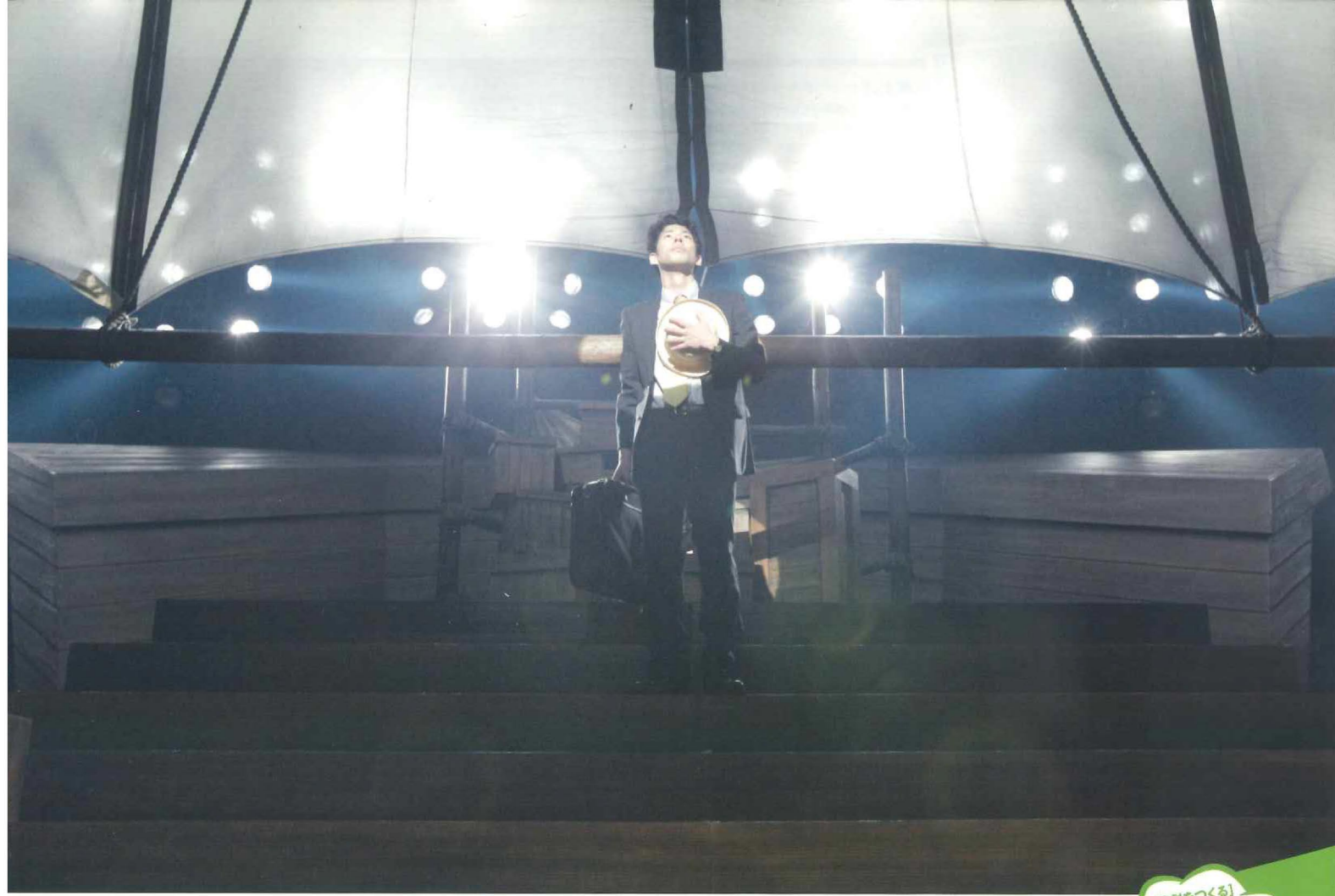
星野文浩 / 即戦力としてスカウトされた現役のダンサー。プロ意識が強く、仲間たちとは一線を画したがる



演劇集団キャラメルボックス25th③サマーツアー また逢おうと竜馬は言った

脚本・演出◎成井豊
出演◎細中智之 大内厚雄(海組) 左東広之 岡田達也(空組) 岡内美香子 湯井摩耶
三浦剛 簡井俊作 石原善暢 渡邊安理 阿部丈二 原田樹里 楠見薫
7/10~8/8◎サンシャイン劇場 8/14~16◎名鉄ホール
8/21~29◎新神戸オリエンタル劇場

ツアーコンダクターの岡本(細中智之/左東広之)が憧れているのは、男の中の男・坂本竜馬(大内厚雄/岡田達也)。が、実際は乗り物にことごとく酔ってしまう体質で、好きになった女性にもフラれてばかりという情けなさ。しかも、岡本の代理でツアーに出たことから、同僚の本郷(石原善暢)とその妻・ケイコ(岡内美香子)が大ゲンカ! ケイコは離婚を言い放ち、家を飛び出してしまふ。2人の仲がこじれてしまったことに責任を感じ、なんとか事を収めようと、想像の竜馬のアドバイスを受けながら奔走する岡本。だが、本郷が同行したツアー客のひとり、石倉(渡邊安理)が、棟方(阿部丈二)と時田(簡井俊作)と名乗る男たちに追われるなど、事態は混乱の一途を辿っていく。



本筋からズレない“面白さ”を

演劇集団キャラメルボックスの『また逢おうと竜馬は言った』で、怖さを感じさせつつも憎めない悪役コンビをコミカルに演じた、簡井俊作と阿部丈二。演出家から求められた「怖さと笑いが共存する悪役」を目指し、各々が意識したポイントとは? 役への愛情と丁寧な考察、そして作品全体を見るバランス感覚に支えられた役作りに迫ります。

「演劇をつくる」
役者の
タクラミ

● 演じる役を、作品の中で
効果的に機能させるために

——今回の舞台で、個人的にタクラミなのは?

阿部 棟方という役をうまく機能させて、『竜馬』の作品世界を、観客の皆さんがリアルに信じられるものにしたということ。シヨウアップされた芝居でも、僕自身がその世界を信じてデフォルメされたキャラクターを演じきること、気づけばお客さんも舞台にのめりこんでいる、という状況にしたいと思っていました。簡井 役を頂いたときに、成井(豊)から「ぜひ殺陣を」と言われ、「今までの僕のイメージからは想像できない殺陣にしたい」と思ってた、動きをハデにしました。ただ、出て動いているときはお客さんに「うわあ」と驚いてもらいたいけれど、作品を観終わったときには、主役の岡本と竜馬がいちばん印象に残らないといけない。僕が演じる時田は脇役ですから、それは外せないポイントでした。演出家が求めるものをふまえた上で、芝居全体をサポートできる役者になりたいと思っています。

阿部 それと、役を演じる際に考える「裏設定」かな。例えば、棟方はいつから嘘をついているのかとか。感情の流れをごまかすような部分は絶対に作りたくなかったの、感情が自然に流れるように、脚本を読み込んで考えました。その作業は、演じる上で、僕にとってすごく大事なことです。セリフだけで表面的に取り繕うこともできるけれど、感情がつかないといけない、心がどこが痛くて、役に入り切れないんです。

● ● ●
エンターテインメントだから、
より分かりやすく、面白く

——棟方役と時田役としてタッグを組んだわけですが、2人の間ではどんなタクラミが?

簡井 最初の頃から、2人でよく話はしていましたね。まず見た目で言えば、僕のほうがアグレッシブな体つきをしているので(笑)、分かりやすく、部下の僕が暴力的

ど、2人とも、相手にも客席にもアンテナをすごく張っていて。だから毎回、間が違うよね。

阿部 言葉の音の出し方とか、粘り方とか。やつてみて、客席の反応を感じて「違うな」と思えば、別の雰囲気に変えたりしています。

簡井 入団時期も近いし、お互いに気を遣うタイプの人間だからかもしれないですけど、僕、丈二とはすごくやりやすくて、丈二が間を変える理由も、説明されなくてもすんなり分かるし、その違いを僕自身も毎日楽しんでいます。

阿部 僕もネタを考えると、簡井さんを軸に考えると、アイデアがすごく湧い

て怖い人。そして上司役の(阿部)丈二が対照的に、理論的でミステリアスな人物にするのがいいよね、とか。

阿部 見た目も全然違う2人なので、外見を軸にするのが、お客様に分かりやすく、この芝居も観やすく、面白くなるかなと思いました。

——棟方と時田のかけあいでは、何度も会場に笑いが起きていました。10年前の棟方&時田とは、ガラリと印象が変わりましたね。

阿部 でも笑いを作る時も、役柄の軸がブレないように、常に意識していたんです。簡井 お互いにネタを提案するんですが、「笑いは取れると思うけど、自分のやりたいキャラクターとズレる」となれば、それはナシ。だから、ネタはもう山ほどボツにしたよね(笑)。

阿部 そうですね。そこは結構葛藤で、「やればお客さんは絶対に笑ってくれる。でもガマンだー」みたいな(笑)。ただ逆に、あまりにキャラクターにこだわって、エンターテインメント性が下がるのもダメなので……、バランスですね。

——キャラメルでは「舞台上でのアドリブはNG」というのが基本ですが、笑いを取りに行きたくなる瞬間はありませんか?

簡井 以前、成井が言っていたんですが、その役者が圧倒的な笑いのセンスを持っていない場合、アドリブを言って自分が楽しむだけでは、ただのエゴだと、稽古を積んで洗練されたものをお客様に見せるのが成井の志向です。僕もその考えなので、笑いのアドリブを入れたと思ったことはないです。

● ● ●
気を遣うし、間を大切に
似たタイプだからやりやすい

簡井 今回、間をとる笑いが多いんですけど

てくるんです。個々の笑いのタイプは違いますが、もしないけれど、簡井さんの面白さが、僕はすごく好き。だから僕、よく「簡井さん、こんなやつどうです?」って、言うじゃないですか?

簡井 はい。

阿部 それは「こういうことをやる簡井さんが見たい」みたいな感覚で(笑)。

簡井 それと、思うに、丈二が上司で、僕が部下の役だから、丈二が僕をいじりやすい役柄なんですよ。この2人で、このキャストティングだからこそ、できていることなのかなって。

阿部 一緒に作るって、大事ですよ。それが芝居の面白さなんだと思います。

阿部丈二 簡井俊作

あべいしゅじ 77年生まれ、フィリピン・マニラ出身。04年より演劇集団キャラメルボックスへ参加。9月、末から、成井豊の世界名作劇場「シラノ・ド・ベルジュラック」での主演が決まっている。

次回予定◎成井豊の世界名作劇場「シラノ・ド・ベルジュラック」9/29~10/10◎六本木・俳優座劇場、10/14~17◎新神戸オリエンタル劇場

つづいしゅんさく 82年生まれ、東京都出身。02年より演劇集団キャラメルボックスへ参加。同年、「裏切り御免」で初舞台を踏む。サマーツアー「また逢おうと竜馬は言った」では、棟方の部下、時田を演じた。

次回予定◎演劇集団キャラメルボックス 25th③クリスマスツアー「サンタクロースが歌ってくれた」10/30~11/7◎イオン化粧品 シアターBRAVA!、11/13~14◎北九州芸術劇場 大ホール、11/30~12/25◎サンシャイン劇場

Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源
Q2.役者として「こだわっていること」

簡井俊作 ●A1.ものすごく単純なことです。が、褒められること。観に来て下さったお客さんからも、身近な人でも、役者仲間でも、それが一番です。今回だったら「殺陣、動いてましたね〜」も、本当に嬉しい。心の栄養源です。A2.一言でいうと、ミスをしたくない。ミスをする、客席をドキッとさせて、芝居の流れを一瞬止めてしまふんですよ。お金をいただいて、お芝居を観に来ていただいているので、そういう「ドキッ」を作らずに、脚本家が考えて書いた言葉を、客席にきちんと届ける。そういうプロフェッショナルでありたいと思います。

阿部丈二 ●A1.体力に関しては、朝食。僕、すぐ痩せちゃうし、ウチの公演って体力勝負なところもあるので、朝食は必ず摂ります。基本的にパン派で、簡単な卵料理を作ったり。最近は豆乳に野菜と果物を入れて、ジュースにして飲んでます。野菜がすうーと喉を通ると、身体にいいコトをした気持ちになれるんです。A2.役者の世界に閉じこもらず、外の世界もちゃんと知っていること。演劇関係者以外と会った時「役者をやっている人は変わっているな」と違和感を持たれる人間にはなりたくない。一般的な感覚を失わないことを心がけています。



オーストリア皇后としてその美を謳われながら、暗殺者の手にかかって悲劇的な最期をげたエリザベート。彼女を死に導いたものとは？
崩壊に至るハプスブルク家の真実とは？
美しく迫力ある数々の楽曲に乗せて繰り広げられる悲劇の皇妃と彼女を愛した“死の”果てなきロンド(輪舞)。



僕だけにしか出せない トート像を

帝劇版『エリザベート』は、今年で10周年を迎えた。繰り返し上演されても、なお色褪せることのないこの名作ミュージカルは、再演のたびに主役たちのキャストイングが注目的になる。今回はエリザベートが朝海ひかると瀬奈じゅんのダブルキャスト。また彼女を愛する死トートはトリプルキャストで、山口祐一郎と石丸幹一というベテランに並んで、初の20代トートとして話題を呼んでいる城田優が演じる。その初日を開けたばかりの城田が、役柄と作品への愛を語ってくれた。

シーンとしている中に登場

——初日から何回か出演を重ねて、今は、だいぶ慣れてきた感じでしょうか？
少しはベースといいますが、舞台上の温度がわかってきました。やはり実際に立つてみるとわからないことが多々ありました。初日は緊張感でバクバクで(笑)、挨拶でも言ったんですが、前の晩はまったく眠れない状態で。今もまだ最初の出から「最後のダンス」のナンバーあたりまでは緊張しています。

——最初の日は、とくにシーンとしている中に出て行くわけですからね。
基本的に場面が切り替わる時に登場するので、バンと出て行くところが多いんです。それだけ注目して観ていただけるので有り難いですけど、それがまた緊張に繋がります。

——トートはメイクもとても凝ってますが、時間はどのくらい？
30分くらいです。細かく描くのでけっこうかかります。最初だけメイクのかたに

もしないけど、若いからこそその魅力を出していきたい。僕のイメージではトートは若くていいし、永遠に老けなくいいと思って、クールとヒューイというのがテーマなんです。とにかくクールなかこよさを出していきたいと、稽古前から思っていました。

——本当にクールで自信ありげなトートに見えます。

実際の僕はバクバクしてるんですけどね(笑)。たぶんトートは、シイに会って「なんだ？この子は」と、初めて味わう感情に驚いて、でも「恋」というもの自体を知らないで、手に入らないわけはないと思ってる。だから余裕でぐぐぐの屈くものだと思ってる。そのへんの自信は見せていこうと思ってます。そしてあまり感情的にならないで無関心を装っている。基本的に冷静なんです。

——それなのに何度も振られたりして、そういう駆け引きが見せ場ですね。

僕も演じながら楽しんでるんですけど、たぶんエリザベートという人間の個性が、トートに特別な気持ちとか興味を抱かせているんじゃないかな。「まだ行かない」と言われるところも含めて、トートは魅了されているんじゃないかと思ってます。

いい緊張感で10月まで

——2人のエリザベート役が変わることの違いはありますか？

お2人の雰囲気は違うんですが、といって基本的には変化はないです。もちろん瀬奈じゅんさんのときは手をこう回すとか、朝海ひかるとさんはこう向かせるとか、細かい動きの違いはありますが、気持ちではトートはエリザベートに真っ直ぐ向かっていますから、芯はまったくぶれないです。

——ラストシーンはカタルシスがあります。演じてる側としてはいかがですか？
感情的には「ついにやっとこの時がきた」という気持ちを出すシーンなのです

レクチャーしてもらって、その順番通りに描いています。日によって出来は違うんですが(笑)。
——メイクしてかつらをつけて衣装を着たらトートになりきるとい感じですか？
やはり衣装とかつらで、圧倒的に気持ちが入ります。

夜の10時まで特訓の2人

——以前ドルフ役のオーディションを受けた経験があるくらい好きな作品だそうですね。

世界観がすごく好きなんです。観客を一気に包み込む世界があつて、居ながらにしてウィーンやハンガリーに連れていってくれる。音楽が綺麗で、話が歴史的な事実とフィクションの融合で、本当によくできたミュージカルだと思います。曲のリプライズの仕方も歌詞も、知れば知るほど深いと感動します。

——楽曲は難しいものが多いのでは？

——サウンドハイムさんのミュージカルなどを経験したおかげで、トートは意外と歌いやすく綺麗なメロディが多いと思います。でもそれを魅力的に歌うのが難しく、毎日夜の10時くらいまで稽古場に残ってスタッフの方に付き合っていたながら特訓しました。その僕の隣では、ドルフの万里生くんがダンスの特訓をしてました(笑)。

——石丸さんと山口さんのトートとの違いをどう出そうと思っていましたか？
20代のトートは初めてということと、これまでの最年少より10歳以上若いということもあり、若さと言われるか

が、実は僕の場合はお姫様抱っこしてて(笑)。その上、僕の前のセリが深く下がっているんで、そういう意味での緊張があるんです(笑)。でもシイと出会うから数十年という時間に終止符を打つ大事なシーンなので、しっかりやらないと思ってます。

——ダブルのエリザベートとトリプルのトートという公演ですが、10月まで自身に期待するものはどんなことですか？

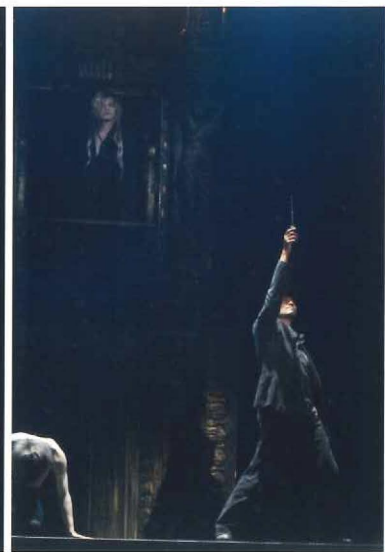
出演ロケーション上、2、3日空いたりするベースに慣れてなくて、毎日でも出たいくらいなんです(笑)。でもこれまでの緊張感はいまだかつてないし、それはやはりトートを演じているからこそその緊張感だと思いますので、初心を大事に、気持ちを緩めず、いい緊張の中で3カ月を過ごしたいです。

城田優

しるたゆう◎85年生まれ、東京都出身。2003年、ミュージカル『美少女戦士セーラームーン』でデビュー。以来TVDドラマ、映画、CM、舞台など様々な分野で活躍中。出演映画は「ROOKIES-卒業-」「今度のは愛妻家」など。TVDドラマは09年NHK大河ドラマ「天地人」で真田幸村役、「交渉人」「サムライ・ハイスクール」など。主な出演舞台は「テニスの王子様」、「スウィーニー・ボット」、「タイクフライト」(宮本亜門演出)など。現在はラジオ「オールナイトニッポン」月曜レギュラーパーソナリティーを担当。10月クールTBS系ドラマ「ケイン/ク2」[SPEC]に出演予定。

Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源
Q2.役者として「こだわっていること」

A1.食べ物としては焼肉。声にいいのでレバ刺しとかタンとかもよく食べます。あと、お客様の気持ちが有り難いです。観に来て下さって、拍手とか手紙とかで励まされる。僕の糧になってます。A2.マネをしない。オンリーワンでありたいので。台本を読んだときの自分の感覚で役作りしていきます。まだ経験も少ないし幅も狭いと思いますが、あくまでも自分のオリジナルで勝負していきたいと思っています。



東宝ミュージカル エリザベート

脚本 歌詞 ミヒエル・クレイ・シュルツ
演出 監修 小池修一郎
出演 朝海ひかる／瀬奈じゅん／ダブルキャスト 山口祐一郎 石丸幹一 城田優 トリプルキャスト 高崎聖也
8/9・10/30◎帝国劇場
《問合せ》東宝プレイバック 03-3201-7777(9:30~17:30)

小林聡美

役の精神性や背景を引き出す稽古

「演劇をつくる」
役者の
タクラミ

ごく普通の暮らしを送っているように見えた主人公ハーバーが、父の危篤をきっかけに突然行く先も告げず旅に出る。彼女の中に何が起きたのか？ 日常の中の不安や揺れ、その先に横たわる孤独を描いたサイモン・ステイーヴンスの翻訳劇を、長塚圭史が演出するこの舞台。ヒロインのハーバーに扮するのは、5年ぶりに舞台に立つ小林聡美、同世代の女性、ハーバーの中に生まれた人生への問いかけを、どう演じるのだろうか。

ハーバーの2日間での変化を

——長塚さんの演出は初めてですが、彼の作品の印象はいかがですか？

いつも拝見していて感じることは、長塚さんの繊細な感性が純粋な分、残酷な部分がとても印象的で、みんなが普段なるべく見ないようにしていることを、「でも本当はこうでしょ」と見せつけられる気がします。だから心がヒリヒリしながら劇場をあとにすることが多いですね。

——この戯曲は一見日常性が強くて、長塚さんらしくないような気もするのですが。

私もはじめはそう思ったんですけど、読むほどにやっぱり長塚さんらしいなと。解釈の仕方でかなり長塚さん色がすごく出てきそうで、期待しているんです。

——稽古はどんなふうに進んでいるのですか？

みんなで本を読み込んでいるところです。登場人物のそれぞれが、どういう理由で、どういう心理でそこにいるかというのを、シーンごとに話し合っているのですが、書かれていない具体的なイメージ、たとえばハーバーの勤めている会社の規模とか仕事内容とか、みんなで話し合っていくんです。そのディテールの積み重ねで、役の精神性とか背景を想像しやすくなり、戯曲の言葉の奥にある深い部分を探っていけるので、すごく面白いです。

——同世代の働く主婦であるハーバーへの共感はある？

年齢的にも近い役なので共感できることも多いのですが、逆に今まで自分でも気づかなかった私の内面や感情を、この役を通して表現できたらいいなと思ってるんです。ハーバーは2日間でいろいろな経験をして変わっていくんですが、ラストではその2日間によって変化した彼女を、きちんと表せるようになっていたらいいなと思っています。

1人の人間の媒体となる

——小林さんは、構えずにふっと役になっていく役者さんに見えるのですが、外見から作ることなどあるのですか？

やっぱり基本的には役の内面から考えますが他の人から見たらわからないくらい髪分けめを変えたり、長さを変えたり、ちょっとずつどこかいじってます(笑)。その「ちょっと」で気分もだいたい変わるし、何気なく着た衣装から思いがけないパワーをもらったりしますね。

——それだけメンタルな部分が大きな仕事なんですね。戯曲にもよると思うのですが、なりきり型ですか？

俳優の仕事って役の媒体になる仕事だと思うので、やっぱり体と心にして1人の人間が入ってくるというのは、そのぶん消耗しますね。共感の多い人物のほうがよけいそうなります。ハーバーもかなり危険ですね(笑)。

——そういう意味でも取り組み甲斐のある役ですね。

——どんどん読み進むにつれて、主人公は女性だけど、もっと

人間社会全体の話であり、家族とかコミュニケーションとか愛とか、そういった非常に現代的な問題を捉えている作品だなと感じました。インターネットが氾濫した、相手の顔がよく見えない現代社会で、人間らしさを保つことの難しさ、でも、だからこそちゃんと向き合う、そのことを考えるきっかけにもなる舞台だと思います。

こぼやしとみ◎東京都出身。映画やテレビなどで活躍。最近の主な出演作は、映画「かもめ食堂」「めがね」「アール」など、テレビは「神はサイコロを振らない」「1ポンドの福音」「2クール」など、舞台は「新撰・我が輩は猫である」以来、5年ぶりに出演。10月30日には映画「マザー・ウォーター」が公開予定。

Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源

Q2.役者として「こだわっていること」

A1.寝顔です。あの独特の寝顔と、そこから生まれる笑いが好きです。

A2.健康でいること。心が疲れていたり、体が疲れていたりするとすべてに影響が出るので。

公演情報



『ハーバー・リーガン』

作◎サイモン・ステイーヴンス
演出◎長塚圭史
出演◎小林聡美 山崎一 美差 大河内浩
福田転球 岡宮祥太郎 木野花
9/4-26◎パルコ劇場
9/29◎水戸芸術館ACM劇場
10/2-3◎梅田芸術劇場 シアター・ドラマシティ
【お問合せ】パルコ劇場 03-3477-5858
http://www.parco-play.com/web/stage/information/harper/



筒井加寿子

ついでに77年生まれ、高知県出身。99年に劇団衛星に入団すると同時に、演劇活動を開始。03年退団後はフリーの女優として、マレヒトの会やトリコ・Aプロデュースなどに出演する。08年に演劇ユニット「ルドルフ」を結成。過去2回の公演では、いずれも演出に専念した。ルドルフの舞台に自ら出演するのは、意外にもこの作品が初。

次回予定◎未定。HPで確認を。http://rudolf.bitter.jp/index.html

Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源

Q2.役者として「こだわっていること」

A1.「これを表現したい」という欲求です。具体的なイメージを描けてくると「やってみたい」という欲求が自然とわいてきて、辛い時もその気持ちが変わります。なので、それを探求する作業を大事にしたいです。

A2.私は何ごとに対してもこだわり過ぎてしまうことが弱点なので、最近ではむしろあまりこだわらないように気を付けています。

「本当に好きな世界」を体現したくてユニットを結成。

その時の現場に応じて、臨機応変に役をこなすことが求められるフリーの役者。様々なスタイルの演出や物語を体験できる分、自分の演技を見つめ直したり「本当に好きな世界」を体験できる機会が少なくない、との声も。京都でフリーの女優として活躍する筒井加寿子が結成した「ルドルフ」はその欲求を満たし、かつ新しい創作プロセスを模索するタクラミの場なのだ。

役者の基盤を確実にするために理想の演劇ユニットを自ら結成。

私はフリーの役者として、様々な舞台に出演しているんですが、目の前の作品作りには追いついてしまっている状態が、一時期続いていたんです。それで最近「自分の役者としての考え方の基盤が、しっかりしていないのでは」と感じるようになりまして。それを立て直すには、戯曲に向き合ったり正面から写実したりする作業を、もう少し長い時間をかけてやる場所が必要だなと。でもそんな場所は待っていても来ないので(笑)、自分で立ち上げることにしました。

ルドルフは公演のたびに、一緒にやりたい演出家や役者と呼ぶというスタイルでやっています。上演するのは、今のところ古典戯曲が専門。長い時代を生きただけあって面白い作品が多いですし、そこから現代に通用する要素をあぶり出していくという作業が、すごく楽しいんです。あとは「あの役者さんに、こんな役をやってほしい」と夢を見るのも好きですね。やっぱり私は、役者、にすごく興味があるんです。

イヨネスコの『授業』は不条理劇と言われますが、改めて読むと「結構よくある話じゃないか」と思いました。最近では監禁や衝動的な殺人なんか、珍しくなくなってますし。演出家に水沼さんをお呼びしたのは、すごく丁寧で粘り強く演出をしてくださるし、軽い部分と重い部分のバランスの取り方が非常に上手い方だから。普段作っている不条理風のスタイルも、イヨネスコの本来に合うんじゃないかなと思ったんです。

生徒以外のキャストですが、金替さんも永野さんも、どちらもコメディ劇団に所属していて、劇とキャラクターが確立されているじゃないですか？ 普段と異なる芝居をすることで、違った魅力が見えてくるのではと考えたんです。また、何よりも私自身が、お二人から役者の技術を盗みたかった笑。永野さん、お客さんをリラックスさせるのが上手いので、そのためにどんな準備や心構えをしているのかが知りたかったし。金替さんも、教授役という難しい役柄を、どういう風に自分のモノにしているのかという、その作業の過程を目の前で見れたかったです。

お客さんからの声を聞いて初めて全てが二重性のある舞台と気付く。

稽古場では、全員で戯曲の解釈について話し合う時間が多かったですね。永野君の女中役は特に解釈が難しく、本人も「僕の存在は何なんですか？」って聞いてました(笑)。演出が方的に説明するのでも、役者が勝手に演じているのもない、密度の濃い稽古ができたと思います。

この舞台は面白くない、稽古中では気づかなかったことに、お客さんの感想で初めて気づかされるのが多かったんです。たとえば私が演じた生徒は「口では勉強したい」と言うけれど、その奥には別の欲求がある、二重性のある人物だと解釈してました。教授の方も、やはり「勉強を教える」と言いながら、別の思惑がある二重性の持ち主で。だからさらに演出面の方でも、舞台上に散らばった紙を筆記具やナイフに見立てたり、女中役を男優が演じたりなど、インテキリアルな二重性がいろいろ仕込まれてたんです。だから私の役だけでなく、この舞台全体が二重のモノが混在する世界だったんだなあ、と。本当にたくさんの方に、芝居が終わってからも「ああ！」って気付きました(笑)。

ルドルフで次に何をやるかは検討中ですが、稽古のプロセスを見直したいとは思っています。本読みに以外にも何回か、役者やスタッフが作品の認識を一緒に持っているような場を設けてから、全員で稽古に臨むということがやりたい。サッカーチームのように、戦略を皆に理解してもらってから動く、というイメージですね。最近では役者だけでなく演出にも興味があるので、また自分で演出をすることになるかもしれません。



「教授」と呼ばれる男(金替)と年老いた女中(永野)の元に、「授業を受けたい」という女子生徒(筒井)が訪れる。淡々と個人授業が始まるが、次第に教授は秘めた暴力性をむき出しにし、生徒は内なる劣等感に苛まれはじめる。冷徹にその場を取りつこう女中が見つめる中、まさに地面にバラまかれた紙切れのごとくボロボロになっていく「授業」。それは教授が生徒を刺し殺すという、最悪の結末で終わりを迎えたように思えたが……。



ルドルフ『授業』

作◎ウージェーヌ・イヨネスコ
演出◎水沼健(MONO)
出演◎金替康博(MONO) 筒井加寿子
永野宗典(ヨーロッパ企画)
6/10-13 京都芸術センター フリースペース



——7月に上演された『エネミイ』を拝見して、高橋さんが演じられた礼司に共感しました。等身大の若者の役でしたよね。今回の『窓』で高橋さんが演じられる清輝は、礼司とはまた違った役になりそうですね。

そこですね。まだ台本を頂いていないんですけど、清輝はすべてをロジックで説明できると思っているような理論的な人。そういう人がある経験を境に崩壊していき、再構築されていく……という話だと聞いています。「エネミー」の礼司は、關いの対象が外側じゃなく内側に向かつてしまった人。その人間性は、現代的と称されていますが、そうではないとは思いますが、それだけだと寂しく感じるんです。なので、「窓」では「時代」ということを無視したいなと思っています。やっぱり僕自身がまだ現代の若者と言われる年代なので仕方ない部分もあるんですが、年齢や時代を無視してもと。人として見てもらえるような、「どの時代にもいるんじゃないか」と思われるような説得力を持たせたいなと思っています。たとえば「ハムレット」の主人公のハムレットも「王子」と言われているからすごく若いイメージがあるけれど、実際は40歳くらいの設定なんですよ。ね、いまいち感じてない？ うううう悩んでいるんだという感じが、それが成立するほどの青年性がハムレットにはあるということだと思ってます。今回の清輝にもハムレットのようにどの時代でも共通する人間性があるような気がするの、それをしっかりと掴めたいなと思っています。

演出家の個性は
幕が開いたときに見える

——高橋さんはこれまで様々な演出家

の方とお仕事をされていますが、倉持裕さんの演出にはどんな期待を寄せていますか？

倉持さんは人のことをすごく見ている方だという印象があるので、きっと演出もきちんとして下さると思うし、本当に信用して自分を預けたいなと思っています。いろいろな演出家さんがいますが、僕は稽古の最中に演出家さんの個性を見出してそれに合わせて自分を変えていく………ということとはあんまりないんですよ。そういうことをやっちゃうと自分が崩れてしまうので演出家さんの真の個性って、きっと幕が開いたときにこそ見えるものだと思うんです。だから稽古場では、自分が何色なのかということを出演家さんと話し合いながら、「こいつうっ色にしたい」と言われた色に対して自分がどういう反応をしていくかということが大切なのかなと思います。どんな演出家さんの仕事をするときも、まず自分から実際に立ててなにかを提示して、そこからなかが出てくるか………という感じですね。舞台に関しては特に稽古場で作り上げていくものだと思っているので、最初はロープランです。あんまり固めて行くと崩れるし、稽古場で「違っ」と言われたらそれまでなので、自分の演技も相手の役者さん次第で変わります。今回の共演者の方々はボススターの撮影のときに二縮めて、結構構って話せる時間があつたので、個性的な方が多くて、話しただけでもすごく面白かったです。「エネミー」のときは上の世代の方々と二縮させていたんで、その価値観と熱量とかがすごく面白かつたんですが、今回はまたそれとは違う意味で楽しい現場になるんじゃないかなと思います。

たかはいっせいい。〇80年生まれ、東京都出身。数々のTV、映画、舞台上で活躍している。最近の主な出演作に、テレビドラマ「医龍2」「1ポンドの福音」「シンソー」伝説の刑事「鉄の骨」、舞台「から騒ぎ」「ガス人間第1号」「エネミイ」、映画「LOVE MY LIFE」「アトロイタメタル:シティ」などがある。

自分の色を稽古場で探っていく

蜷川幸雄、後藤ひろひと、鴻上尚史、ケラリーノ・サンドロヴィッチ、本谷有希子と、様々な演出家の作品に次々に出演し、作品ごとに違った顔を見せている高橋一生。学生運動をテーマにした鈴木裕美演出の舞台『エネミイ』では、現代を生きる若者ならではの“闘い”の姿を表現し、高い評価を得た。そんな彼が次に挑む舞台は倉持裕作・演出『窓』。日常がいつしか奇妙な方向へ捻れているような独特な倉持ワールドに、高橋はどう立ち向かうのか。

役者の
タワラ

Q2.役者として「こだわっていること」

人1. 日常じゃないですか。僕僕とそう言うことばっかりとして生きてる実感がないもの。何気ない瞬間とか、これにきまるまでのこととか、自分が思った、芝居って自分のなかから出てくるって、夢うつつの、些細な感情の機軸とか雲とかを挿入して、でも、フランクで、さうでもないかなとか、そして芝居って、まじで、それが日常にもフランクで、さうで……というのがあると思います。だからまず日常がベースにないといふ、うなずきます。

「劇をつくる」
役者の
タカラミ

さいとうゆき 神奈川県出身。84年にデビューし、以後、歌手、役者として幅広く活躍。最近
はテレビ「小公女セイラ」(TBS)「同窓会〜ラ
ブ・アゲイン症候群」(テレビ朝日)など。最近
の舞台は2009年「セブラ」、「斎藤幸子」など。

さいとうゆき◎神奈川県出身。84年にデビューし、以後、歌手、役者として幅広く活躍。最近ではテレビ『小公女セイラ』（TBS）『同窓会〜ラブ・アゲイン症候群』（テレビ朝日）など。最近の舞台は2009年『ゼブラ』、『斎藤幸子』など。

渡辺はま子さんの人生を感じながら

斉藤由貴

日本人にすでに遠くなってしまった戦争の記憶、その痛みとともに伝える作品が、この秋クリエに登場する。昭和の歌姫渡辺はま子が救った108人の命の物語「奇跡のメロディ」現代の人間が失いかけている他者の命への思いやり、そのたしかなどが、当時の流行曲である「蘇州夜曲」や「シナノ花」上がる。そのヒロイン役で名歌手渡辺はま子を演じる斉藤

日本人にすでに遠くなくなってしまった戦争の記憶、その痛みを美しいメロディとともに伝える作品が、この秋クリエに登場する。昭和の歌姫として知られる渡辺はま子が救った108人の命の物語、「奇跡のメロディ」である。

現代の人間が失いかけている他者の命への思いやり、そのために生きる強さや潔さなどが、当時の流行曲である「蘇州夜曲」や「シナの夜」とともに浮かび上がる。そのヒロイン役で名歌手渡辺はま子を演じる斉藤由貴に話を聞いた。

公演情報

『奇跡のメロディ』



作○飯島早苗
演出○板垣恭一
出演○斉藤由貴 陣内智則 古村比呂
坂元健児 森次晃嗣 古谷一行
9/6~9/23○シアタークリエ
【お問合せ】東宝テレザープ 03-3201-7777
<http://www.toho.co.jp/stage/> (パソコン)
<http://toho-navi.com/m/> (携帯)

奇跡のメロディ

やり遂げる強さを感じて欲しい

——斉藤さんは演じるにあたり、当時のことをいろいろ勉強されたようですが、その中で浮かんできた渡辺はま子というかたの印象は？

はま子さんは、自分の思いを信じて、貫き通した強さのある方だと思いました。でもその裏には、さまざま葛藤を抱えていらしたと思います。そもそも彼女は、戦時中に軍隊を慰問して国歌や軍歌を歌ってきた。とくに自分がアメリカ人のクォーターであるということもあって、お国のために、そして日本人である自分を確かめたいという気持ちもあって一生懸命歌ってきたんです。ところが戦争が終わった時、そのことが果たして正しかったのかという疑問が生まれて苦しむことになった。そんな彼女だからこそ、今度は戦争の呪縛から人々を救い出せるのではないかと、何かやるべきことがあるはずだと、さまざまな困難を超えて行動できたのだと思います。——いっしょに流行歌手に過ぎなかったはま子さんが、意志を持って歌うことで大きな変化が訪れるんですね。作品の中で

も歌が持つ役割が重要になりそうですね。

私自身、最近また歌手としての仕事が増えているときなので、この役に会ったことにも不思議な縁を感じました。まだはつきり決まっていないのですが、「シナの夜」や「蘇州夜曲」、あと「あゝモンテンパルの夜は更けて」はもちろん歌うと思います。歌も楽しんでいただきたいのですが、歌謡ショーになってしまってもいいかなので(笑)、歴史上の史実を追った物語だという軸はずらさずに、はま子さんや、兵隊さんの命を救うことに奔走した方々の生き様を見ていただいて、お客様に何かを感じ取っていただけたらと思っています。

役を与えられればなんでもできる

——はま子さんと同じように、斉藤さんにも芯のぶれない強さを感じます。

よくそう言っていたんですが、実際は全然反対で(笑)、
気が弱くて、くよくよしちゃうタイプなんです。女優という仕事
をしているのに、みなさんの前に出て行く立場であるという
感覚がほとんどないし、あるのは「ただ役と自分」だけで、役

を愛すること、できたらその役にも愛されること、それだけが
いつも念頭にあります。

——では、演じはじめたらどう見られるのかも気にならない？

素でなければ、自分の名前さえ言えなければ、何をやってもまったく平気です。映画で催眠術をかけられて犬になるというシーンがあったんですけど、もう全然恥づかしくなかった(笑)。「スタート」の声がかかった瞬間に四つ足で、アスファルトを走り回ってました(笑)。

——まさになりきるタイプの女優さんという感じですね。

普段は本当に普通の人だから、自分から離れれば離れるほど、その役にストンと入り込める瞬間が嬉しくて仕方がないんです。演技ってちょっとクセになるところがありますね。

——映像でのキャリアも長い斉藤さんにとって、舞台ならではのものはなんですか？

舞台は役と向き合う時間が長いので、自己嫌悪に陥ったり苦しいことも多いんですが、そのぶん教わることも大きいですね。嫌な思いをせずに成長することはないと思うので。そういう意味でも私にとってなくてはならない場所です。

公演情報



M&Oplays +
PPPP プロデュース

『窓』

作・演出◇高橋裕
出演◇高橋一生 野波麻帆
小林高広 いくもときき
五箇孝国 山崎フク 吉川純
内田亜希子 河原雅彦
9/16～26◇本多劇場、
9/29◇シアター・ドラマシティ
【お問い合わせ先】
森崎事務所 03-5475-3431

幻想的なのに現実を映す2人を

記憶を探る会話

——劇中の2人はどういう関係なんですか？

湖月 私の演じるルーナがある事件を起こしてしまつて留置場に閉じ込められていると、そこに姿月さんのエレンが現れるんです。

姿月 相部屋という形で、その部屋の中での会話で物語は進んでいきます。

湖月 ルーナには忘れていた「記憶」があつて、エレンと話をしていくうちに、自覚しないでいた自分のトラウマというか覆い隠していたものが出てきて、それを知ることと現実と向き合う勇気が出てくるんです。

姿月 誰もが持っている子供の頃の記憶とか、お母さんのお腹にいたときの記憶とか、そういうことを思い出させてくれるような、そこから始まっている命があるというお話なんです、きつと観ているかにも思ひ当たると思います。

湖月 ルーナは私とは真逆な人生を歩いているような人なんです、台本を読みながら涙が止まらなくなつて。

姿月 そう、本当に泣けるの。

——この作品はお2人をよく知る演出の謝さんから出たアイデアだそうです。

姿月 2人ともお芝居は大きな劇場が多かったけど、そこをあえて小さなところでやらせたいと、その小ホールという空間で私たちが何をしたいか、というような話を、一緒にさせていただきました。

湖月 客席が近い空間ならではの、心の中をさらけ出すような舞台になると思います。

——具体的に謝先生に要望を出し

た部分もあるのですか？

姿月 私は歌いたいとおかげさまでナンバーが非常に多いです。

湖月 いろいろな場面で歌われる姿月さんの歌の力が大きいんですね。それから謝先生なのでダンスもたくさんあります。

姿月 出演者はほかに男性3人と、演奏する方が舞台上に2人だけという少人数です。

湖月 そのぶん中身の濃いものができるとは思いますが、思っています。今回は謝先生のテーマである「命」とか「生きる」とかに加えて、「家族」「記憶がキーワードで。

姿月 あと「ギリシャ神話」ね。

向き合つて話せる関係

——同じ組で一緒に芝居していた仲です、心強いんですね。

姿月 それがほとんど絡んでなかったの。

湖月 私はルキーとか吟遊詩人とか、いつも進行役というストーリーリーテラーばかりで笑。

——当時から仲良かったという印象があります。

姿月 仲良くなつたもん。

湖月 本気にさせますよ笑。

姿月 本当はお互いの舞台もよく観て、私生活でも友だちです。

湖月 去年、久しぶりにライブで仕事を一緒にして、今度は芝居でもぜひ一緒に話していただこうでした。

姿月 まだ稽古が始まってないので、1人で台本を読んでいるんだけど、相手の台詞のところで、わたるの声とか顔とかが浮かんでくるの。すごく覚える助けになってます。でもそれは私が勝手に思っているイメージ

から、また稽古場で覆されると面白くない。

湖月 今、プレッシャーが笑。

姿月 私はきつとまた謝先生に追い詰められて限界まで落ち込んで、「できないしわからない」というふうになると思う。でもそのときに何がわからないのかというのを、向き合つて話せる相手だから。

湖月 宙組で一緒にしたのは2年程だったんですけど、すごく中身の濃い時間でした。退団されてからも自分の道を確立されているし、姿月さんの舞台に向かうストイックさは見習いたいなと思つてます。今回は向き合える役なので、私たちにしか出せない絆とか中身を出していけるのではないかと。

姿月 じっくり取り組みたい作品なので、長い公演期間がすごく有り難いです。公演中にみんな変化していくと思うし、その変化をまた見ていただきたいです。

しづきあさと◎大阪府出身。87年宝塚歌劇団入団。98年、宙組の初代トップスターに大抜擢される。00年退団。その後ソロ・ヴォーカリストとしてコンサートやミュージカルなど音楽活動を中心に活躍。06年～08年に三枝成彰氏プロデュースによる「シンフォニックコンサート」をサントリーホールにて開催。最近のステージは、セルフ・プロデュースコンサート「THE PRAYER」や、ピアニスト横山幸雄氏とのコンサート、ソロコンサートなど。今年4月にはミュージカル「ドラキュラ伝説～千年愛」にも出演。年末にはディナーショーも予定されている。TS作品は「Dawn」(02年)に参加。

こづきわたる◎埼玉県出身。89年宝塚歌劇団入団。03年より星組トップスターとして活躍し、06年退団。07年ブロードウェイ・ミュージカル「DAMN・YANKEES～くたばれヤンキース」にて女優デビュー。能楽劇「夜叉ヶ池」、ミュージカル「ALL SHOOK UP」、音楽劇「カラミティー・ジェーン」「愛と青春の宝塚～恋よりも生命よりも～」の舞台に出演。また「DANCIN' CRAZY」「gill」「Re-Birth」でバレエ、ジャズ、ヒップホップに挑戦。ダンス公演等、活躍の場を広げている。TS作品は「フォーチュンクッキー」(00年)に参加。

姿月あさとと湖月わたる

TSミュージカルファンデーションの新作ミュージカルで、姿月あさとと湖月わたるという、2人の元宝塚トップスターが共演する。宝塚宙組の創設メンバーで、当時のトップが姿月、それを支える男役スターが湖月(のちに星組でトップ)だった。芝居での共演は実に12年ぶり、謝珠栄の新作で、幻想的でありながら心の奥をさらけ出すような作品で2人が演じる役とその世界は？

「演劇をつくる」役者の7クワミ



『Diana 一月の女神ディナー』
演出・振付／謝珠栄
脚本／藤原久美子 音楽／林アキラ
出演／姿月あさと 湖月わたる 今拓哉 平澤賢 水谷あつし
10/8～31◎東京芸術劇場小ホール1
11/2◎富山オーパードホール
11/5～7◎兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール
【お問合せ】TSミュージカルファンデーション 03-5738-3567
http://www.dianaweb.tsmusical.com/

Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源
Q2.役者として「こだわっていること」
姿月あさと◎A1.睡眠。芝居にライブに落ちても、劇場に足を運んでそこで刺激を受けるのが好き、ライブでは寝てます(笑)。睡眠は仕事の延長で寝る部分もあっていいものを観たいとスキルアップしないから、それにやっぱり劇場という空間が好きだから。A2.音。演劇やPAもそうだし自分の出ている音も、音に関するものすべて。
湖月わたる◎A1.私はワインがないと生きていけないんです。稽古で疲れたと部屋を暗くしてキャンドル点けて、雲間雲作りをして、ワインを飲みながらちょっと眠るところで台本を読むと、稽古場で演れない感情のところに飛んでいけるんです。自分を開放してるとしゅね。それを何回かやって台本を身体に染み込ませていくんです。A2.自分を甘やかさない。強い結核のことをしなくなったらダメだと思つてます。ダンスが好きなので踊れる体でいたいし、役でもとこん突き詰めたい。その気持ちにはなりたいです。

風間杜夫

五部作でもう1人の風間杜夫の人生を

いまだかつてないひとり芝居だと言っていいだろう。前代未聞の5時間を超える五部作一挙上演である。第一弾の「旅の空」から始まった中年男の夢とも幻想ともつかない旅は、「カラオケマン」、「旅の空」、「一人」、「コーヒーをもう一杯」、「霧のかなた」と壮大なストーリーとなって1人の男の人生を映し出す。その五部作上演という、最初で最後かもしれない(?)快挙に挑む風間杜夫に話を聞いた。

牛山明は演劇をやらなかった自分？

——五部作一挙上演に至った経緯は？

実は言い出したのは僕なんです。よ。「カラオケマン」、「旅の空」、「一人」の三部作を2003年に上演した時、体力的にはまだ余裕があったので、これなら「コーヒーをもう一杯」と「霧のかなた」を加えた五部作上演もやれるんじゃないかと。「霧のかなた」でちょうどこの作品の主人公である牛山明の物語も完結してるから、通してやったら面白いだろうなと思ったんです。それでも体力的な不安はあるんですが、言い出したのが自分だから後には引けない(笑)。

——これよりも長いお芝居に出演された経験は？

ないですね。だけど今やっている芝居の稽古でも、ほぼ休憩なしで5時間ぐらい立ちっぱなしで、身体を動かしてる。それを考えたら、ひとり芝居のこの時間もやれないことはないだろうと。

——牛山明はどこにでもいそうな中年サラリーマンでありながら、風間さんへの当て書きをすごく感じたのですが。

どこか俳優・風間杜夫にならなかった風間杜夫のもう一つの人生みたいところがありますね。営業マンでお調子者でカラオケ接待しながらうまく立ち回ったり、記憶をなくしたら子供時代に夢見た大衆演劇に入ってしまった、かなり僕の持っている要素をうまく取り込んでくれています。

——つまり風間さんの半身みたいなものですね。

48歳で演じ始めた頃は、等身大の肉体と感性で成立してたし、風間なのか牛山なのかかわからないところがあったんですが、今は61歳になった男の分別というか、別の力を出さないといけない部分も出てきた。愛着はあるんですが、今までやってきたことをもう一度さらってみて、区切りをつけようという思いが強い。これで牛山明ともお別れすると思います。形としても紙芝居のように始まって、最後も紙芝居のふたが閉じるように終わる。それは一つのフィクションだという象徴でもあるし、僕の中での牛山明への決着の付けかたでもあるんです。



「演劇をつくる」役者の7クワミ

ひとり芝居から技を学ぶ

——ひとり芝居を経験されたことで役者として変化があったり、学んだことはありましたか？

初めは勝手がわからず、ずいぶん悪戦苦闘しました。例えば落語だと、1人で何役も演じ分けられるけれど、これはずっと牛山明のままで、相手役を想像させなくちゃいけない。最初はそこが難しかったんですが、ある時、子供の頃にやっていたごっこ遊びを思い出したんです。1人で斬る役と斬られ役をやってチャンバラごっこをしたり、料理ごっこをしたり…ひとり芝居

も色んな登場人物になって遊ぶ「ごっこ」だから楽しもうと思った。そこから相手役が見えてくるようになりました。

——じつと聞いている姿だけで、見えない相手まで想像させてしまう。心理的には何役も演じてることになりますね。

それでいいのはキャスティングが選べるってことで(笑)。理想の人がキャスティングできるし、相手役の芝居を自分で決められるから、相手役への不満がない(笑)。早く立てた時には、もう立って動いてますからね(笑)。

公演情報



トム・プロジェクト プロデュース
『風間杜夫ひとり芝居 五部作一挙上演』
作・演出／水谷龍二
出演／風間杜夫
11/3～11/10◎下北沢本多劇場
【お問合せ】トム・プロジェクト 03-5371-1153
http://www.tomproject.com/

かざまりお◎1949年生まれ、東京都出身。子供時代、80年代のつかこうへいブームなどを経て現在、様々な映像、舞台作品に出演。三部作を一挙上演した03年の評価で、文化庁芸術祭演劇部門大賞と読売演劇大賞最優秀男優賞を受賞している。

Q1.役者を全うする為に必要なスタミナ源
Q2.役者として「こだわっていること」
A1.僕の芝居をやるエネルギーは意地です。意地と見栄しかありません(笑)。例えばお茶漬け食ってる時でも、ライトが当たったらその瞬間に腹くっけて意地でも寝られようとする、その欲ですね(笑)。
A2.さっきの意地って答えと矛盾するかもしれないけど、こだわらなきゃと思うのは品性。これはつかこうへいさんから教わったことで、やっぱり下品で愚劣な役者にはなりたくないという思いがあります。



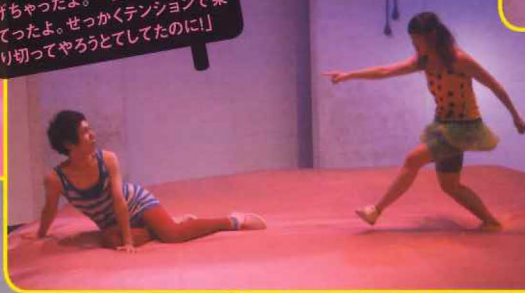
冒頭、超鈍感男へ支離滅裂女が不器用な告白をするが、あまりに噛みあわず、痺れをきたした周りが野次が飛び交い大混乱となる。「ごめん!思考のキャパシティでいうとバツが悪いものだから!」

渋谷のラブホテルの一角に突然乱入してきた、珍入者。新種の性病「ゾンビ」を取り締まる自由な奴らの邪魔により、渋谷で「これから!」というカップル達の運命は翻弄されていく。

幼い二人の性欲のパロメーターはウサギで現わされている。「ちよっとう私のウサギちゃん達!」と目眩に森に帰っていった。せつなくテンションで乗り切ってやろうとしてたのに!

ぬいぐるみハンター お肉体関係

作・演出○池亀三太
出演○神戸アキコ 猪俣和磨 竹田有希子 浅利ねこ 佐賀モトキ 福本弘 桐村理恵 藤吉みわ 串田仁美 丸石彩乃 加藤諒 海野デカ 野口順平 沖山麻生 川口聡
7/28~8/1○王子小劇場



渋谷の住人の様々な証言により徐々に明らかになってくる「ゾンビ」の正体。乱れた異性交遊が渋谷に「ゾンビ」を蔓延させていく。しかし、食い止める術もなくハチ公前は陽気なゾンビ達で溢れかえる。

ゾンビ治療施設となったラブホテルのベッドの上で日夜繰り広げられる相撲。相撲には悲しき事実と夫婦の愛が隠されている。「質問がある人は相撲を取ってかかっています。」



バトルロイヤルな



串田仁美 (オタネお姉さん)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。



福本弘 (マント)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。



竹田有希子 (山手)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。



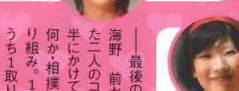
海野デカ (愛蔵)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。



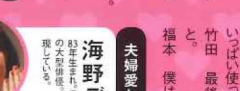
野口順平 (三ツツ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。



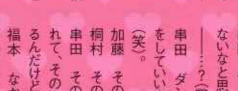
沖山麻生 (のの)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。



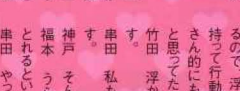
桐村理恵 (倉恵)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。



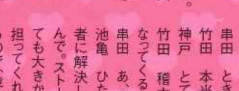
加藤諒 (イデモ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。



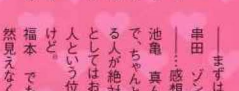
浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。



佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。



猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。



神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。



見ず知らず同士だった渋谷の人々の運命は徐々に絡み合い、渋谷の街中で仕組まれている。追いかけて、追いかけて、追いかけて、お祭り騒ぎのうちに服も脱ぎ捨て、お祭り騒ぎのうちに服も脱ぎ捨てていく。

ハミダシ編 [演劇をつくる] 役者と演出者のワケミ

渋谷の喧騒に巻き込まれた二人にようやく訪れた二人きりの静かな時間。多くのカップルがそうするよう、二人きりの時間は気が狂ってしまつたような甘い言葉で囁き合う。

「そんなだけ」と、吠えてみる。世界は「不思議」って言葉と「そんなだけ」っていう言葉で全て説明ができるの。もって言う間違ったものを持って、渋谷のみんなは今日も笑顔でセンター街や道玄坂なんかを闊歩している。

二人の幸せの時間にはやっぱり邪魔が入る。恥ずかしげもなく愛を語って二人に周りから野次が飛ぶ。無責任な奴らの愛のある野次で気付けの、あのコとボクはあのコとボク以外で成り立っていたりするってこと。

祭りの後の余韻が残る渋谷で、初々しいカップルのデートは終わらない。なん「今日が終わろうとしているのに、なんでそんなに冷静でいられるの。夜になつたら毎日不思議で発狂だよ!」



“Love & Peace”

王子小劇場に大きなピンクの円形ベッド置かれると、ワンダーランドになりました。そこでは、あまりにも不確定な「愛」をめぐるキョウビの若者たちが右往左往、天往地往。カラフルにトンガってコミカルな混乱をきたしていました。あたかも現在の煉獄のようでもありました。次々に脳髓からこぼれ落ちていくような舞台のおもしろさを、なんとかすく取りたいと、出演者13名の座談会と、演出を担当した池亀三太氏に監修をお願いして、誌面に再現してみました。それでもページから溢れてしまう部分は、HP「演劇キック」に上演台本と出演者全員のハミダシコメントを掲載しましたので、合わせお楽しみください。

演出家と出演者13名による混乱パーティ

お芝居をみた勢いでアドレナリンがカドパミンだか出まくり、あのエネルギーを少しでも再現するには出演者全員に来ていただくしかないと思ひ込み、演出家を含めた14名(欠席者2名)の座談会となりました。とりあえず、出番が早い順に自身の役柄についてお話を始めましたが…。

池亀三太 (演出家)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

藤吉みわ (チロ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

川口聡 (三ツツ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

野口順平 (三ツツ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

加藤諒 (イデモ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

丸石彩乃 (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

海野デカ (愛蔵)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

沖山麻生 (のの)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

桐村理恵 (倉恵)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

加藤諒 (イデモ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

串田仁美 (オタネお姉さん)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

福本弘 (マント)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

竹田有希子 (山手)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

海野デカ (愛蔵)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

野口順平 (三ツツ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

沖山麻生 (のの)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

桐村理恵 (倉恵)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

加藤諒 (イデモ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

沖山麻生 (のの)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

桐村理恵 (倉恵)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

加藤諒 (イデモ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

池亀三太 (演出家)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

藤吉みわ (チロ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

川口聡 (三ツツ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

野口順平 (三ツツ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

加藤諒 (イデモ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

丸石彩乃 (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

海野デカ (愛蔵)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

沖山麻生 (のの)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

桐村理恵 (倉恵)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

加藤諒 (イデモ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

佐賀モトキ (モト)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

猪俣和磨 (たも)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した男性役を演じる。

神戸アキコ (アキ)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

浅利ねこ (こま)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

沖山麻生 (のの)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

桐村理恵 (倉恵)
88年生まれ。大阪府出身。演劇団「おたね」に所属。舞台、映画、テレビで活躍中。本作では、ゾンビに感染した女性役を演じる。

いけだしん (猫のホテル／表現・さわやか)

いけだしん○69年生まれ、長野県出身。俳優。

次回公演○表現・さわやか 第7回公演「アラシドロン」
9/1～14◎駅前劇場、9/18～21◎HEP HALL、9/25-26
◎北九州芸術劇場小劇場

- A.1** お肉とお野菜とお魚とお新香。とにかく、好き嫌いなく何でも頂けて事ですが、バランス良い食生活が、なにより健康とお肌に良いので。イナゴだって食べちゃいます。(お休みの日は、吉祥寺辺りのエステに行ってみたいですね。帰り際には、ローズヒップティーかな)
- A.2** 法に触れない。いけない事だから。

次回作について

皆様、体調はどうですか。猛暑により夏バテしませんでしたか。猛暑以上に暑い日は激暑と言うらしいですが、それ以上暑かったら、僕は「猛ダメ暑」だと思います。そう呼んでいいですか?
表現・さわやか「アラシドロン」観て頂いた方、ありがとうございます。まだの方は舞台上お待ちしています。それでは「猛ダメ暑」でも頑張りましょう!

甘粕阿紗子 (カムキヤッセン)

あまかすあさ○85年生まれ、千葉県出身。俳優。

次回公演○カムキヤッセン「やわらかいヒビ」10/1
～11◎三鷹市芸術文化センター 星のホール

- A.1** 日常。舞台の上に還元できるものは、結局自分の中にあるものでしかないと思うので、プラスであれマイナスであれ、常に自分の中身が満タンであるように生きようと決めています。
- A.2** 役作り。王道ですが、役作り。かなり細部までこだわって考えます。役の人生や物語を、私の人生まるごとかけて引き受けたいとすごく思うし、その役のことをたくさんたくさん想像します。歩き方や、体内スピードなどは特に大事。

次回作について

少し恥ずかしいですが、私は実は自分の劇団の芝居が一番好きで、また、俳優として一番の「やりたいこと」でもあるんです。今回はうちの劇団にとって、大一番の舞台なのでとにかくはりきっています!

松本芽紅見

まつもとめぐみ○76年生まれ、兵庫県出身。ダンサー。

次回公演○松本芽紅見～群の像～「ホワイト」9/25・26◎ART COMPLEX 1928

- A.1** ご飯&コーヒー、睡眠、稽古場でのバカ話&笑い&ハブニング。コーヒーは私の制作の、というか人生のお供です。睡眠は重要で私、眠いorお腹空いたら機嫌悪くなり、やる気なくなります。稽古場での楽しい会話はいつも私の元気の源です。
- A.2** AからBへシチュエーションの変化があった場合、体にフェーダーがあるかのごとく変化するのを感じます。それを早くしたり、カット・チェンジしたり、思うがままに任せてみたりします。私だけが出来る事の様な気がして大事にしています。

次回作について

これまで多くの振付家との作業に職人的こだわりで取り組んできましたが、やはり「自分発信」をしないと何も変わらない!と感じ今回の公演を企画しました。“ダンス”の良さってこうじゃない?というシンプルな事を再認識してもらえ様な作品にしたいです。

次回作について

エビビモpro. 次回作はモダンスイマーズの古山憲太郎さんを始め豪華客演陣と共にエビビモpro. 史上最少出演者数(!?) 15名でお送りします。古典の傑作「真夏の夜の夢」エビビモpro. バージョン!? どうぞお楽しみに!!

森すみれ (鳥公園)

もりすみれ○86年生まれ、山梨県出身。俳優。

次回公演○鳥公園「乳水」9/23～26◎
日暮里d-倉庫

- A.1** 誰かと会って話すことと、みんなでご飯を食べにいくことです。稽古後とかにどうでも良い話をしたりするのが自分にとっては重要なあとだと思います。みんなで食べるご飯は何でも美味しいですね。
- A.2** こだわりはあまり持たないようにしてます。こだわりがあることで前に進めなかったり、余計だと思ってしまうことが多いからです。

次回作について

監禁犯の夫婦・被害者女性・そして監禁犯夫婦の夫と被害者女性との間に設けられた2人の子供という集団は、新しい家族のかたちとして機能していたのではないかと 実在した事件を完全にフィクションに構成。鳥公園#4「乳水」是非ご覧ください。

猪岐英人 (ナイロン100℃)

いのまたひと○77年生まれ、愛知県出身。俳優。

次回公演○ナイロン100℃ SIDE SESSION「亀の気配」9/15～
20◎サンモールスタジオ

- A.1** 心のスタミナ源は演劇を始めた学生の頃の仲間。俳優は結果が形として見えない不確定なものですが、ずっと自分を見てくれる仲間が驚く演技が出来ること、「自分、前進出来てるな」と思えて次へのエネルギーになります。あ、あと妻も。
- A.2** 「作品の中の自分」という視点を大事にしています。わずかな書きや台詞からは無限の役作りが可能ですが、一旦、観客が見て今の自分は作品にどんな意味を与える?と考えることで、独りよがりな役作りに陥らないよう気をつけてます。

次回作について

作・演出の喜安さんと脚色のKERAさん、そしてお二人とイキがよくクセのある出演者の化学反応を、存分にお楽しみ下さい。「セッション」と呼ばれるナイロンの公演は、今回のような新鮮な顔ぶれの時こそ爆発的に面白くなりますから。

伊比井香織 (ConRary、)

いびいかり○89年生まれ、神奈川県出身。俳優。立教大学在学中。

次回公演○ConRary、「愛とか、愛、」9/15～19◎シアターバビロンのほとりにて

- A.1** 色々ありますが、やはり「人との関わり」でしょう。様々な想いに触れたり、新しい関係性を築くことで、それが自分の中で愛に変わり、栄養となってそのまま芝居に立ち向かうエネルギーになっています。
- A.2** 稽古中はもちろん、普段の生活においても常に自分の身体感覚に敏感になっておくことです。その瞬間の自分を感じることは、そのまま演劇を「今」「ここ」でおこなうことに直結する問題で、とても大切なことだと思います。

次回作について

「愛」とは何か。果たして言語化出来る概念なのでしょう。人によるかもしれませんが。みんなで話し合ったら、本当に様々だと思います。今回の芝居で、あなたの、人間の、「愛」を体感して頂けたら嬉しいです。劇場でお待ちしています!

これから本番を控えた“旬”の俳優たちに、俳優としての「こだわり」をQuestion!
あんなこと、こんなこと、「これぞ!」という俳優を見つけたら、ぜひ! 劇場へ! 新鮮な出会いがあなたを待っているかも?

Question No.3

1. 俳優を全うするために必要な「スタミナ源」は?
2. 俳優として、「こだわっていること」は?

田中次郎 (サワガレ)

たなかじろう○90年生まれ。北海道出身。俳優。

次回公演○サワガレ「あいまみいめい」9/10～
12◎ART COMPLEX 1928

- A.1** マンガです。表紙を見ただけでも気が楽になるので、台本より読んでいたい位なのですが、他の役者がしっかりと台本を読み込んでいるのを見ると、そういうわけにもいかないので、台本に包んでトイレに持ち込んで読みます。
- A.2** 尊敬する他の役者を分析して真似すること、演出の意味を深読みすること、なるべく太らないこと、などなど、色々ありますが、貫き通せたこだわりはあまりないです。現に、よく太ってしまっています。

次回作について

ダークでポップでシニカルで、かつ濃密な物語が、劇場を狂った牛のように暴れまくり! 今回、旗揚げ公演なのに、他の役者が初共演の方々ばかりなので、稽古場でのコミュニケーションのことを思うとお腹がキリキリします。

- A.1** 肉と米。元気を出すには、お肉とご飯が欠かせません。お肉は食べると無条件で力が出る気がします。
- A.2** きちんと睡眠。頭も身体も使うので、両方の回復に一番いいのは睡眠と信じて止みません。1日6時間睡眠は確保するようにしています。悩んだりしてもとりえず寝て、ストレスを溜めないようにします。

次回作について

ザムザ阿佐谷の次は吉祥寺シアター! それまで1年程、劇団銀石は公演がありません。なのでいつも以上に気合を入れて望みます。ガラガラ眼の共演者達に負けない!

内山唯美 (劇団銀石)

うちやまゆみ○87年生まれ、神奈川県出身。俳優、照明家。

次回公演○劇団銀石「ジーンズ -gene(s)-」
9/29～10/3◎ザムザ阿佐谷

松居大悟 (ゴジゲン)

まついだいご○85年生まれ、福岡県出身。脚本家、演出家、俳優。

次回公演○ゴジゲン第9回公演「美しきラビットパンチ」
9/18～26◎駅前劇場

- A.1** スタミナ源は、主にビタミンです。デカピタCとオロナミンCとリアルゴールドが大好きですが、100%オレレンジューズも好きです。ビタミンがいつか世界を救ってくれる。僕はそう信じています。
- A.2** 稽古が始まるといつも同じ格好です。出来るだけ作品に時間をかけたいからです。だから稽古で「コイツいつも同じ服着てんな」と思っても、それはダサイからではなくストイックだからだと認知してください。よろしくお願いします。

次回作について

「美しきラビットパンチ」は、世界一ダメなファンタジーです。ダメ人間の話は多いですが、抗わずにファンタジーに変えてしまおうど受け入れる話って今までなかったんじゃないかと思っています。あっても黙っていてください。

出演者pod

タケミ版!

あだち理絵子 (テノヒラサイズ)

あだちりえこ○大阪府出身。松竹芸能所属タレント・俳優。

次回公演○テノヒラサイズ「テノヒラサイズの人生大車輪」9/14・15◎HEP HALL、9/22～26◎池袋小劇場(池袋演劇祭参加)

- A.1** 「全う」。全く背筋がのびる感じがですね。えっと、「楽しんで生きる」事でしょうか。Good foodで健全な心体をつくって、成る丈Happyに過ごす。前向きでないとい、死ぬまで俳優続けたいので「全う」できない気がします。
- A.2** ナチュラルに演じる事。どんな役であっても「こんな人おるな～」と思えないと私自身、感情移入できないから。その役がどうやってそれまで生活してたのか、ナマナマしいといなと思っています。舞台では難しい所も…。

次回作について

「テノヒラサイズの人生大車輪」はシンプルなのにホントにジューシー! 1人10役以上、あれよあれよと言う間にぐいぐい引き込まれ「うわっ」って終わります。おもねっと感じた方には返金したいくらいの自信作です。

高間響(笑の内閣)

たかまひびき○83年生まれ、北海道出身。脚本家、演出家、俳優、笑の内閣総裁。

次回公演○第11次笑の内閣「非実在少女のるてちゃん」9/11・12◎京都大学吉田寮食堂

- A.1** こう書くと、人格疑われそうなのですが、私はお金が大好きで大好きで。なので、チケットがいっぱい売れて、客席が満席になることが最大のスタミナ源です。物販でDVDやグッズが売れるのもスタミナ源です。
- A.2** 毎日ニュースをみてると、政治や経済への不満はたまるばかり。かといって、テロをおこすわけにはいかんし、自分が立候補するのはめんどくさいし、となると芝居をするしかないのをそれをぶつけることにこだわります。

次回作について

私から見ても世の中には不快な表現がいっぱいあります。しかし、それらを権力が規制することを容認してしまったら、次に自分の作品が規制された時文句が言えません。演劇人として自分を守るため、表現の自由は守ります。

野口かおる (双数姉妹)

のぐちかおる○76年生まれ、千葉県出身。女優。

次回公演○双数姉妹20周年「20年目の正直」11/7～13◎赤坂RED/THEATER

- A.1** ポテトチップス(コイケヤ)、酒、なめろう、南房総ドライブ、柳家喬太郎師匠の落語、ファン・カルロス・ムニス(ロッセ二軍)の応援、村上ジョージ師匠の直接人生説教がスタミナ源。欲望に正直に生き、たまに誰かに激怒されるのがいいローテーションです!
- A.2** 「理性と本能の摩擦」「貞淑と淫らの軋轢」「恥ずかしいけど犯すという葛藤」「ブレーキかけつつ前へ進んでしまう衝動で生じる摩擦熱」「コンプレックス」「普通生活」「殺す」最終的には風の谷のナウシカでありたいです。

次回作について

1990年11月21日に早稲田大学演劇研究会で旗揚げされた双数姉妹は今年20周年! アラウンド不惑の団塊Jr、ナナロク世代、松坂世代、ゆとり世代で構築されるロストジェネレーションアバンギャルド演劇「20年目の正直」! 20年という時間の重みと軽さを味わいに来て下さい!

演出ノート

江本純子



初稿脱稿からの約二週間は 私も寝てました

6/13、6/14>>本読みを前に放置していた(よく言えば寝かせておいた)第一稿を冒頭部分よりリライトしていく作業。セットプランの変更に合わせ、ト書きの動きを変更したり、シーン構成の整理など。シチュエーション的に特殊な状況であることを観客に伝えるためのルール説明を少し分かり易くし、盲目のツァコン・あつしにとってうざったい存在となるユカリの面倒臭さをより助長させるような会話を増やす。また、あつしのツアーシナリオには造形物へのフェティシズムが根底にあることを下らない形で示唆するために、女をイスに見立てて座る行為を追加し、第二稿を提出。

私も野田さんのように「作家本読み」 を稽古初日に導入してみたいです

6/15>>キャスト初顔合わせと本読み。本読みの際し、よくキャストに伝えるのは「ほぼ当て書きなので、そのままやってくれば自ずと第一段階の正解になりますよ」ってことだけど、今回の場合、それを言ってしまうと出演者に対して早速よからぬ問題を提起することになりそうなので、慎重に言葉を選ぶ。なぜなら登場人物それぞれに何かしらの際立った悪い性格が前面に表れている描かれ方をしているので、「あて書き」と言う言葉はまず避けておきたいところ。「口癖や喋り方はご本人のそれを忠実に描いているつもりなので、どうぞそのまま喋って下さい」と。出演者の名誉を守るために言っておくと、「婦人口論」の登場人物達は、それぞれ演じるご本人達の資質を私の勝手な主観で、もっとも面白いと思われる部分を悪い方に盛って書き上げたものです。と、言ってしまうとあんまり名誉を守ってないか。余計に余計か。あて書きではなく、偽書き(にせがき)ですよ、とにかく。

やっぱり乱れた会話が好きなんで。

6/18、19>>二日間に渡る本読み稽古。稽古前の簡単なワークショップとして無駄話タイムを設けるも、初日は私ばかりがベラベラと喋ってしまって意味ない空気。主な題材は他の芝居の悪口など。皆さん引き気味の苦笑いが続く。こんなふうに一方的で、不穏な会話の様子も是非とも参考にして下さいね。ってことで。本読みでは、セリフをより口語にしたり、ギャグを足したり。ギャグと言うか、ナンセンスな言葉は足していくと口語感が薄れてある種のブラマイゼロ。でもきつと口語演劇への興味は去年より薄れて

いて、リアルっぽい会話の追求はもはやどうでもよいと思っている自分に気づく。それよりも、今回は…。と本読みは続く。

杖や金との戦い

6/20～6/25>>立ち稽古1日目～5日目。プロローグ含め全6場を一日づつ順番に当たっていく。盲人用の杖を皆に渡すが、片手に本、片手に杖で両手が塞がってしまうので大変そう。美術模型が上がってきたので実際の役者の動きに合わせた修正が続く。図面以外での懸案はこの特殊施設を表すための遮光布について。リアルだとずっと黒い幕だろう、と言う話になるが、黒い幕を吊ると、美術もへったくれもないただ暗幕を吊っているだけに見えたら悔しくないか、と言う話。じゃあ取ってな布を選ぶかと言う話にもなれば今度は布を買うだけで美術予算の大部分が消えてしまうとか。(結果的にどうしたかは、舞台写真をご覧下さい。この施設についてのリアルを忠実に再現してあります。)

アイコンタクトゼロの口語劇

6/26～6/30>>立ち稽古6日目～10日目。皆さんの手から本が離れ、杖のみになる。段々と杖の扱いが乱雑になってきて面白い。杖を使ったギャグを足す。真っ暗の場面は稽古場を真っ暗にして行なう。実際は真っ暗だけど観客には見えている場面は、まずキャストにアイマスクをしてもらい、それをビデオ撮り。実際真っ暗な時に自分がどう動いているかを確認してもらいながら、取り入れる動きなどを指示。アイマスク中は皆さんのあらぬ動きが炸裂する。声は強気だけど体は弱気、とか。とにかく音に対する反応は過敏なのだけど、それが微妙にずれた方向へ反応していたり、観ていて飽きない。普通に会話していたら起こりうることのない首の動きの大胆さとか、生かどころが満載なのである。最終的にはコンテンポラリーダンスを踊りながら無理やり口語劇をやっているような妙にフィジカルな会話劇になるのかな。

キャストにお悩み相談

7/1>>立ち稽古開始から11日目、初通し稽古。おもしろかったのよん。
7/2～7/4>>立ち稽古12日目～14日目。2回目の通し稽古をした後、第5場の後半部分～ラストまでの書き換えを検討していることをキャストに告白。稽古後にぼんやりと残っていたノゾエさん、津村さん、野村さん、澤田さんに書き換えた部分に対する悩みを聞いてもらう。具体的な結論は出ないまま、持ち帰って宿題。明るく

日、書き直したものを決定稿として提出。

弁当泥棒にならぬよう舞台仕込み

7/5～7/6>>舞台仕込み。照明プランについて散々話し合う。なぜならプランナーが明るく日から仕事でドイツ方面に行ってしまうから。ウチの照明を放ったままドイツを楽しまないように、すごーくプレッシャーをかけておく。美術の作業も手伝う。今回の美術が暗闇施設そのものの具象セットだとしたら(だとしたら、ではなくそうなんだけど)ナンセンスな存在とその意味を疑われるであろう、顔ハメ看板の塗り絵。

協力:imovie

7/7～7/10>>仮照明と合わせながら、舞台稽古の連続。に加え、なんだかんだの紆余曲折があって私が映像を作ることになり、帰宅してからは夜な夜な編集作業。最初は字幕だけのシンブル映像のはずが、稽古で使っていたアイマスク映像がデジカメ内に残っていたことから何かが決壊。素材に取り込んで、ガシガシ病が始まってしまう。編集作業で夜が空けた時にウチの窓から見える窓ばかりの狂ったようなマンションを撮ってそれもグラフィック化。劇中にはほぼ無関係のイスボスターも取り込んでグラフィック化。自分で自分の首を締め続ける。

役者を動揺させるための トラップ用ギャグの仕込み開始

7/11>>ドイツから照明プランナーが帰宅したので、冒頭から場当たり稽古。キャストが「最近あんまり稽古できてない気がする」と不安を訴える表情をしていたので、劇中でやってもらいたいギャグをプレゼントする。

表現と犯罪のボーダーに向けて

7/13、7/14>>通し稽古とゲネ。ゲネ後に冒頭の暗闇シーンが長いのでは?と言う意見が続出したので、ちょっとだけ検討して、ちょっとだけ短くしてみる。でも本当はこの件、自分的には日和ってしまったような気がして、今でも少しだけ心残りだ。そのままやっていたらパニック者が続出してしまっていたのだろうか。もしそうなった時、「寺山修司は観客に睡眠薬を飲ませてそのまま外に放置したそうですよ」などと言って、それはひょっとしたら都市伝説かもしれないんだけど、そんな例えを出して、表現と犯罪のボーダーに立ち向かう覚悟は、一応は、あった。寺山修司の例が効かなかった時のために「アラキーは女の裸をアートと言って…」と言う第二案も、あった。のだから。

盲人のあつし(ノゾエ征爾)がツアーコンダクターを務める暗闇体験ツアー。ユカリ(馬淵英俤可)は会社の後輩のユカコ(初音映莉子)と友人のエミ(澤田育子)を誘ってやってきた。ユカコの同僚のユカ(野村恵里)、エミのことを好きな祐一郎(津村知与支)もなぜかついてきた。最初の自己紹介の段階からもめたりなど不穏な空気が漂うなか、5人はあつしに導かれ暗闇の世界へ。だがふとしたことからユカコが照明をつけてしまい、すべて白日のもとにさらされることに……。

劇団、江本純子 婦人口論

作・演出◇江本純子
出演◇馬淵英俤可 初音映莉子
澤田育子 津村知与支 野村恵里
ノゾエ征爾
7/15～25◎東京芸術劇場劇小ホール1



演出家の
タラシイ

前号の「稽古開始までのアイディアノート」に引き続き、今号では前号特集の「演出家のタラシイ」から一週連続で演出家江本純子氏に「演出ノート」の執筆をお願いしました。あのバシクという面白い展開の舞台がどのようなように作られていたのか、舞台写真と合わせて、演出家の全貌をのぞいてみたいと思います。

宝塚歌劇団のスター地図がまた新たに塗りかえられようとしている。昨年、そして今年もたくさんのスターたちが卒業していく歌劇団だが、これらを担う新しい顔も次々に誕生している。そんなNEXTを紹介していくこのシリーズ。第5回目は、宙組トップの大空祐飛を支えて力を発揮している北翔海莉。傑出した歌唱と演技で登場するたびに観客を楽しませている、まさに実力派の男役スターである。

北翔海莉

Kairi Hoshino

はくしょうかいり◎宝塚歌劇団宙組、千葉県出身、魚座、B型。1998年初舞台、のち月組に配属。歌と演技に秀でた男役として頭角を現す。00年ドイツ・ベルリン公演メンバーに選ばれる。03年『恋天狗』でパウワウショップ初主演。ミュージカル『シニョールドンファン』で新人公演初主演、以来04年まで3本の新人公演主演をつとめる。パウホールでも05年『Bourbon Street Blues』（ダブル主演）、06年『想夫恋』などで主演。06年宙組に組替え。07年『ハレンシアの熱い花』の役替わりでラモン、ロドリゴを演じる。同年『THE SECOND LIFE』パウホール主演。08年ミュージカル『雨に唄えば』でリナでは初の女役。最近の作品は、09年博多座『大江山花伝』の渡辺綱、10年『カサブランカ』ルノー大尉など、さまざまな顔を見せ、ショーでもその歌声とダンスで活躍、トップ大空祐飛を支える男役スターとして活躍中。

公演予定◎宝塚歌劇 宙組公演『銀ちゃんの恋』—つかこうへい作『蒲田行進曲』より—
原作◎つかこうへい
脚色・演出◎石田昌也
出演◎大空祐飛、野々すみ花、北翔海莉、他宙組
専科 那なつき
9/4—26◎大阪、伊勢崎、川口、武蔵野市、名古屋、北上、札幌、仙台、秋田、相模大野
<相模大野公演の問合せ>
03-5251-2071 阪急電鉄歌劇事業部
その他の公演会場と問合せは
<http://kageki.hankyu.co.jp/>

『銀ちゃんの恋』でヤスに挑む

宙組の東京公演『TRAFALGAR—ネルソン、その愛と奇跡—』で、妻をネルソン提督に奪われた貴族ハミルトン卿を、陰影鮮やかに演じた北翔海莉。出演する作品ごとにその適確な演技で注目される男役スターである。今年初めにも、宙組公演『カサブランカ』のルノー大尉で、映画と同じようにための警察署長に姿を作り込みながら、フランス男らしい色気と小狡ささと粋を見事に表現して大評判となった。そして次に挑むのが『蒲田行進曲』の宝塚バージョン『銀ちゃんの恋』のヤス。今や宝塚の財産の1つとなったこの傑作で、演技派男役、北翔が見せるヤスの生き様に大きな期待が集まっている。

ヤスに見る理想の男性像

——この『銀ちゃんの恋』のヤスといえば、宝塚でも三演目です。他の舞台や映像でもいろいろな方が演じられた有名な役どころですね。実はこういう役は、以前からずっとやりたいと思っていたところなので嬉しくて。私は松竹新喜劇の藤山寛美さんや直美さんの舞台が好きでよく拝見してたんですが、どこかあの世界に通じる大衆演劇的な部分もあるし、人情劇みたいなところもあるので、このお話をいただいたときは本当に演じられるんだと感動しました。

——宝塚といえど見かけもけっこう汚っていて、いわゆる宝塚的な綺麗な二枚目とはいえないけれど、人物像を演じることになります。



7月宙組東京公演
『TRAFALGAR—ネルソン、その愛と奇跡—』



ウィリアム・ハミルトン 北翔海莉



『ファンキー・サンシャイン』北翔海莉



『ファンキー・サンシャイン』北翔海莉

でも私は見た目ではなく、ヤスの中に男の人としての魅力を感じますし、ヤスの一本筋の通っている男らしさみたいなものは、宝塚の男役のかつよさにそのまま通じると思うんです。宝塚の男役が女性のお客様から求められているものは、表面的なキラキラ着飾っている姿だけではなくて、内側にある優しさとか情とか、そういうものでもあると思っています。そういう素敵さを内側に持っているのがヤスだと思うし、それこそが私がやってみたい部分でもあるんです。

——どの場面もドラマチックな物語ですが、北翔さんが特別印象に残っているシーンとかありますか？
ヤスが階段落ちをする前日の場面です。小夏に当たり散らして荒れ狂うシーンで、まさか自分ができるとは思わずに観ていて、「あそこのワンシーンだけでもやってみたい」と思ったのが、そのシーンだったんです。自分の性格にもない面だし、役としてもやることがないで、いざ演じたとなつたらどうなるかわからないんですが、あそこは確かにヤスの一番の見せ場であり、さまざまな感情がいっぺんに吐き出されるシーンですね。

ハミルトンという人間の成長を

——7月に東京公演があった『TRAFALGAR』ですが、主役のネルソン提督に妻を奪われる貴族のハミルトン卿を、ただの憎まれ役ではない人間的な存在として素敵に演じていましたね。最初に台本を読んだときには、なんてイヤな人だと笑。でもいろいろ映像とか資料とか調べたら、生まれ育った環境で人と物の区別がつかない、そういう育ちかたをしてしまった。だから平気で妻をお金で買ってしまうわけですけど、だんだん彼の中に変化が生まれて、情が生まれ、愛に変わり、嫉妬になっていく。同時に友情を抱いていたネルソンとも、妻を取られる

て対峙する関係になりますが、最終的には自分の負けを認めて全てを受け入れることになる。その彼の大ききみないなものを、出演場面でいかにちゃんと見せていくか、彼の内部と感情の変化をいかに表現していくかを大切に演じていました。

——その前の『カサブランカ』でも、お腹回りをわざわざ太くした中年男の役どころなのに、どこか色気があつて二枚目だったのが印象的です。今回のハミルトンもそうなんですけど、私はいつも宝塚の二枚目で演じようという気持ちはないんです。どの役もまずその人の人生をしっかりと見せたいと思っていて、二枚目とか汚れ役とかいう前に、まず血の通った人間であればいいと思っています。どの人物も一生懸命その時代とその環境の中で生きてたはずだと思えますし、私はその人を一生懸命生きるしかない。その結果その人物が素敵に見えることになったら嬉しいし、たぶん本気で真剣にその人の人生を生きようと思ったら、どんな人も素敵に見えるんじゃないかと思っています。

舞台に立っている幸せ

——昨年から宙組トップになった大空祐飛さんとは、月組時代に緒なで通じ合うものもあるのでは？
大空さんには下級生時代にお世話になりましたし、月組で背中を見て育ったので、今、こうやって組ませていただいているのがすごく嬉しいです。この1年で、親友だった恋のライバ

ルだったり、がつり組む役が多かったんですが、それがすごく自然にやれているのではないかと思います。大空さんとは、この役をこう演じるとかいうお話はあまりしないのですが、それが逆によく、今度はどう出でられるのかな？という新鮮な感覚で向き合っていたいです。

——男役としての北翔海莉は、歌も演技も一段と磨きがかかってきましたが、これから目指すところは？
そういう質問って難しいですね笑。具体的にこういう役とかこういう男役になりたいとかいう気持ちよりも、今は毎日舞台に立っているのがすごく幸せだなと、それを改めて感じているんです。最近いろいろな役に恵まれていることでもあります。男役だろうが女役だろうがなんでもやってみたい。そして宝塚の舞台は、そこから発する何かで、お客様が癒されたり幸せになつてくれたりします。いろいろな悩みを抱えてみんな生きているけど、宝塚を観に来ていて3時間は幸せになつてほしいし、自分もそれに力を貸せたいなと思っています。それが私の男役とか女役とかいう以前の、舞台人としての目標です。



『銀ちゃんの恋』
©宝塚歌劇団

PAGE 17

NACSTYLE

TEAM NACS 責任編集!?

今回の担当者:森崎博之

「演劇ぶっくにナックス責任編集のページを作ろう」ということで、ナックスらしいスタイルで自由に!を目指すこの企画・NACSTYLE(なっくすたいる)。今号は遂に、ナックスを語るうえで絶対にハズせない、あの男が登場です。その男とは、役者、映画監督、放送作家として活躍する鈴井貴之。演劇の大先輩であり、ナックス所属事務所・クリエイティブオフィスキューの社長でもある彼と、リーダーの森崎博之が語り尽くします。ナックスにも絶えず刺激を与えてきた鈴井が、今のナックスを見て何を思うのか——。必読です!



その一言が起爆剤となり

鈴井●ウチの事務所に入ったのが10年前だよ。その前から知っていたから付き合いは12〜13年かな?

森崎●もっと前じゃないですか? 僕は大学生の頃からかなり意識していました! 学生ながら「札幌で演劇を流行らせたい」というちょっとした野心があったんですけど、社長(鈴井)は札幌で、ずっとトップでやっていましたから。

鈴井●ジャマくさい存在だよなあ(笑)。僕がタウン誌で「今の大学生の演劇はなっていない」と発言したら激怒したらしいね。今に見てろ! 鈴井く!! みたいな。

森崎●起爆剤だったんですよ。自分に向けられたはずもないその言葉に、勝手に「何だこの野郎!! ぶさけんな!!」と思い、ナックスを作ったんです。だからナックスを作ったのは社長なんです。

鈴井●森崎くんは少しだけOOPARTSに入っていたことがあるんだよね。で、そのとき数回だけ一緒に稽古したんだけど……元気のいい、デンシヨンの高い奴だなあって(笑)。

森崎●僕は色んな所からワワサを聞いていたの、しほく社長がすごくおっかなびっくり。でも、怖い思いをしたことは実際ないですけどね。

鈴井●森崎くんに対してはいいです。でも、劇団をやっていた頃は、基本的にムチャクチャでした。蜷川さんは成金じゃないですか? 僕、パイプ椅子とか投げてたから(笑)。

森崎●僕は稽古場に最後まで残って、出ているパイプ椅子を全部片付けて帰る演出家です(笑)。

鈴井●ナックスは別格だけど、地方の劇団って、やっぱりアマチュアなんだと思うんですよ。僕は「なんとか札幌でプロの劇団を作りたい」と思って



森崎博之

もりさきひろゆき○71年生まれ、北海道東川町出身。演劇ユニット「TEAM NACS」のリーダー。ナックス公演にて数多くの脚本・演出を手掛ける。役者業を中心に、コラム連載、ラジオパーソナリティなど幅広く活動中。

次回予定○「pnish」vol.12公演「ウエストモート」(演出)10/20〜24◎天王洲 銀河劇場、10/30-31◎新神戸オリエンタル劇場、11/5-6◎テレビアホール

いたから、個々の努力や思いを強くしなきゃ。その為に選ばれるを得なかった方法ですね。ナックスみたいに、それぞれキャラクタースキルを持ち合わせた5人が集まるなんてことは、札幌では奇跡に近い。だからナックスが出てきた時は「あんな5人でやれていいなあって、羨ましく思いました。森崎●僕はただ、卒業の思い出作りに1回だけやろうと、それだけだったんです。ただ、社会人になった後何となく演劇に後ろ髪を引かれていて、そんなとき大泉が社長と一緒になっていた水曜どうでしょう(HTB)が人気だったから、そこで公演の宣伝をしてみようって。テレビの力を借りながら、育てて頂いた感じです。

鈴井から見たナックスの面々

鈴井●森崎くんは、自分で旗を掲げている元氣印。人は笑顔の下に集まるから、そういう意味でペースメーカーだと思う。大泉くんは人間としての自分というか、人を惹きつける稀有な存在だね。戸次くんは猪突猛進で、自分の目指すものに向かってズドンと進んでいく。周りの4人も「アイツはそういうヤツだから」と理解しているのが、またいい。首尾くんは全体のラインから一歩引いてディフェンスラインを見ていて、しっかり守ってる感じ。ただ、サイドバックだから時々上がって攻めにも参戦する、そういうバランスをよく見ていると思う。で、そういう試合をしている中……、安田くんはピッチにいない(笑)。

森崎●あははははは(爆笑)。的確ななあ。アイツ、どこにいるんだ!! って。

鈴井●安田くんは競技が違った。多分1人だけ違っランドにいる。

森崎●「安田、サッカーって言ったや?」(笑)。

鈴井●5人とも僕が出会った頃からキャラクターが変わらないです。しかもナックスって、普段の会話でエチュードなんです。会話はコト的に芝居をしている。彼らがウチの事務所に所属して、バックヤードを見るようになってから「ああ、これがこいつらの訓練なんだと分かりました。稽古なんて気構えしないで、普段から遊びながらやっている。5人でお茶をやるのが純粋に楽しいんだよね。これがナックスの底力、魅力なんだよね」。

森崎●僕ら「エチュード」って言葉を知りませんでしたからね。初めて聞いた時は「僕ら、そんなのやったことないです」「いつも5人でやってるやつだよ」「えっ、あの「こ遊び」ですか!!」って。

鈴井●日常が訓練だから、すごい稽古量だよ(笑)。

森崎●確かに(笑)。僕はOOPARTSが解散した時、ショックだったんです。僕らの先を走っている先輩だったので、その人達がなくなったら、急に不安が出てきた。僕らが先頭になっちゃったら……「みないな。ズルいんですけど、トップランナーはイヤなんです。先頭で道を切り拓いていく人の辛さって、社長や稲田博(劇団イナダ)代表さんを見て話を聞いて痛感しているの。でも僕らには、そういうラッセル車みたいなこととは出来なかったかもしれない」。

お互い新たなステージに立って

森崎●社長の復活宣言にもビックリしましたよ。もう演劇には興味ないかと思ってました。

鈴井●実は、ホントになかったんですよ。ただ、去年の春先に、北海道出身の同世代の役者4人で食事をした時、北海道演劇で頑張ってた4人のおっさんで、もう一度芝居やるか! という話が出た



鈴井貴之

すずいたかゆき○62年生まれ、北海道赤平市出身。地元を中心に映画監督、タレント、放送作家として活動。90年、劇団「OOPARTS」を結成。92年に「クリエイティブオフィスキュー」を設立する。98年の劇団解散後は、タレント・構成作家として「水曜どうでしょう」(HTB)等を手がける。2010年、「OOPARTS」プロジェクトを再始動し話題に。

次回予定○OOPARTS[CUT]10/6〜10◎Zepp Sapporo、10/14〜22◎Zepp Tokyo、10/26〜30◎Zepp Osaka

エンゲキの育て方

10
OCT.2010
vol.3
0yen

観ること、観せること、その両方でエンゲキは育ちます。観たいココロ、観せたいココロ、その両方を育ててみませんか？

菅節男

佐田さち子

自分のココロに、カラダに、
めいっぱい「エンゲキ」を詰め込んで楽しむ。
【特集】 今号は、そんな「感じるエンゲキ」をご紹介します。

Don't think!!～感じるエンゲキ～

【本能中枢劇団】吉原朱美×飯野遠×真下かおる×成田さほ子×宮下今日子
【ゴキブリコンビナート】Dr.エクアドル
【toi presents】柴幸男
【近藤良平・コンドルズ】にゅ～盆踊り〈潜入レポート〉

撮影◎大倉英揮



インディ高橋の

Patchy 小道具研究所®

第47回 | 『資料と材料と私』

いんていかはし○68年生まれ、大阪府出身。大阪芸大在学中より劇団☆新感線に参加、現在は役者兼小道具チーフとして様々な物を生み出し続ける「現代の匠」。

次回予定◎劇団☆新感線「鋼鉄番長」10/4～11/7◎サンシャイン劇場(東京)、11/16～12/5◎シアターBRAVA!(大阪)、12/13～17◎高橋劇場(福岡)

↑タイトル猫と私

思えば小道具坂を登り続けて20年以上たっておりま
す。今、何回目までいったのでしょうか。よく解りません。
まあ、進○ゼミじゃありませんが継続は力なりと言うんで
しょうか。まっ、頑張っております、それなりに本日も。
で、月日と共に資料本も、それなりに充実しております
、私の本棚。ざっくりと、和、洋、中の武器と甲冑、鬼、
天使、悪魔、陰陽道、江戸、幕末、アールヌーボー、ア
ジアな感じ、60Sロンドン、ハードロック、ヘヴィメタル、バ
ンク、サイバーパンク、スチームパンク、ポジティブパン
ク、ゴシック、歌舞伎、京劇、能面、ほ乳類、は虫類、魚
類、昆虫、骨格、SM、海賊、山賊、洋裁、アンティーク
系、彫金、ロボット、古銭、仏像、バイク、ギター、他沢山。
ちなみに資料としてのマンガも多数有り、です。資料
用DVDも。
なんだか、良く解らない本棚です。もちろん仕事とは関
係の無いモノもあります。それに関しては書きません本
日は。



▲資料

さて、資料を探す場合、大きい本屋に行きます。大型
書店です。近所に図書館もありますので覗いたりしま
す。古本屋も覗きます。ネットも使いますが、やっぱり本
屋がメインです。なぜならば、お目当て以外の本との
出会いがあるからです。「あら、こんな有るんだ」と
か。「こっちの方が資料としては使える」とか。世界がで
すね、広がる訳ですよ、コレが。本屋への道中にです
ね素敵な出会いとかあるかもしれませんし、まじで。忙し
いかもしませんが現場(本屋)にGOがよいと思いま
す。ちなみに時間のある時は本屋のついでに雑貨屋、
100円ショップ、ハ○ズ、ド○キ等の最近の品揃えなん
かをちらっとハ○ロールします。
こないだも、資料求めて本屋さん行ったんですよ、そし
たら「これはきつと役に立つはず」と全然関係ない資
料本も購入。
で、ですね、読みたいなと思ってあった本がちらりと目
に入りましてですね、購入。で他にも読みたかったのを思
いだしまして、計3冊購入。そしたらですね……。

ちょっと悲しい物語

ずいぶん昔、今よりも格段にバカだった頃。(私、今で
もバカなんです)

ふらっと入った古本屋。ふと目にとまった本。筑摩書房
の「明治フラッシュバックシリーズ」値札を見ると1
冊1300円。気になるモノが4冊。「買うべきか、買わぬ
べきか」「コレを買うと今月の生活が…」といった内容
で躊躇している自分がとても情けなくて、すごく悲しくて。
一晩中うじうじと悩んで結局ですね「まあ、なんとかなる
だろう」となんの根拠もない頭の悪い自信と「買わずに
後悔するのなら買って後悔してみよう」というような、と
りあえず前向きな結論に達しまして、翌日ダッシュで4
冊購入。と、同時に「躊躇することなく本を買える様
になろう」と心に強く誓ったのでした。数年後4冊の内2
冊はそれぞれ某お芝居で大活躍しました。その時にず
いぶん前にこのシリーズは絶版になっているというのもし
りました。これらの本は今も元気です。
ちょっと悲しい物語・完



▲明治フラッシュバック

でですね、ホントは読んだ場合じゃないのに読み始め
ましてですね、読みたかったんですよ、しかたないじゃ
ないですか。「オレだって活字読んだって言いだろう」
とか「きつとこの行動により何かのヒントに繋がるはず」
とか「物事には意味がある」などとやや頭のおかしい言
い訳を無理矢理しつづ。「でも今読まなくても」とかも
思いつつ。
で、面白かったんですよ。面白かったんですが、おかげ
様で色んな締め切りが、夏休みの宿題の8月31日の
状態になっておりまして。読書も命懸けです。
で、読書だけにしとけば良いのにですね、思い出したん
ですよ。観といった方が良いかなと思ってた映画がもうす
ぐ終わってしまいうざだったんですよ。で、観に行ったわ
けですが、個人的にどうしても観たかった作品が同館
でやつちよましてですね、で、そっちももうすぐ終了なん
ですって。ここはやはりやるしかないだろう、男だろ。はし
ごです。そんなこんなで、さらに8月31日度が増し増しと
なりまして、映画鑑賞もやはり命懸けです。

最近では昔の名作やちよっと前に公開された作品なんか
もDVD化されておりますね、作品によっては価格も安
い。3枚よりどり3000円コーナーとかもありますね。で、
先日そのコーナーにゴッドファーザーのPARTI～PART
IIIがちらっとありまして、そーいえば、ちゃんと観てなかつ
たなと思い、購入。エマニエル夫人は悩んだんです
が購入を我慢。ちなみにまだ観てませんゴッドファ
ーザー。

で、資料用DVD。モノによってはレンタルするよりも購
入するコトが多いです。手元にあった方が良いかなと
思うモノは、特に。作品にもよりますが、いのうえ演出で
あったら便利DVDはこれです。「七人の侍」「ロスト

チルドレン」「マッドマックス2と3」なので私、持っ
てます、ちゃんと。
あと、レンタルは返さないとダメじゃないですか、当たり
前なんですけど。長期レンタル出来ないモノは返してま
た借りたりとか。
多分忘れますよ私、返却。人間が雑といいますが、だら
しないもので。

材料を探して幾千里

先輩に教えてもらったり、仕事仲間の紹介であつたり、
でも誰も知らないモノは自分で探しかない。ダメもと
で扱ってそうな店に片っ端から突撃したり。人力です。
そこで、これです、ばーんっ、電話帳。まあこれも人力で
す。

第1話「なめたらあかん電話帳」

昔は今ほどネットも普及しておりませんでした。すくなく
とも私タカハシの近辺では。なので材料を探し求め
て、電話帳片手に電話かけまくってました。で、現場(店
とか問屋とか工場とか)行って売ってもらえるように話
して。コミュニケーションとって少しづつ距離が縮まると
いいますか仲良くなって問屋のおばちゃんなんかは
「それやたらうちには扱ってないけど○○さんとこやつ
たらあると思うよ」などと色々教えてくれるたりとかあ
るわけですよ。
タカハシ自身も今はかなりネットに頼っております。頼っ
てはありますが、ネットじゃ見つからないというかたどり
着けない店や問屋があるんですよこれが。ホームページ
の無いところもありますし。でも電話帳には載ってたり。

と、いうわけでネットは便利ですが「ネットで見つかりま
せんでした」じゃなくてそっからどうするか。そんな時は人
力、人力、人力。
時間が無い時はものすごく泣きそうになるけど。泣きな
がら人力すると素敵な出会いがあるかも。

本日の研究結果

「資料探しも材料調達も人力魂を忘れぬよう」
「読みたくても少し我慢してみる」

それでは皆様次回「ちょっとそれは…と私」でお会いいた
しましょう。たぶん。

本日のpatchyと私

8月31日現象の真っ最中の為お休み。
今から中華な武器をこさえます。

中華武器



●Patchy商品取扱店●
PUTUMAYO ラフォーレ原宿BF1.5
PUTUMAYO 原宿路面店
VISIBLE 大阪市中央区西心斎橋2-8-33 アメ村スクエア2F

patchyHP ▶▶ http://www.5.ocn.ne.jp/~patchy/ptop.htm

本能中枢劇団『家庭の安らぎの喜びと恐怖』

作・演出◇西島明 振付◇山田うん
出演◇猿飛佐助 吉原朱美 森下亮(クロムモリブデン) 飯野遠(民藝) 真下かおる(くねくねし)
成田さほ子(拙者ムニエル) 森田ガッツ(猫のホテル) 横塚真之介 宮下今日子
特別出演◇田辺茂範(ロリータ男爵)
7/23〜8/1◎こまばアゴラ劇場



Don't think!!
～感じるエンゲキ～

分からないなら……
感じればいいのだ!

「感じるエンゲキ」という特集のトップバッターを飾るのは、元ベターボーイズの西島明率いる本能中枢劇団。文字通り、本能で「感じ取る」ような、埒明(るつぽ)感たっぷりの作品を生み出す劇団だ。今回は、最新作『家庭の安らぎの喜びと恐怖』に出演した5名の女優を招き、「西島明の世界を感じるコト」について、みっちり語って頂きました。そう、分からないければ……もってダイレクトに、感じればイイのです!

今作、印象的なシーンは?

宮下 今日子 「やっぱり……」じと「」のシーン。
同 あ〜!!
成田 最後の、レインコートでのシーンですね。
飯野 西島明さんごだわりのシーン。
真下 あれは、どういう気持ちでやられてるんですか?
成田 インタビュアだ笑。あれは、西島さんが乗り移ったような、倒錯した気持ちで。ちょっとエロい。だって「この手で全部スキャンして下さい」って言われたの。飯野ちゃんを身体をスキャンだよ!
吉原 こわい。
宮下 「右手の集中力を」って笑。
成田 そう、右手に全神経を集中して。
吉原 ほんとにね。コッチが意識してない所に、凄くこだわりがあるんです。
——西島さんは、割ときっちり演出をつけるタイプなんですか?
吉原 動きとか、相当こだわりますね。
成田 きつと、どんなインスピレーションが湧いてくるんだよ。
宮下 あと、言葉にもすてこなる。
飯野 「ロロ」なんて、100パターンくらいあったよね?
宮下 全部なくなっちゃった(笑)。
——「ロロ」ですか?
吉原 元々は、NHKの連想ゲームが好きみたいで、あるシーンで「ロロ」から連想される言葉遊びみたいなことをやるうとして……。
飯野 100パターン以上考えたけど、全部カット。結構思い切ってカットしますよね。
宮下 思いもよらない所(笑)。

分からないシーンについて

——では、密かに「コレ分かんないな……?」と感じているシーンはありますか?
宮下 いっぱいあるんだけど笑……、さっきの「じと」のシーンとかね。裏で見て、朱美ちゃんと2人で「?」みたいな。
真下 何でもここがカットで、ここは残るんだろう?というのがありますね。どういう基準なのか?って。
飯野 キュービイのシーンも「?」でやってます。レインコートも「?」だよね。あんまり考えなくてね笑。
吉原 私は、分からないと思うことがあまりないんです。西島さんの作るものって、割と「意味分かんないけど自由になれる」ものだと思うって。もし違ったら「違」と言われるし、自分の中でどうやるのが一番面白い!というのを見つけていく感じかな。勿論、長く一緒にやっているから、というのがあります。
宮下 西島さんの台本って、読んだ時にはすてこ面白いです。でも、稽古をすればあるほど普通になうていくとか、「読んだ時はあんな面白かったのに、自分がやると面白くなるんじゃないか?」と不安に思うことはありました。
飯野 去年、お客さんとして観に来た時の方が分からなかった。今年やってみたら、観ているだけより分かる気がします。瞬間は分かるので、その場は「応成立している」んですけど。
吉原 ほんと、瞬間瞬間を生きているじゃないよね(笑)。

ダイレクトに、無条件に楽しい!

——今回、感じるエンゲキという特集を組むので、そのキーワードと絡めてこの公演を振り返って頂けますか?
宮下 例えば……、演劇だ、とお話があるのが前提ですけど、「色んなことが起きている」とか「役者さんが面白」とか、もってダイレクトな面白さもあると思うんです。西島さんのお芝居は、そういう意味でストレートだし、そこは好きですね。
吉原 よく「分からない」って言われるんですけど、私は「何で分からないか」じゃないんだろ?」って思っていて、分かるか分からないか以外に、色んな感覚があるじゃないですか。「分かんないけど美しい」とか、「変なんだけどカワイイ」とか。うちは今、本能中枢劇団と名乗ってますけど、どんな本能的になっている気がします。今回は、観ていて気持ちのいいお芝居になったんじゃないかな。まあ、西島さんは物語が書けないとい



STORY……その昔、日本人の多くが観ていた「あ、土曜8時から始まる番組」っばいシーンで、このエンゲキは幕を開ける。その後、謎のラグビー部、謎の古い師、謎の三姉妹、謎の寝る男、謎の犬、謎のマジックショー等々、沢山のシーンが多層的に挿入され、夢のような、幻のような、いや、西島明の頭の中のようなドラマが、ポップに、シュールに、展開されていく。

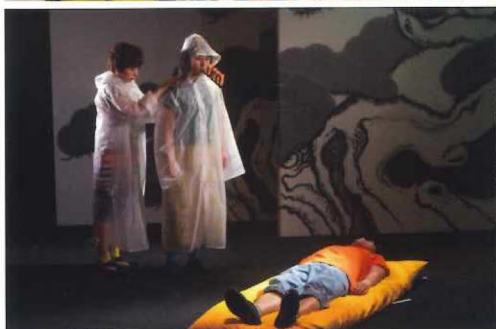
公演中、観客に対して意識することは?

吉原朱美 公演中は、お客さんに「足りない」と絶対思われないので、最大限、やっている人間が魅力的にみえるよう心掛けています。
真下かおる その日によってお客さんの空気が違うから、その日のお客さんが求めているものを作ってあげたいと思うんですけど、なかなか出来ないですね(笑)。例えば、空気が固かったらそれを和らげてあげるとか、その日の空気を「すくう」ことが出来れば……と思っています。

飯野遠 あまり意識しないんですけど、やっぱりその日のお客さんによって、芝居は自然と変わりますよね。だから、どちらかと言うと、舞台上での相手役に集中して、そこで共感を生み出すことで、それが自然と客席まで伝わるんじゃないかと考えています。

成田さほ子 すごく左右されちゃうから、頑張ってお客さんを意識しないようにする。楽しみ方は人それぞれだから、笑ってなくても楽しんでいる人がいることは理解しているんだけど……。だから「絶対左右されないぞ!」って思いながらやっています。

宮下今日子 私、お客さんの顔を結構見るんですよ。そうすると、自分が見られているような気分になって、お客さんも気が抜けなくなる(笑)。勿論、やっていい芝居といかない芝居がありますけど、私は極力「全部見えてますよ〜」という気持ちで舞台上に立っています。



吉原朱美

よしはらあけみ◎茨城県出身。女優、くねくねし所属。99年、前身劇団である「悪魔ダイヤ」に参加。計6作品に出演する。04年より劇団名が「くねくねし」に改名。以降も看板女優として活躍している。
次回予定◎映画「白夜行」2011年公開予定

真下かおる

ましもかおる◎埼玉県出身。女優、くねくねし所属。99年、前身劇団である「悪魔ダイヤ」に参加。計6作品に出演する。04年より劇団名が「くねくねし」に改名。以降も看板女優として活躍している。
次回予定◎ZOKKY「ZOKKYのそき部」2010年9/10〜20日王子小劇場

飯野遠

いいのおん◎千葉県出身。女優、くねくねし所属。97年、「光沢GIRLS」より拙者ムニエルに参加し、以降の公演に出演している。

成田さほ子

なりたさほこ◎北海道出身。女優、拙者ムニエル所属。97年、「光沢GIRLS」より拙者ムニエルに参加し、以降の公演に出演している。

宮下今日子

みやしたきょうこ◎東京都出身。女優、98年、NODA-MAP「ローリングストーン」のオーディション合格を機に、舞台デビューを飾る。この他、KOKAMI@network等にも出演している。
次回予定◎「あらかじめ」2011/3/16〜22日青山円形劇場
「ラ・エング・ラバン」2011/5/10〜15日笹塚パブリック

Wi! Wi! Wilder! 2010 / toi presents 5th「華麗なる招待」

作・ソーントン・ワイルダー「The Long Christmas Dinner」
 脚・意訳・演出・柴幸男
 出演・黒川深雪(InnocentSphere / toi) 青柳いつみ
 大石将弘 大重わたる(夜ふかしの会) 狩野和馬(InnocentSphere)
 後藤飛鳥(五反田団) 坂口辰平(ハイハイ) 白川のそみ(てとあし)
 高橋ゆうこ 武谷公雄 立花葉子(青年団) 沼田実子
 7/23~8/1◎STスポット



STAR VERSION

TREE VERSION

演劇は、とにかく体験して欲しい!

柴幸男が、ワイルダー作品『The Long Christmas Dinner』を誤意訳・演出したtoiの新作公演。観客を「家の壁」に見立て、そこから傍観するように観劇する[STAR VERSION]と、セットの大テーブルに客席を設けた[TREE VERSION](※舞台写真参照。本書では空席箇所に観客が座る仕組み)の2作品が上演され、それぞれ異なるテイストを生み出していた。過去の作品から察するに、柴幸男は「感じるエンゲキ」にかなり敏感なハズ。そこで今回は「観客が直に体験すること」について、じっくりお話を伺ってみると……。

時間の流れと同居する「体感型」

今回は、この「ザ・ロング・クリスマス・ディナー」という

作品の、一番……かどうかは分からないですけど、より面白い見方、より面白い体験の仕方を提示したかったんです。だから、[TREE VERSION]を「観客参加型」にしたかった訳じゃなくて、「客席が舞台上にあった、それが装置の中に組み込まれている」というイメージ。お客さんも一緒にあってあの席へ座ることで、90年という年月が流れていく様を、浴びるように体感出来るんじゃないかと考えたんです。で、1作をテーブルに同席する形で観てもらったら、もう1作は「家そのもの」になって、90年間を見守るように観てもらいたいなと思って。結果、それらを交互に上演するというスタイルに落ち着きました。「現実ではあり得ない時間の流れと同席する」という行為を、面白がってもらいたかったんです。

観客に気持ちよく入ってもらうには

お客さんに同席してもらおう上で、「どうしたら(作品の中へ)気持ちよく入ってもらえるか?」について、かなり考えました。あんまり強制されてもつまらないだろうし、かといってうかがい過ぎてても居心地が悪くなっちゃう。その辺の感覚というのは、正直なかなか掴めなかったんですけど、それ

を微調整していく作業は、すごく面白かったです。稽古の途中から、稽古場見学という形で、出来るだけ外部の人に参加してもらい、「どういう反応が起こるのか?」というのをずっと見ていましたね。それは僕にとって、新しい体験というか、お客さんとのコミュニケーションの取り方を考える、いい機会になりました。

柴幸男と「感じるエンゲキ」

僕の場合、そもそも「観劇する」という行為自体から「体験」にしたいと思っているんです。今回だったら、お客さんを1公演30人に限定して、直接招待状を送り、「招く」というところからスタートさせたかった。劇場へ行くという行為そのものを、まず面白がってもらいたかったんです。僕自身もよく、「なぜ演劇なのか?」ということを考えます。そうすると自ずと、お客さんに体験をぶつけるというか、お客さん自身に体感してもらって、その見方を委ねたり、意識を揺さぶるような効果を望みたくなる。目と耳だけで観るんじゃなく、客席全体の感情が、波動じゃないですけど、ひとつの波になるのを肌で感じとれる……。それはひとつ、演劇の醍醐味だと思うし、何より僕自身、そういう体験が好きなんですよね。

STORY…ある家族の90年間のドラマを「クリスマスディナーのみ」という時間軸で綴った物語。ベヤード家が新しい家に引っ越してから、初めてのクリスマスがやってきた。その日、ディナーの食卓を囲んだのは、年輩いた母とその息子夫婦。身内だけで過ごすお祝いの時間を、3人は暖かな気持ちで過ごした。時が流れ、数年後。その日のクリスマスディナーには、既に母の姿はない。家族を失った悲しみを引きずる息子夫婦は、同居する従兄弟と共に静かなクリスマスを過ごす。また時は流れ、数年後。ベヤード家に待望の「新たな命」が誕生した。小さな命が家族の一員に加わることに新鮮な喜びを感じ始めた夫婦は、子供達の成長を見守りながら、毎年のクリスマスディナーを積み重ねていく……。

公演中、観客に対して意識することは?

寝かさないようにする(笑)。それに対しては、もうとにかく面白くするしかないと思っています。全員が寝ないことが理想ですけど、どの公演でも誰かは……。難しいです。あとは……、頭で考えながら、想像してもらいながら、観てもらえるようにしたい。お客さんの為に想像の余地を残すというか。ただ、説明不足になってしまうと、お客さんは寝てしまうという……(笑)。



しばゆきお 82年生まれ、愛知県出身。劇作家、演出家。青年団演出部所属。劇団「まこと」主宰。09年、自身の劇団・まことを旗揚げ、その旗揚げ公演「わが星」にて、第54回岸田國士戯曲賞を受賞したことは、記憶に新しい。現在、最も注目を受ける若手演出家のひとり。

次回予定・まこと「あゆみ」10/15◎愛知芸術劇場小ホール、11/3~5◎精華小劇場、11/12~13◎可児市文化創造センター 小劇場、まこと「わが星」2011年4~6月◎三鷹市芸術文化センター 星のホール 他



劇団棧敷童子「蟹」

作・サジキドウジ
 演出・東憲司
 出演・松田賢二 池下重太 板垣桃子 鈴木歩己 原口健太郎 稲葉能敬 鈴木めぐみ 外山博美 川原洋子 桑原勝行 山本あさみ もりちえ 新井結香 中井理恵 椎名りお 大手忍 深津紀映 井上昌徳
 7/16~8/1◎すみだパークスタジオ◎



STORY…戦後間もなく、恒幸(松田賢二)と文雄(池下重太)は復員兵として故郷に帰ってきたが、そこは「残骸」と呼ばれる集落となっていた。2人を知るのは膳所婆(鈴木めぐみ)だけだが、彼女は昔の記憶を失っていた。2人が帰ったちようどそのとき、博多築港社の雇われヤクザたちが娼婦たちを暴行した犯人を捜しにやって来て、無実の文雄を犯人に仕立て上げる。文雄はヤクザたちと、海底炭鉱にあるという旧日本軍の隠した財産を掘り当て山分けするという取引をし、集落に居るが……。

劇団員たちの手で一から舞台が組み立てられ、小道具に至るまですべて自分たちで作っているという劇団棧敷童子。舞台崩しがあつたり、嵐が起こつたりと、その迫力ある大仕掛けには毎回息を呑む。今回も棧敷童子ならではのたくさんの丸太を組んだ複雑な舞台装置で、本水をダイナミックに使用。舞台上で役者たちはびしょ濡れになりながらアツい芝居を繰り広げてくれた。

水のなかで演技するってどんな感じ?

松田 水に関しては、以前出演させていた「黄金の猿」ではちよつと泣きそうなおもいをしてしまったけど、今回は温まった体をいい感じで冷や

松田賢二

松田 難しいことはわからないんですけど、(笑)。台詞覚えて「生懸命やってるだけ」。

池下重太

池下 重太さんは、初めて一緒にやらせていただいた夢の時の時もとても面白かったんですけど、その面白さがどんどん深くなってきたり。器が大きくなったなと思います。たぶんこれは結婚したいんじゃないかと。重太さんを見て僕は結婚したいなと思いました(笑)。

お互いの印象は?

松田 重太さんは、初めて一緒にやらせていただいた夢の時の時もとても面白かったんですけど、その面白さがどんどん深くなってきたり。器が大きくなったなと思います。たぶんこれは結婚したいんじゃないかと。重太さんを見て僕は結婚したいなと思いました(笑)。



いけしたじゅうだい 74年生まれ、愛知県出身。劇団棧敷童子に旗揚げより参加し、看板俳優として活躍。劇団外でもTBSをはじめ、流山児事務所、演劇企画集団THE-GAG、metroなどに出演している。まつだけんじ 71年生まれ、大阪府出身。00年映画「VERSUS-ヴァーサス」でデビュー後、映画、テレビドラマと幅広く活躍。05年に「仮面ライダー響鬼」に出演し、幅広い層から支持を集める。劇団棧敷童子には08年の「黄金の猿」に続き2度目の参加となる。次回予定・劇団棧敷童子「オバケの太閤(仮)」11月6月◎すみだパークスタジオ◎

15th

自己批判ショー 15周年

『ゆき、き、き、客がすくない』

と、小演劇界をさすうって15年、

セルフで祝う豪華(?) 3本立公演!

自己批判ショー

結成15年セルフ感謝祭

15周年漂流記

【脚本・演出】 自己批判ショー

【出演】 小宮 節男 山本 大久保 宏章 紺野 秀行 栗原 崇浩 佐伯 さち子 (野鳥) ヨシヒロ 川崎 麻里子 下尾 里美 金沢 綾子 (演劇の会MOO) 紺野 意和 (演劇の会MOO)

自己批判ショー 15周年

8月20日(金) 前売開始 全席自由 前売/2500円 当日/2800円

【日程】 10/15(金) 19:00~ 10/16(土) 14:00~19:00 10/17(日) 11:00~16:00 ※40分前受付開始、20分前開場となります

入場無料イベントも開催! (カンパ制)

自己批判ショー活動15年分の積み重ねから満を持してお届けする珠玉のコント集!

CONTE EXPO'2010

劇団初の試み、代表・栗原崇浩ひとり芝居! 『栗原崇浩・芸能生活10周年と気づいてから 5周年記念公演』 ※詳細は劇団HPをご確認ください

2010年 10月15日(金)~17日(日)

アトリエ春風舎

ATELIER SHUNPUSHA

【お問合せ】 自己批判ショー 080-4136-8746 info@zico-hihan.sub.jp http://www.zico-hihan.com



川辺健(自己批判ショー/俳優音楽担当) いや、とっても楽しかったですよ。高齢者の方々がノリノリで楽しんでいらつしやる姿が印象的でした。あと、あの踊り方、アジリ方含め、クラブのノリに近いですね。結局、「踊るアホウ」に見るアホウの公式は変わらないんだと思います。これ、豊島区の通年行事にして頂いて、毎年夏になるとIWGP(池袋西口公園)でNBD(にゅ〜盆踊り)が行われるとイイな。

小宮 後半はほんと全力でした笑。やっぱり、親しみやすいっていうか、ただポーズをとるだけで楽しいのでそれをみんなで合わせてやると、すごく楽しい。初めて会った人と楽しく踊れるところが、一番盛り上がったかな。結構色んな人と話したけれど、全員初対面でした笑。

佐伯 いや……、疲れました笑。でも、これは乗ったモン勝ちだ! って感じ。ホントにみんな、ノリが良くて。

小宮 ノリ良いね。

佐伯 全然振りが分かってないお、さんでも混ざってきたりして。小宮 そのおさんのポーズが、また上手でさ。

佐伯 出来にこだわらず、みんな楽しんでいけばイイじゃん! っていう雰囲気が、すごく楽しかったです。

イベント終了後には、会場で遭遇した佐伯の友人らも交えつつ、全員で記念撮影(※D)。夏らしい、そして近藤良平らしい、とても開放的な雰囲気に溢れていた「にゅ〜盆踊り」。この後、みんなで飲んだビールは、それはそれは格別なモノでした。



近藤良平・コンドルズ 池袋大作戦!! 『にゅ〜盆踊り』 潜入レポート Don't think!! ~感じるエンゲキ~

特集を感じるエンゲキを企画した際、これは必須だと考えたのが、この「にゅ〜盆踊り」。豊島区の劇場・あうるすぽっとが企画製作をしている観客参加型イベントで、コンドルズの近藤良平が構成や振付などを担当している。この潜入レポートに協力してくれたのは、前ページに続いている登場、小宮節男と佐伯さち子。更に、自己批判ショー関係者の皆様もまきこんで、夏らしく賑やかに送りします!

8月1日、快晴。西日の暑さがじりじりと差し込む池袋西口公園にて、そのイベントは始まった。まずは、近藤氏はじめ数人のコンドルズメンバーが登場し、盆踊りの振りレクチャー(※A)。前列では事前動きをマスターしたワークショップ体験者達が、軽快に踊り、後方では参加者達が見様見真似で身体を動かしている。エーモラスでキャッチーな振りとはいえ、初見で完璧に覚えるのは難しいのでは? と考えていると、30分程のレクチャータイムの後、いよいよ本番がスタート。

にゅ〜盆踊りは、参加者が偶数のサークルを作り、2名が向き合った状態で踊っていく(※B)。連の振りが終わると、次のターンではペアがチェンジするという、フォークダンスのようなスタイルだ。イベント当日は、猛暑の影響もあって、適度に休憩を挟みながら進行していく。しばらくして、輪の中から戻ってきた小宮と佐伯を発見、ひとまずコメントをもらおう。

佐伯 最初はどんな感じが分らなかったんで、不安が大きかったんですけど、実際に踊ってみたら楽しかった。

小宮 振りが分かんなくても、前の人や踊れる人の真似をしていたら、だんだん慣れてきて……結構面白くなってきました。

佐伯 すぐ踊れるし、間違っても大丈夫! みたいな雰囲気なので、覚えやすいですね。

夕陽が落ち、会場内の提灯に明かりが灯り始めると、尚一層「盆踊り」らしい雰囲気が満ちてくる。途中、豊島区伝統の盆踊りが披露されたり、THE CONDORRSの楽曲に合わせて踊るコーナーを挟みながら、参加者達のテンションも徐々にヒートアップ。主催者側が用意したオリジナルうちわ3000本も配布し終わりのよい、にゅ〜盆踊りはクライマックス(※C)。

終盤にはアンコールも鳴り響き、最高の雰囲気を残したまま、イベントは無事終了。早速、興奮さめやめ参加者達に、今日の感想を訊ねてみた。

紺野秀行(自己批判ショー/俳優) すごく気持ちよかったです! 踊るのはそんなに好きじゃないし、盆踊りなんて20年ぶりですけど、今日はかなりテンション上がりました。シャ!!



エンゲキの育て方

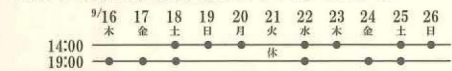
本多劇場 公演スケジュール

9/16(木)～9/26(日)

M&Oplays+PPPP プロデュース
『窓』

作・演出：倉持 裕
出演：高橋一生 野波麻帆/
小林高鹿 ぼくもとさきこ 玉置孝匡
近藤フク 吉川純広 内田亜希子/
河原雅彦

料金：全席指定 / 前売 5,500 円 当日 5,800 円

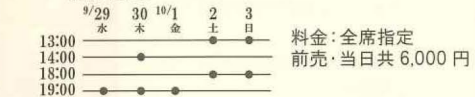


問 森崎事務所 03-5475-3436

9/29(水)～10/3(日)

D-BOYS STAGE 2010
『アメリカ』

作・演出：赤堀雅秋
出演：柳下大 加治将樹 鈴木裕樹 / 植松俊介(シヤカ)
山田悠介 黒田大輔 (THE SHAMPOO HAT)
長田奈麻(ナイロン 100℃) 滝沢恵 (THE SHAMPOO HAT)
ブー藤原(超新塾) 廣川三憲(ナイロン 100℃)/
荒木宏文



料金：全席指定
前売・当日共 6,000 円

問 サンライズプロモーション東京 0570-00-3337
(全日10:00～19:00)

10/6(水)～10/17(日)

小林賢太郎演劇作品
『ロールシャッハ』

作・演出：小林賢太郎
出演：久ヶ沢徹 竹井亮介 辻本耕志 小林賢太郎
料金：全席指定 / 前売 6,000 円 当日 6,500 円



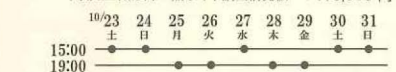
問 TBS ラジオイベントダイヤル 03-5570-5151

10/23(日)～10/31(日)

劇団岸野組 20 周年記念公演
『良縁・奇縁・腐縁』

作：観世桂男 演出：岸野幸正
出演：岸野幸正 田中真弓 森田成一 長沢美樹
奏谷ひろみ 大倉正章 志賀克也 くら
山路清子 奥戸裕子 他 劇団岸野組

料金：全席指定 / 前売 5,000 円 当日 5,500 円
ペア券(劇団前売扱いのみ) 9,500 円
高校生割引(18 歳以下、劇団前売扱いのみ) 3,000 円

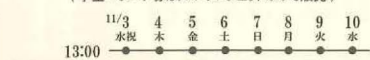


問 劇団岸野組 048-442-2187

11/3(水・祝)～11/10(水)

トム・プロジェクト プロデュース
『風間杜夫ひとり芝居』
五部作一挙上演!!

作・演出：水谷龍二
出演：風間杜夫
料金：全席指定 / 一般前売 5,500 円 当日 6,000 円
学生前売・当日共 4,000 円 / シニア前売・当日共 5,000 円
(学生・シニア券はトム・プロジェクトのみで販売)



問 トム・プロジェクト 03-5371-1153

本多劇場 03-3468-0030 (11:00～19:00)
〒155-0031 東京都世田谷区北沢 2-10-15
http://www.honda-geki.com

『脳内TRIPアルゴリズム!!』オッセルズ



作・演出・出演：河野真子 出演：荒木昌代 井原脩誌 大石意 川上憲心 クダ吉沙 杉田達哉 竹内健史 津田タカシゲ 中谷真由美 野本真貴子 前田彩子 吉岡亜沙美 渡辺毅
7/21～26(シアター711)

はみだしていくシーンが
役者の魅力を引き出す

零細企業の社員旅行という、わりとおとりとした話(一部妄想あり)をメリハリを付けて紹介していくのですが。例えば、セックスしたいだけの男が旅先で同僚のドア前でお願いをエスカレートさせていったりとか、結婚話に絡んで瀬戸内〇聴が増殖(?)していったり(写真参照)、高貴な方の物まね的スローモーションで強引に買い物とか、etc. 各場面が絶妙にはみだして、その部分を役者たちが力業で楽しみ、観る側もそれによって楽しむというライブ感覚が魅力的でした。(坂口)

『根拠のない余裕』月刊「根本宗子」



作・演出・出演：根本宗子 出演：劇木智香 (THE SHAMPOO HAT) 長尾長幸 (劇26.25団) 相楽孝仁 (桜田ファミーリア) 高嶋由奈 久保田南美 花田麗子 (熱帯)
7/23～26(タイニイアリス)
次回予定〇月刊「根本宗子」(タイトル未定)2011年1月頃を予定

青春はアンビバレント

とある地方都市のラブホテルに長期滞在する、幼い並に自己中心的な小説家志望の男とそんな男と自分に陶酔しながら尽くす女。そのラブホの2代目経営者はDV男に惚れている。異彩を放つ掃除のおばちゃんと新入リアルバイト、デリヘル嬢が入り出す日常。縁遠いと思っていた風景にチラつく自分の姿。普通って何? 愛って何? 自分って何? 甘くも、さわやかでもない、心にツーンと来る青春アンビバレント・ラブコメディ。(矢崎)

朗読劇『少年口伝隊一九四五』



作・演出・出演：栗山民也 出演：新国立劇場演劇研究所4期生
7/30・31〇新国立劇場小劇場、8/4〇板橋区立文化会館

事実に毅然と立ち向かう言葉

重量のない「言葉」というものが、こんなにも重く感じられるのか。見終わったときに、覚悟しないと客席から立ち上がれなくなるほどの、ぐっと重いものが一つの底に残った。「1945年8月6日、広島に原爆が落とされた」という事実がこの作品の中にはある。たくさんの命を奪った、この途方もない事実に立ち向かっているのが戯曲に込められた言葉の力。重すぎる事実に負けない強さと覚悟を言葉の端々から感じる。原爆や、日本人であることについて考えるのと同時に、改めて井上ひさしという作家の大きさを思い知らされた。(岩見)

『タン・ビエットの唄』TSミュージカルファンデーション



演出・振付：謝珠榮 出演：安寿ミラ 土居裕子 島中洋 吉野圭吾 宮川浩 駒田一 戸勝海 他
8/13～15〇東京芸術劇場 中ホール 他
次回予定〇「Diana 一月の女神ディナー」10/8～31〇東京芸術劇場 小ホール1、11/2〇富山オーパード・ホール、11/2〇兵庫県立芸術文化センター 中ホール

ベトナムの戦後と夢の行方

謝珠榮の名作ミュージカルの三演目だが、クオリティがより高くなったと同時に、謝のメッセージがより強く打ち出されている。そのメッセージとは、「命を奪うことに大義などない」という戦争の空しさそのものである。ヒロインが、姉の行方をたずねて再会する解放軍兵士たち。彼らの戦後とそこに見るベトナムの厳しい現実、夢見た理想からは遥かに遠い。そんなベトナム戦争の無惨と1人の女性の愛の悲劇を、土居裕子の歌声の透明感が清らかに浄化する。(榊原)

『天保十二年のシェイクスピア』椿組



作・演出・出演：西沢栄治 出演：山本亨 丸山厚人 恒松敦巳 田淵正博 木下勝次郎 李峰仙 加藤忍 江間直子 長嶺安奈 大鶴淳治 伊藤新 戸沢秀明 伊原農 平塚真介 塚本津也 鈴木幸二 山口麻広 岡村多知 江内山奈々 幸金ゆかり 鳥越勇作 宮本雅太 趙徳安 浜野どか 今井夢子 山崎大輔 石川ゆうや 水谷信 仲田敬治 徳文俊大 須賀里人 清水修平 影山翔一 佐藤聖佑美 横見美美之 トン子 潮山英里子 増田あゆみ 稲谷絵図芽 高安智美 岡田さやか 徳留香織 根岸つかさ 河原香子 稲谷セイジ 水野あや 辻親八 下元史朗 外波山文明
7/16～25〇新宿花園神社境内特設ステージ
次回予定〇椿組「マイルド・セブンティーンズ・スター」12/8～12〇中野ザ・ポケット

狼狽な活劇を野外劇で

シェイクスピアの全戯曲を引用しながら、日本の宿場町で起こる抗争劇を歌あり踊りあり笑いありで描いた活劇。総勢53人の役者たちが丸太で二階建てに組み込まれた舞台を縦横無尽に走り回る躍動感と、野外劇ならではの熱さに興奮。ラストで山本亨扮する三世次がクーデターを起こした百姓たちを斬り倒しながら梯子を上ったとき、丸太の一部が崩れ、そのまま正面の装置がガラガラ崩れて砂埃が舞い上がるというダイナミックな屋台崩しには大感動。(渡辺)

ブロードウェイミュージカル『ピーターパン』



原作：ジェームズ・M・バリ 演出・潤色・訳詞：松本祐子
出演：笹本玲奈 / 高畑充希 (Wキャスト) 橋本じゅん 神田沙也加 神原麻由 比企理恵 ほか
7/19～8/1〇東京国際フォーラムホールC ほか地方公演あり

妖精の粉は全ての人に

フライングに興奮! フック船長(橋本じゅん)とスミィ(村木仁)のやりとりで爆笑し、子供から大人になる、その変わり目に触れてウルとし、客席にいるたくさんの子供たちの純粋なノリの良さで楽しさも倍増。橋本じゅんのコール&レスポンスに即ついてくる反応の良さ! 縦横無尽に飛び回るフライングがとにかくすごかった。最後に客席の上までピーターパンが飛んできて、妖精の粉を振りかけてくれる演出も惜しい。子供から大人まで楽しめるミュージカルという言葉に嘘はなく、30年の歴史にも納得。このミュージカルは面白い。(岩見)

<彼>と旅をする20世紀三部作 #3 『台湾の、灰色の牛が背のびをしたとき』維新派



作・演出：松本雄吉 音楽：中橋和久 出演：岩村吉純 藤木太郎 坊野康之 森正史 金子仁司 中澤高弘 山本伸一 小林紀貴 石本由美 平野裕 福垣里花 尾立亜実 堤野香穂里 大石美子 大形梨恵 土江田賀代 近森絵奈 吉本博子 市川はや 今井美帆 小倉智恵 桑原吉奈 ならい 松本幸恵 森百合 香 長田紋章 他
7/20～8/1〇大島アートプロジェクト「精錬所」内・野外特設劇場
次回予定〇「台湾の、灰色の牛が背のびをしたとき」12/2～5
〇彩の国さいたま芸術劇場大ホール

おかえり、母なるアジアの海に

瀬戸内海の小島・犬島で行われた野外公演は、アジアの海を舞台にした壮大な物語。19～20世紀に、南洋の島々に移住した実在の日本人たちの逸話が、少年の呼びかけに応じて次々と語られる。最初はバラバラに見えたそれらの話は、戦争を契機に収束し、一気に現代に向けてなだれ込む。津波のような勢いで叩きつけられる歴史の重みに、ただ圧倒されるのみだ。しかしラストでは一転、母のような慈愛と郷愁で、観る者を包み込んでいく。「海」の中には「母」の字があるという、三好達治の詩の一節を思い出した。(吉永)

『風雲! 戦国ボルテックス学園』ピースピット



作・演出・出演：末満健一 振付・演出：山根千佳 (TAKE IT EASY!) 出演：山崎彬 (悪い芝居) 山浦徹 (化石オートバイ) 行澤孝 (劇団赤鬼) 鈴木洋平 上野真紀夫 那伽けん 大塚宣幸 (大阪バンカーク帝国) 田淵法明 (アクセル) 清水かなえ (TAKE IT EASY!) 中村真利亜 (TAKE IT EASY!) 前田さなえ (TAKE IT EASY!) 立花明依 (泰平堂) 吉川前年 (悪い芝居) 横川未那里 (劇団赤鬼) Sun!! (ミジコターボ) 丹下真寿美 (泰平堂) 森口直美 (ハバカン・ポップ) 中野裕貴 (泰平堂) 西分綾香 辻裕美 野下真歩
7/21～25〇HEP HALL
次回予定〇ピースピット「有夢少年」11/12～14〇ABCホール

『楽しい』だけで充分なお祭芝居

これぞ小劇場の夏祭り! 古今東西の偉人たちが最新クローン技術でよみがえり、群雄割拠の高校生活を送る……という設定だけでワクワクもの。その期待に違わず、歌に踊りにアクションにお色気と、作家が楽しいと思う物をすべて詰め込んだ、オモチャ箱というたとえがピッタリな世界だ。ただその裏には「DNAに刻まれた運命を変えられるか?」という、シリウスなテーマもチラリ。でも演劇にありがちな文学性などおくびにも出さず、娯楽モードだけでそれを見せきったスエケン、今回もエエ仕事でございました。(吉永)

『アタシが一番愛してる』バナナ学園純情乙女組



脚本：月並ハジゲ 演出：二階堂雄子 出演：加藤真砂 美 野田裕貴 前園あかり 浅川千絵 浅利ねこ 大川大輔 小田崎諒平 叶じい 桐村理恵 杉田健介 高柳美由己 田中正伸 中村梨那 ばんない 美貴子 樋口雅法 望月乃 岩田裕耳 堀越健一
6/15～20〇ART THEATER かも座
次回予定〇「おはぎライブ学園祭ツアー-2010秋」10月下旬～11月(予定)

熱狂と混沌の渦

ミスコン開催中の中学校。グランプリを狙う女子生徒たちやミスコン中止を検討する風紀委員など様々な人々の思惑が交錯する。早口で聞き取れない台詞、大音量の音楽、体操服で意味なくうつく役者といったノイズが入った混沌とした芝居がなぜか心地いい。芝居の後の「おはぎライブ」もまたすごくて、俳優全員がエンドレスで狂ったように歌い踊りまくった挙句、最後には観客も全員舞台上に上げられてしまう。終始ハイテンションでアドレナリン出まくり。やられました。(渡辺)

『女ともだち』劇団競泳水着



脚本・演出：上野友之 出演：大川翔子 川村紗也 (以上、劇団競泳水着) 甘粕阿紗子 (カムキャッセン) 梅舟惟永 (ろりえ) 斎藤淳子 (中野成樹+フランケンズ) 藤原よしこ (ブルドッキングヘッドロック) 宮崎美雪
6/30～7/6〇下北沢「劇」小劇場
次回予定〇劇団競泳水着 第十四回公演「十年後の結末(仮)」11/12～23〇サンモールスタジオ

ドラマには
大きさがありません

「地味なこと」に、スポットが当たる機会には多くない。だって、地味なんだから。でも、地味な「何か」に触れた時、僕は不思議な心地よさを覚える。今作は、海辺の街に暮らす、ある女性の青春を描いた物語。主人公は、地味に、でもマイペースに、女子高生～女子大生～女教師を「経験」し、今はまた、この街から旅立とうとしている。演劇の中にも、実社会にも、大仰なドラマはあっても、大きなドラマはない。そもそもドラマには「大小がない」ことを再認識させてくれた1作。(園田)



このコーナーにある、
すべてのメッセージは主催者の皆さんに
書いていただいたものです。
よくよく読んでいただきますと、
それぞれの公演の面白さが
にじみ出てくる仕掛けになっております。
お楽しみいただけますと幸いです。

編集担当 矢崎亜希子

2010年9月9日から2010年11月10日分を掲載

つくり手
からの
メッセージ

えんぶ情報館

情報の人



松下幸史

乱雑天国vol.9 『野良猫パンク』

●どうも!動物電気/乱雑天国の松下です。実は作、演出の一面があるのです。今回の『野良猫パンク』は失踪したクリスマスマスターと残された店員と女の子のお話です。バンドで言う所のビートルズのようなスタンダードでピュアな恋愛劇。各回30席のお洒落なバーでの濃厚公演!ご来場、心よりお待ちしております。ニャー! (松下幸史/作・演出)

9/10~13◎エビス駅前バー
作・演出◎松下幸史
出演◎岡山誠(ブルドッキングヘッドロック) 山口奈緒子(明日国産)
金川周平(東京オレンジ) ヨシケン(動物電気) 他
＜料金＞予約・当日共¥1800(+1D)
＜お問い合わせ＞busaiku-goruge@ezweb.ne.jp

作・演出◎永山智行
出演◎あべゆう かみもと千春 演砂崇浩
餅原奈々(『水をめぐる』) 大浦愛(『水をめぐる』)
＜料金＞前売¥2500 当日¥2800(日時指定・全席自由)
＜お問い合わせ＞
劇団こぶ劇場 0986-26-6422
http://www.cofuku.com

MITAKA "Next" Selection
11th 参加作品
コマツ企画のメロドラマ
『よわいもんいじめ』



●1980年、宗教団体の若い女性信者数名が行方不明になったとある日の新聞が報じた…。女性が強くなったと言われ、まだまだ女性が弱かった時代…。毎回切り味を変えるコマツ企画の次回作は、有名な時代の事件を下敷きに、ほんの少し前なのに愕然と今とは違う時代、「女」たちのメロドラマをショートタッチに描く。(小松美睦瑠)
●9/10~20◎三鷹市芸術文化センター星のホール
作・演出◎小松美睦瑠
出演◎本井博之 川島潤哉 柿丸美智恵(毛皮族) 他
＜料金＞
前売一般¥3000 当日一般¥3200 高校生以下¥1000(前売・当日共)
＜お問い合わせ＞
コマツ企画 090-4385-5578
info@komatsukikaku.com
http://komatsukikaku.com/

サワガレ 旗揚げ公演vol.1 of 2
『あいめいまいめい』



●はじめまして。うるさい、サワガレです。

初日が
9月9日~9月15日の公演

虚構の劇団
『エゴ・サーチ』



●エゴ・サーチとは、インターネット上で、自分の本名やハンドルネームで検索すること。インターネットには、あなたの知らないあなたの情報があるかもしれない。物語は、エゴ・サーチの結果、インターネットで出会ったもう一人の自分。そんなふうになる。 (湯上尚史/主宰・作・演出)
●9/10~19◎紀伊国屋ホール
作・演出◎湯上尚史
出演◎大久保綾乃 小沢道成 小野川晶 山崎雄介 古河祥史 他
＜料金＞
前売・当日とも¥4500(全席指定)
＜お問い合わせ＞
サンライズプロモーション東京 0570-00-3337(10~19時)
http://www.thirdstage.com/k/

劇団こぶ劇場
第12回公演
『水をめぐる』『水をめぐる2』



●簡素な舞台空間。4人だけの出演者。俳優による演奏。生活言語イントネーション。狂言や落語、神楽など、伝統的な「笑い」の芸能を手がかりにした、ダサくて可笑しい独特の様式。青年団若手自主企画「昏睡」や、みやぎ◎まあるい劇場「隣の町」「青春」などの劇作家・永山智行の新作は08年初演の作品との連続上演です。(劇団こぶ劇場制作部)
●9/10~12◎こまばアゴラ劇場

『ピリバー』



●サンタクロースを信じる男とその妻、息子等の悲しくも心温まるお話。9-11以降の喪失感漂う現代社会を背景に、社会の矛盾や家族の崩壊を乾いたタッチで綴ります。リー・カルチェイム&鈴木勝秀の強力タッグに加え、魅力的なキャスト4人が顔を揃えました。2010年の話題作、どうぞご期待ください。(宣伝担当)
●9/3~12◎世田谷パブリックシアター
9/17・18◎大阪、9/19◎福岡、9/21◎仙台公演あり
作◎リー・カルチェイム
演出・上演台本◎鈴木勝秀
出演◎勝村政信 風間俊介 草刈民代 川平慈英
＜料金＞
S席¥7800 A席¥6000(全席指定)
＜お問い合わせ＞サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

『イリアス』
怒りと戦争と運命についての叙事詩



●ギリシア軍の総大将アガメノンと戦利品の女を巡って争いになった英雄アキレウスは、怒りのあまり戦艦を離脱してしまふが、敵国トロイアの猛攻で親友が戦死したことを知ったアキレウスは…。トロイア戦争10年目に起きた出来事を描いている英雄叙事詩「イリアス」。このたび満を持して日本初の舞台化を果たす。(宣伝担当)
●9/4~23◎ル テアトル銀座 by PARCO
出演◎内野聖陽 池内博之 高橋和也 木場勝己 平野二朗 ほか
＜料金＞平日¥10000 土日¥11000
＜お問い合わせ＞サンライズプロモーション東京 0570-00-3337
http://www.ilias2010.com/
9/25◎新潟公演、9/28~10/3◎兵庫公演あり

た作品を一挙上演。ギリシア悲劇「オイディプス王」とシェイクスピアの「タイタス・アンドロニカス」、山の手事情社の代表作品が洗練度を増して浅草に上陸。世界の舞台水準を体感しよう。(安田雅弘/主宰・演出)



●9/2~12◎アサヒ・アートスクエア
構成・演出◎安田雅弘
出演◎山本芳郎 倉品淳子 浦弘毅 水寄真弓 他
＜料金＞
前売¥4200 当日¥4700(全席指定)
＜お問い合わせ＞
山の手事情社オフィス 03-5760-7044
http://www.yamanote-j.org

オペラシアターこんにゃく座公演
オペラ『想稿・銀河鉄道の夜』



●これまでも数々の宮澤賢治作品をオペラにしてきたこんにゃく座が、挑む「銀河鉄道の夜」。シアタートラムの自由な小空間を賢治に使い、クラリネット、チェロ、ピアノの生演奏とともに幻想的な銀河へのひと晩限りの旅を演出します。オペラ初体験の方々にぜひご覧いただきたいです。(制作/忠地あずみ)
●9/3~12◎シアタートラム
原作◎北村想
作曲・音楽監督◎萩原孝子
演出◎大石哲史
出演◎川鍋節雄 梅村博美 佐藤敏之 高野うお 石窪朋 他
＜チケット料金＞おとな¥5500 おとなペア¥10000 学生・子ども¥3000(全席指定・当日1枚¥500増)ロープライズDAY(9/6・7)おとな¥3500 学生・子ども¥2000
＜お問い合わせ＞オペラシアターこんにゃく座 044-930-1720
http://www.konnyakuza.com

演劇
d r a m a
↓

初日が
9月1日~9月8日の公演

表現・さわやか 第7回公演
『アラン!ドロン!』



◎SAJI (EPLP)

●あのフランスの美形俳優のように女性を虜にしたい!をテーマに、中年俳優が試行錯誤の役作り。顔芸も卑怯なギャグも、使えるものはなんでも使って客席を苦笑の渦に。「くだらない」と呆れる人続出「でもまた見たい」の声噴出の「表現・さわやか」最新作。自称色男が満載のコント集。ちょっとご期待ください。(池田鉄洋)
●9/1~14◎駅前劇場
9/18~21◎HEP HALL
9/25・26◎北九州芸術劇場小劇場
作・演出◎池田鉄洋
出演◎佐藤真弓 いけだん 村上礼 岩本靖輝 菅原永二 伊藤明賢 佐藤貴史 出口結美子
＜料金＞
(東京)前売/指定¥3900 自由¥3200
当日/指定¥4200 自由¥3500
＜お問い合わせ＞
猫のホテル 03-3485-9565
http://fh-sawayaka.com

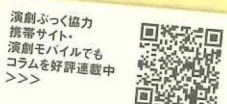
劇団山の手事情社
凱旋二本立て公演
『オイディプス王』
『タイタス・アンドロニカス』
●古典でこんなに新しく、面白かったんだ!世界三大・ルーマニアのシビウ国際演劇祭に2年連続で招聘され、絶賛され

栗根まことの

106

人物ウォッチング

あわねこと◎劇団☆新感線の理数系知性派役者。その実力は、プロデュース公演などへの出演の多さでも証明されている。
近況「新型Xbox360は動作音が静かですめ!」
次回予定◎劇団☆新感線「鋼鉄番長」10/4~11/7
◎サンシャイン劇場(東京)、11/16~12/5◎シアターBRAVA!(大阪)、12/13~17◎嘉穂劇場(福岡)

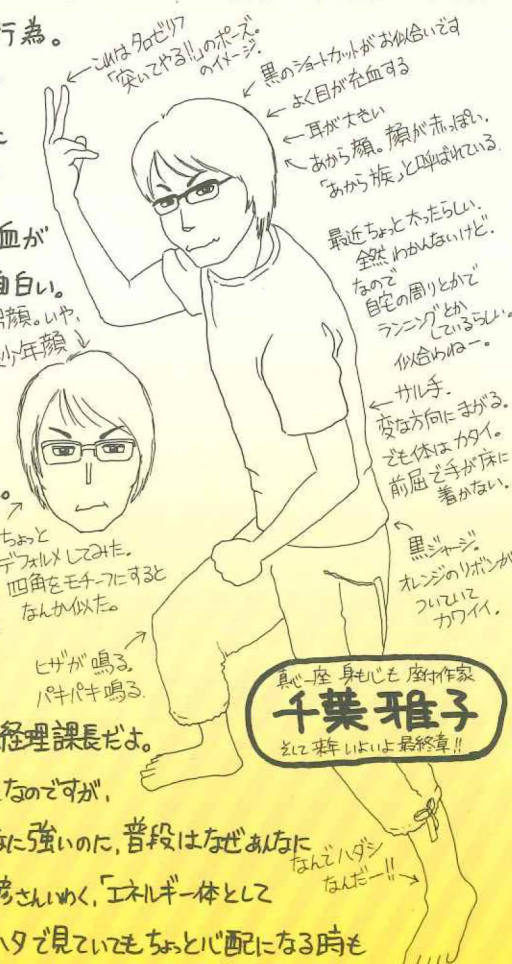


演劇ぶっく協力
携帯サイト・
演劇モバイルでも
コラムを好評連載中
>>>

千葉雅子

猫のホテルの座長であり、作家、演出家、女優である千葉雅子さん。特に最近では作家としてひびきだして、年三本ペースで書いている。昭和テイスト、悲哀、パレオが特徴の作風だが、本人は至ってお姫様可愛らしいんです。自分で書いた台本なのに、自分でセリフを言うのは照れるという女優にあるまじき行為。

じゃあ そんな セリフ
書かなくていいのに
とも思うが、そこで
作家の血と女優の血が
せめぎあっているのが面白い。
劇団名の通りに
猫が大好きで、
猫が走り寄ってきたら
くいるのが一番の幸せ。
あと、デパ地下が
好きで落語好き。
OLだった時期が
長いので簿記が
得意という意外。経理課長だよ。
女優としても大好きなのですが、
舞台の上ではあんまり強いのに、普段はなぜあんなに
弱いのか。河原雅彦さんいわく、「エネルギー体として
小さい」とのこと。ハタと見ていてもちゃんと配になる時も
あるほどだが、そこがまた可愛らしい。昨日は舞台の斜面をすべり降りよと
した。そんな所も好きです。でも驚くほどリズム感がなくて困ります。



演劇ぶっく創刊25周年記念企画
「えんぶエンタメ計画」の一環として、
演劇鑑賞組織「えんぶ観劇グループ」
を設立いたします。協賛公演の鑑賞料金割引や、お楽しみ企画もいくつかあります。観劇すること
で、つくる側もみる側も成長してい
けるような組織になれば、と考えて
います。ぜひご参加ください。

会員サービス

1. えんぶ特選割引チケット^{※1}を
弊社売出しの一週間前
にお知らせして販売。
2. さらに、上記以外の
シークレットチケット^{※2}を
会員のみに販売。
3. 観劇に役立つ演劇情報を
適宜メールなどでお知らせ。
4. 演劇ぶっく年間定期購読料
4,500円を1,000円に。
(キャンペーン期間中のみ有効^{※3})
5. 期待の若手公演などに
ご招待。
(応募者多数の場合は抽選になります)
6. 演劇関連グッズなどの
プレゼント企画を時々実施。
7. 鑑賞したお芝居の感想などを
「えんぶツイッター」で
みんなでつぶやく?

※1「えんぶ特選割引チケット」(一部販売実績)
「スリー・ベルズ」(パルコ劇場)。「ガラスの仮面」(彩の国さいたま芸術劇場)。「トーマの心臓」(スタジオライズ)。「サンタクロースが歌ってくれた」(演劇集団キャラメルボックス)。「相対的浮世絵」(キューブ)。「モロー先生と火曜日」(加藤健一事務所)。「サファリUSB」(ヨーロッパ企画)。「富士見町アパートメント」(自転車キック)。「透明感のある人間」(ダックスフープ)。「恋する判官」(クロモリデン)。「広島に原爆を落とす日」(R-U-P)。「宝塚BOYS」(東宝芸能)。ほか多数。

※2「シークレットチケット」
人気公演でチケットの数に限りがあるものなど、一般販売せずに会員の皆さまのみお知らせするものです(但し、毎月あるとは限りません)。また、応募者多数の場合は先着順に抽選になることもあります。

※3 キャンペーン期間中のみ有効
11年1月25日までのキャンペーン期間中のみ有効です。(定期購読されている方は定期購読終了後の1年間分でお申し込みいただけます)

入会条件

どなたでも
HP「演劇キック」
http://www.enbu.co.jp/kick/
から登録、入会できます。
※新規お申込み受付は10月1日からとなります

運営開始日

2010年10月1日

株式会社えんぶ 担当/坂口 矢崎
〒164-0011 東京都中野区中央5-46-5 池田ビル2F
TEL: 03-3229-2424 FAX: 03-3229-2423

えんぶ観劇グループ 得して! 楽しむ! 会員募集中!!

0 7 0

カムカムミニキーナ 旗揚げ20周年 記念公演



海辺の小さなパン屋を 舞台に繰り上げられる 大胆な脱獄劇！

出演 作・演出:松村武
八嶋智人 松村武 藤田記子 吉田晋一
田端玲実 中島栄治郎 佐藤恭子 長谷部洋子
米田弥央 亀岡孝洋 元裕介
篠崎祐樹 玉手みずき 浅見紘至 生山ヒジキ 安藤有希

20周年ありがとう価格
サンキュー
通常4680円→3900円

全席共通・全席指定・前売・当日とも									
2010年11月3日(水)～11月17日(水) 吉祥寺シアター	8(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	
14:00									休
19:00	★	★	★	★	★	★	★	★	★
14:00									休
19:00	★	★	★	★	★	★	★	★	★

受付は開演の1時間前、開場は開演の30分前 未就学児童入場不可

開発と歴史の狭間で激動する港町馬浜(バハマ)を共通の舞台に
20周年記念として上演された3作品を一挙上演！
12:00「沼地からつこう」～15:00「沼地からつこう」～18:00「水際パン屋」
※らっこ鳥つばめ園およびお得なセオ券は劇場HPのみで取扱い

★印:おまけのアフタートーク(無料)あり

チケット取扱
■カムカムミニキーナホームページ <http://www.3297.jp>
(セブンイレブンですぐ発券できるオンラインシステム)
■イープラス カムカムミニキーナ専用URL
<http://eplus.jp/3297/> (PC・携帯)
■チケットぴあ
0570-02-9999 (Pコード406-394) / <http://pia.jp/t> (PC・携帯)
■ローソンチケット
0570-084-003 (Lコード39520) / <http://l-tike.com> (PC・携帯)

カムカムミニキーナ
<http://www.3297.jp> 03-5843-6382

い。(オフィスキュー/宣伝・喜多)



●10/6～10/10 Zepp Sapporo
10/14～22 Zepp Tokyo
10/26～30 Zepp Osaka
作・演出◇鈴井貴之
出演◇宇根剛史 田中要次 野間口徹
増沢望 他
<料金>前売(1階席)¥6000 (2階席)
5500(全席指定)
<お問い合わせ>
オフィスキュー 011-219-0939
<http://ooparts-hokkaido.net/>

TEAM JAPAN SPEC.
『終わらない修学旅行』



●如月館に閉じ込められる8人。毒ガスが放出されるまでのタイムリミットは60分。終わらない修学旅行が始まる…。自分の隣にいる人を入れ替わったって何の違和感もないような、「あたしがあたしである理由」って何? TEAM TRAIN, AIR AIRのWキャストでお届けする。TEAM JAPAN SPEC.番外公演。(TEAM JAPAN SPEC. / 制作部)
●10/6～11/10シアターグリーンBOX in BOX THEATER
作◇南慎介
演出◇不破大志
出演◇山本早織 石原あつ美 吉川綾乃 守永真彩 他
<料金>前売¥3500 当日¥3800
<お問い合わせ>TEAM JAPAN SPEC.
042-379-9615
<http://teamjapanspec.com/>

箱庭円舞曲 第十五楽章
『気付かない奴は最強』



●痛みに気付かない人は、怪我で流血しても気付かないため、そのうち失血死してしまうという。これはとても不幸な話だが、同時にとても幸せだと思う。同様のことが、才能の無さに気付かない芸術家にも言える。気付かない方が、幸せなのかもしれない。あなたは、気付かない人ですか?僕たちは、気付かないまま10周年です。(古川貴義/主宰・作・演出)
●10/6～11/10駅前劇場
作・演出◇古川貴義
出演◇小野哲史 須貝英 館岡蔵 片桐はづき 原田優理子(トリのマーク(通称)) 他
<料金>前売¥3000 当日¥3300
<お問い合わせ>
箱庭円舞曲 080-3435-3746
<http://www.hakoniwa-e.com/>

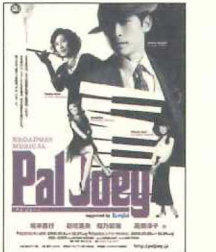
初日が
10月7日～10月13日の公演

TSミュージカルファンデーション
『月の女神ディアナ』

えんぶ特選劇チケット発売中!
●今作品はTS初の小ホールでの公演に

いつもの路地からみつ豆腐へ、そして押入れの間まで駆け巡る姉と弟…。しかし二人が本当に辿りつきたかったのは…。唐十郎最新作。(制作部)
●10/2・3・9・10・16・17◎ジブリ美術館
模、10/23・24・30・31◎雄司ヶ谷鬼子母神
作・演出◇唐十郎
出演◇唐十郎 他
<料金>「ふたりの女」(毎夕19:00開演)前売¥3500 当日¥3600
「姉とおとう」(21:00頃開演)前売¥2000 当日¥2100 ※10/9より毎土曜のみ全4回
<お問い合わせ>唐組 03-3330-8118

ブロードウェイミュージカル
『Pal Joey』
supported by b·mist



●「Pal Joey」は、1940年にブロードウェイで初演され、1957年にフランク・シナトラら大スターを迎えて映画化されたことで知られている作品です。主演にアクターとしての表現力、エンターテインメント性が高く評価されている坂本昌行、共演には、宝塚退団後今回が初のミュージカル出演と理由? TEAM TRAIN, AIR AIRのWキャストでお届けする。TEAM JAPAN SPEC.番外公演。(TEAM JAPAN SPEC. / 制作部)
●10/2～17◎青山劇場、10/22～24◎シアターBRAVA!
翻訳・訳詞・演出◇吉川 徹
振付◇リチャード・ピークマン
出演◇坂本昌行 彩吹真央 桜乃彩音 高畑淳子 他
<料金>SS席¥12000 S席¥11000 A席¥9500(全席指定・税込)
<お問い合わせ>TEAM JAPAN SPEC.
東京グローブ座 03-3366-4065
キョードーインフォメーション
06-7732-8888[大阪公演のみ]
<http://www.paljoey.jp/>

2010年創団☆新感線
30周年興行“秋”
豊年漫作チャンピオンまつり
『鋼鉄番長』



●30周年興行第二弾は、劇団☆新感線の真顔といえるお笑い満載、おポンチ炸裂の通称“ネタもの”、チャンピオンまつりを開催いたします。テーマは“小六魂(昭和)”。劇団員はほぼ総出演し、ゲストに田辺誠一、坂井真紀、池田成志を迎えます。この平均年齢オーバー40の出演者たちが、体当たりでドタバタ熱血学園アクションに挑みます!(宣伝スタッフ)
●10/4～11/7◎サンシャイン劇場
11/16～12/5◎イオン化粧品店 シアターBRAVA!
12/13～17◎嘉穂劇場
作・演出◇いのうえひでのり
出演◇橋本じゅん 古田新太 他
<料金>S席¥10500 A席¥8500 他
<お問い合わせ>
<http://www.ko-tetsu.jp>

OOPARTS
『CUT』

●「水曜どうでしょう」(HTB)のミスターが12年振りに舞台に立ちます。かつての劇団「OOPARTS」とは全く異なるソロプロジェクト「OOPARTS」の第1弾となる演劇「CUT」はライブハウスで上演。どんな舞台になるのか貴方の目で確かめてください

初日が
9月30日～10月6日の公演

あうるすぽっとチェホフフェスティバル2010
あうるすぽっとプロデュース
『長短調(または眺め身近め)』



●中野成樹が手がける「かもめ」は音楽ライブ?新人ラップグループ“みずうみ”がチェホフの「かもめ」を音楽アルバムにしました!今日はそのレコ発ライブ!みんな楽しく騒ごうぜ!…そんなコンセプトのもとこの舞台は進行します。ライブハウスでは、“みずうみ”が「かもめ」をネタにしたラップチューンを次々に披露。大熱狂のオーディエンス中に、暗い顔をした青年(トレープレフ)が一人いて……。音楽に「大谷能生」を迎え「かもめ」上演史にあらたな一頁を記します。お席は熱狂の「身近め席」に堪能の「眺め席」の二種類をご用意。(広報)
●9/30～10/3◎あうるすぽっと
原作◇アントン・チェホフ
訳意訳・演出◇中野成樹
出演◇みずうみ ほか
<料金>眺め席(劇場客席)¥3800 身近め席(ライブ会場内・スタンディング)¥3500 学生(眺め・身近め席どちらでも)¥3000(全席自由・日時指定)
<お問い合わせ>
あうるすぽっと 03-5391-0751
www.owlspot.jp

MITAKA “Next” Selection
11th 参加作品
カムキヤッセン
『やわらかいヒビ』



●「生きる」ことを描きます、と宣言することがどうも恥ずかしかったのですが、まあ恥ずかしがっていてもしょうがないので、これは一回宣言してみよう、と思ったわけです。「生きる」ことの価値でも意味でも方法でもなく、そのものについての物語にしてみようと思います。(北川大輔/主宰・脚本・演出)
●10/1～11/10◎三鷹市芸術文化センター 星のホール
脚本・演出◇北川大輔
出演◇甘粕阿紗子 金沢啓太 遠藤友香理 小島明の 板倉チヒロ(クロムモリブデン)奥田フレタ(クロムモリブデン)他
<料金>前売¥2500 当日¥2800 ※他
学割・早割などあり
<お問い合わせ>
カムキヤッセン 070-5075-1143
<http://kamuyyassen.daa.jp>

唐組
第46回公演
『ふたりの女』『姉とおとう』



●「ふたりの女」紫式部が描いた葵上と六条御息所、唐十郎のアイオイと六条が、千歳も時代も乗り越える。「姉とおとう」

う誰も止められない!プロデューサーも命懸け!!劇団の枠を超えた最強のキャストを迎え、最高のエンターテインメントをお届けします!!(京極主/プロデューサー)
●9/29～10/3◎中野 ザ・ポケット
作・演出◇桑原裕子
出演◇まいど 京極主 櫻井智也 成清正紀 植田裕一 ほか
<料金>
前売¥3500 当日¥3800(全席指定)
<お問い合わせ>
東京ヴォードヴィルショー 03-3227-8371
[info@vaudeville-show.com](http://www.vaudeville-show.com)
<http://www.vaudeville-show.com>

ルドビコ★
『花咲ける青少年』



●世界的大企業・バーンズワース財閥会長のハリーは一人娘の花鹿に、生涯の伴侶を選ぶという「夫捜しゲーム」を持ちかける。運命の出会いに惹かれあう恋の数々を舞台で魅せる。主演の花鹿をモデルのAKIRA、花鹿の一番身近な存在・做立人を久保田悠来が演じる。その他の豪華キャストにも注目の舞台!!(ルドビコ★)
●9/29～10/6◎草月ホール
原作◇樹なつみ
脚本・演出◇桜木さやか(ルドビコ★)
出演◇AKIRA 久保田悠来 大河元気 林修司(ルドビコ★) 他
<料金>
全席指定S席(特典付前方席)¥8000 A席(通常席)¥5800 B席(3階席)¥2900 当日券¥6300
<お問い合わせ>
TUFF STUFF(タフスタッフ)
080-3544-8076(平日11:00～17:00)

た男。出所後名前を変え、家庭を持ち、娘を授かった。静かに暮らす男の生活にある日突然、消し去ったはずの過去が飛び込んできた。実際に起きた凶悪な少年犯罪をモチーフにした記憶と更生と贖罪をめぐる物語です。(藤本/制作部)



●9/29～10/3◎相鉄本多劇場(横浜)
作・演出◇椎名泉水
出演◇麻生東 東享司 高野ユウジ 山ノ井史 岩井花子 他
<料金>
前売・当日共¥3000(全席指定) 月末割¥2500 学割・超遠方割¥1500
<お問い合わせ>
スタジオサルト 090-1773-2823
<http://www.studiosalt.net>

劇団東京ヴォードヴィルショー
京極主プロデュースvol.3
『Root Beers—ルートビアーズ—』



●お待ちしております!!前回公演から3年、KAKUTAの桑原裕子が傑作「Root Beers」をひき上げて東京ヴォードヴィルショーに再びなぐり込み!?こうなったらも

出演◇阿部丈二 多田直人 阿部哲子 他
<お問い合わせ>
キャラメルボックス 03-5342-0220
<http://www.caramelbox.com/>

劇団銀石
『ジーンズ』



●歴史に残る名作や失われた古代の記憶を、疾駆する身体、溢れ出す言葉、類い稀な想像力でくいまに表出する劇団銀石の第9弾は、生命起源の謎を土台に全生命を家族と捉えた一族叙事詩です。地球生命37億年の時間が眠る深海を舞台に、忘却した遺伝子の記憶を求めて、進化の系統樹を辿る冒険綺譚を劇場で体感してください!(佐野木雄太)
●9/29～10/3◎ザムザ阿佐谷
作・演出◇佐野木雄太
出演◇斉藤マツチ 内山唯美 横田秀久(以上、劇団銀石) 伊藤淳二 熊谷有芳 他
<料金>
前売一般¥2500 前売学生¥2300 前売団体(3名1組)¥6600 当日一律¥2800(平日昼割引あり)
<お問い合わせ>
劇団銀石 080-3006-3604
<http://gekidan-ginseki.com/>
info@gekidan-ginseki.com

studio salt第14回公演
『buzz』
●過去に少年Aとして罪を犯し、服役し

出します。(世田谷パブリックシアター・広報)
●9/26～10/10◎世田谷パブリックシアター
演出◇白井晃
出演◇萩原聖人 田中圭 平岩紙 銀粉蝶
<料金>
S席¥6300 A席¥4200(全席指定)
<お問い合わせ>世田谷パブリックシアターチケットセンター 03-5432-1515
<http://setagaya-pt.jp>



●1897年にパリで初演されて以来、世界中で愛されてきた傑作戯曲。世の中には星の数ほどラプストリーがありすが、この「シラノ・ド・ベルジュラック」こそがナンバーワン。シラノの熱い想いを、ぜひ見届けに来てください。(製作部)
●9/29～10/10◎俳優座劇場
<料金>¥5000(全席指定)
10/14～17◎新神戸オリエンタル劇場
<料金>
S席(1・2階)¥5000 A席(3階)¥4000(全席指定)
作◇エドモン・ロスタン
演出◇成井豊

演劇集団キャラメルボックス
成井豊の世界名作劇場
『シラノ・ド・ベルジュラック』



●1897年にパリで初演されて以来、世界中で愛されてきた傑作戯曲。世の中には星の数ほどラプストリーがありすが、この「シラノ・ド・ベルジュラック」こそがナンバーワン。シラノの熱い想いを、ぜひ見届けに来てください。(製作部)
●9/29～10/10◎俳優座劇場
<料金>¥5000(全席指定)
10/14～17◎新神戸オリエンタル劇場
<料金>
S席(1・2階)¥5000 A席(3階)¥4000(全席指定)
作◇エドモン・ロスタン
演出◇成井豊

世田谷パブリックシアター
『ガラスの葉』

●イギリスの劇作家フィリップ・リドリーによる本作を、リドリー作品を多く手がけたその世界観を知り尽くした白井晃が演出。出演に萩原聖人、田中圭、平岩紙、銀粉蝶とガラスのようにはかなく切なさに満ちたこの作品にふさわしい表現力を持つ4人を迎え、心の深遠に闇を抱えた4人家族の繊細で危うい関係を丹念に描き



石田 そんなんじゃない体持たんね。確かに一番スベリたっけ。本多 でこれみんな好きだから、結局物々交換になったとしても、スパムのこれくいの1切れと、米3合くらいと変えらるの感じの、それくらい価値があるんや。本多 じゃあ、実際価値も出てくるみたな。本多 賞味期限みてくたさい。本多 お。2013年5月25日まで。本多 ほら乗り切れた。本多 おお乗り切れるね。とりあらずしはのけるなこれ。石田 でも水ないスパムちよっとキツイな。本多 でも結構ジューシーやで。本多 ジューシーやからのどの過ぎも。本多 あーそうか、スパムでもう両方いけるていう。

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんなあかん。ほんまに。石田 犬のにおいするわ。本多 え、そうなの?石田 そうです。沖縄の人これ食べてるから長生きできるていうくらい。本多 そうなんだ。石田 うわ、僕これ苦手かもしれない。本多 それはやめて。石田 犬の味知らんやん。そんなおかしな。本多 犬飼ってる人の家の味するもん。石田 あかんで。昔犬飼ってたんで無理なんです。愛玩動物として飼ってたんで。うわあ。まあでも一缶あつて損はないと思うんですかね。石田 まあそうだな。本多 人類滅亡の危機やもんな。しよ

石田 本多、じゃあちよっと、スパム食いましよか(スパム開ける)。うわいけるかな。僕らスパム食ったことないから。本多 あ結構水分入ってますよスパムこれ結構これ。石田 うわ、犬のにおいする。本多 (笑)犬のにおいする?本多 そんな

佐藤佐吉演劇祭2010
@王子小劇場
2010年10月まで!!
http://www.en-geki.com/

王子小劇場

9.18 sat - 19 sun @ 名村造船所跡地
bakuto-osaka.com

遊劇体 090-1907-6804
http://www.geocities.jp/yu-gekitai/

劇団岸野組1990プロジェクト
『良縁・奇縁・腐れ縁』



●大火で家族を失い、旅芸人の一座で暮らす幼なじみの伊太郎・小百合。いつも惚れっぽい伊太郎は、貧乏な剣術の町道場の娘・志のぶに一目惚れ。小百合も、道場の門下生・高倉慎吾に心を奪われる。ところが志のぶと慎吾の密かな想いに気付いてしまう伊太郎・小百合。お節介な二人は、この恋を成就させようとするのだが…(劇団岸野組)
●10/23～31◎本多劇場
作◎観世桂男
演出◎岸野幸正
出演◎田中真弓 森田成一 長沢美樹 奏谷ひろみ くら 他
＜料金＞
前売一般¥5000 当日一般¥5500
＜お問い合わせ＞
劇団岸野組 048-442-2187
http://www.h3.dion.ne.jp/~kishinog/

ブロードウェイ・ミュージカル
『ワンドフルタウン』



©Tadayuki Minamoto

●あの「ウエスト・サイド・ストーリー」を生んだ、L・バーンスタインによる最高にハッピーなミュージカルコメディ日本初上陸!!!
憧れの大都会ニューヨークでチャンスをつかもうとやってきた2姉妹に起こる様々なハプニング!2人の恋と仕事の行方は?!
ソング&ダンスたっぷりのエンターテインメントで心も体も元気に!!(宣伝担当)
●10/23～11/4◎青山劇場
音楽◎L・バーンスタイン
演出◎萩田浩一
音楽監督◎島健
出演◎安蘭けい 大和田美帆 別所哲也 他
＜料金＞S席¥12000 他(全席指定/税込)
＜お問い合わせ＞
チケットスペース 03-3234-9999
wonderfultown.jp
※愛知、大阪公演有。

龍昇企画公演
『モグラ町1丁目7番地』



●作家活動に専念していた女優、劇作家、演出家の前川麻子さんが7年振りに書き下ろし絶賛をあげた『モグラ町』(08年)、『モグラ町1丁目』(09年)に続くシリーズ完結編。演出も前2作同様前川麻子氏が担当します。モグラ町に暮らす中年期の五人兄弟とその周辺のひとたちの、愛すべき大きな大人たちのお話。(龍昇/主宰)
●10/27～11/3◎こまばアゴラ劇場
作・演出◎前川麻子
演出◎塩野谷正幸(流山児★事務所)
吉岡睦雄 渡辺真起子 龍昇 他
＜料金＞予約¥3500 学生¥3000 当日¥3700(全自由席)
＜お問い合わせ＞S.T.S 03-5272-4393(平日10:00～17:00)

http://fannette.net/
MITAKA "Next" Selection 11th
参加作品
MCR
『神様さん』



●両親(国王と妃)を亡くし、自覚も責任感もないがエスカレーター式に女王として祭り上げられることになった主人公と、それをなんとか取り囲む形の「神様」と呼ばれてしまっている人たちが面白い感じに描かれます。どうぞよろしくお楽しみに。(櫻井智也◎MCR主宰・作・演出)
●10/22～31◎三鷹市芸術文化センター星のホール
作・演出◎櫻井智也
演出◎桑原裕子(KAKUTA) 有川マコ 奥田洋平(青年団) 他
＜料金＞前売¥3000 当日¥3500 高校生以下¥1000(前売・当日共)
＜お問い合わせ＞
MCR 090-4243-6100
http://www.mc-r.com/

城山羊の会プロデュース
『微笑の壁』



●CMディレクター・山内ケンジの脚本・演出によるプロデュースユニット「城山羊の会」の新作公演。主演に吹越満を迎え、夫婦とそれを取り巻く人々のドラマを、山内テイストで描く。他に、山内演劇には欠かせないキャスト、石橋けい、三浦俊輔、岡部たかし等が脇を固める。(制作担当)
●10/22～31◎ザ・スズナリ
作・演出◎山内ケンジ
演出◎吹越満 石橋けい 三浦俊輔 岡部たかし 岩谷健司 山本裕子 金子岳 恵 東加奈子
＜料金＞
前売¥3500 当日¥3800(全席指定)
＜お問い合わせ＞
イーピン企画 03-3467-9422
http://shiroyaginokai.com

遊劇体
『縄文人にあいう』



●1980年代、その熱い喜劇的世界と、力強く、見るものを圧倒する舞台で関西で絶大な人気を博した劇団、満開座の代表作『縄文人にあいう』。92年に原町ミュージアムスクエアと東京ベニサンビッドで初演。愛すべき男たちが跋扈し、禍々しくも、命をことごとく熱き舞台、遊劇体によりいま再び! (遊劇体 制作部)
●10/22～24◎伊丹アイホール
作◎仁王門大五郎
演出◎キタモトマサヤ
出演◎大熊なこ 菊谷高広 村尾オサム 坂本正巳 他
＜料金＞前売¥2500 当日¥2800(学生割引あり)
＜お問い合わせ＞

えるのか、乞うご期待! (制作スタッフ)



●10/17～24◎新国立劇場 中劇場
10/28・29◎名鉄ホール
出演◎シティボーイズ 中村有志 ザ・ギース ラバーガール
演出◎細川徹
＜料金＞¥7000(全席指定)
＜お問い合わせ＞
ASH&D 03-5456-8130
http://www.ash-d.info

初日が
10月21日～10月27日の公演

ティーファクトリー
『新宿八大伝 第五巻
犬街の夜』



●80年代の川村毅の初期代表作シリーズ「新宿八大伝」。岸田戯曲賞を受賞した「第一巻」から25年、「第四巻」から19年、30周年記念公演として、いよいよ最終巻・新作「第五巻」の登場です。『南総里見八大伝』に想を得、歌舞伎町の裏側で闇の新宿八大伝が躍る。世相を描く娯楽大作。会場は物語の舞台、新宿歌舞伎町と真ん中、旧コマ劇場の前。世代を超えた熱い俳優陣により魅せる新宿八大伝の世界、是非この新たな歴史の目撃者となって語り継いでください。(制作)

●10/21～28◎新宿FACE
作・演出◎川村毅
演出◎広田レオナ 手塚とおる 有田芳記 丸山厚人 藤谷みこ 他
＜料金＞前売¥5000 当日¥5500 ドリンク代500円当日別途 各種割引、セット券等あり
＜お問い合わせ＞
ティーファクトリー 03-3344-3005
info@tfactory.jp
http://www.tfactory.jp/

富士山アネット
『SWAN』



●本作は三大バレエの一つ「白鳥の湖」を再構築。翻弄される王子と白鳥の群れを軸に、個人と集団の関係性を描きます。長谷川翠の大胆な解釈の元、ロマンチックな名作古典が現代的な問題へと生まれ変わります。また、フジモトヨシタカ(ar)アレンジによる新たな「白鳥の湖」にもご期待ください! (清水/制作)
●10/21～24◎シアタートラム
作・演出・振付・演出◎長谷川翠
音楽◎フジモトヨシタカ(ar)
出演◎大石丈太郎 石本華江 大園康司 伊藤麻希 他
＜料金＞一般¥3000 当日¥3200/学生¥2500(全席指定)
＜お問い合わせ＞
富士山家 080-5496-7555

れて以来34年ぶりの本格的な上演。その創意的船体が再びバルテノン多摩で浮上する。(甲野/事業課)
●10/16・17◎多摩中央公園さめぎの池水上特設ステージ
作◎寺山修司
演出・音楽・美術◎J・A・シザー
出演◎演劇実験室◎万有引力 他
＜料金＞
前売¥5500 当日¥6000(全席自由)
＜お問い合わせ＞
バルテノン多摩 042-376-8181

キラリと世界で創る芝居vol.2☆
フランス
『世界は踊る
ちいさな経済のものがたり』



●フランスで大きな反響を呼んだ群集劇を、埼玉、静岡、宮崎、3つの劇場が、3都市それぞれで、日本人演出家とフランス演劇界の俊英バスカル・ランペールとの共同演出により、そこに生きる各地の市民とともに新たに創り上げ、日本版として上演。関東圏での上演は、新芸術監督・多田淳之介と贈る富士見公演のみ!お見逃しなく! (キラリ☆ふじみ制作)
●10/16・17◎富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ メインホール
企画・構成◎バスカル・ランペール エリック・メジュラン
作・演出◎バスカル・ランペール
共同演出(富士見公演)◎多田淳之介
＜料金＞前売・当日共¥2000(全席自由)
＜お問い合わせ＞富士見市民文化会館
キラリ☆ふじみ 049-268-7788
http://www.city.fujimi.saitama.jp/30shisetsu/99kirari/

シティボーイズミックス PRESENTS
『10月突然大豆のごとく』

●毎年GW恒例のシティボーイズライブが今年は10月に公演決定。メンバーは、大竹まこと・きたろう・斉木美穂のシティボーイズと、中村有志、そしてお笑いコンビ、ザ・ギース(高佐一・尾関高文)とラバーガール(飛永翼・大木洋介)。演出を手掛けるのは昨年に引き続き「男子はだまっけないよ!」の細川徹。今注目若手コント芸人がシティボーイズにどんな刺激を与

演出◎川口典成
出演◎堂下勝気 八重柏泰士 岩崎雄大 平川直大 他
＜料金＞前売¥3000 当日¥3300
＜お問い合わせ＞
ピーチャム・カンパニー 03-5373-2975
http://peachum.com

遊園地再生事業団#17
『ジャパニーズ・スリーピング/
世界でいちばん眠い場所』



●3年ぶりの新作となる本作では、今年5月に行われたリーディング公演を経て、観客の反応を受け取りつつ時間をかけて作品を成熟させ創作に臨みます。『眠り』を物語のモチーフとしながら、そこに描かれるのは「演劇についてのノート」といえるものとなるでしょう。更新され続ける宮沢章夫の新たな試みにご期待ください。(制作)
●10/15～24◎座・高円寺1
作・演出◎宮沢章夫
出演◎上村聡 田中夢 伊沢歴紀 やついいちろう 他
＜料金＞前売・当日共¥4500 学生¥3500(全席指定)
＜お問い合わせ＞遊園地再生事業団/ルアブル ticket@u-ench.com
http://u-ench.com/

『実験的幻想音楽劇 阿呆船』



●80段の大階段、800mの池、高さ8mの大バーゴラ、木々の緑、野外環境でダイナミックに繰り広げられるJ・A・シザーの演劇世界。1976年に演劇実験室◎天井桟敷により、東京・大映調布撮影所、イラン・ペルセポリス芸術祭で公演さ

作・演出◎高井浩子
出演◎瓜生和成 森啓一郎 ミギタ明日香 青海衣央里 大田景子 ほか
＜料金＞前売¥3200 当日¥3500(各種割引あり)
＜お問い合わせ＞090-6475-9699
tanbarin@pop06.odn.ne.jp
http://tanbarin.sunnyday.jp/

ハイブリッド・ジャンパーズ
『Roomer's Rumor2』



●女にもてないことで悩む男の住むマンションには、恋にやぶれて自殺した男の亡霊が住みついていた。ホラーコメディ「愛の亡霊」を含む三篇のオムニバス。昨年上演し、好評を博した「ルーマーズ ルーマー」シリーズ第二弾。三つの部屋の中で繰り広げられる三つの青春(バカ)の物語。(辻野正樹/作・演出)
●10/14～17◎新宿ゴールデン街劇場
作・演出◎辻野正樹
出演◎加賀まき 手塚みほの 阪田宗二郎 山林真紀 ドイツみちこ
＜料金＞前売・当日共¥2000
＜お問い合わせ＞
h_jumbers@yahoo.co.jp
http://jumbers.web.fc2.com/

ピーチャム・カンパニー
『口笛を吹けば嵐』



●サーカス劇場と地上3mmとが合体して生まれたピーチャム・カンパニー。3ヶ月連続の名作上演で力を蓄え、満を持して臨む最初の本公演です。15名の役者の圧倒的な熱量でもって、一千三百万人超の人口を擁する東京のく街をそっくりそのまま舞台上に立ち上げます。ぜひお見逃しなく!! (森澤友一朗/プロデューサー)
●10/14～20◎シアターワイト
脚本◎清水浩平

ベテカン
『三十女(みそおんな)』



●結成15周年、劇団員だけで送るひとつの結論。台本無し!!三十代も折り返しを迎えた女優陣3人をメインに描く「三十女(みそおんな)」!かしあるのはそのタイトルのみ。エチュードの積み重ねで作り上げ、最後まで台本(文字)には起こさないこの手法は、15年の歴史に裏打ちされたベテカンの到達した場所。(濱田龍司/主宰)
●10/13～21◎赤坂RED/THEATER
演出◎本田誠人
出演◎大治幸雄 齋田吾朗 濱田龍司 羽柴真希 長峰絵枝 四條久美子
＜料金＞前売¥3800 当日¥4300 学割¥2500(要学生証・予約。劇団のみ取扱) 特割¥3300(13日 15日、前売のみ)
＜お問い合わせ＞ベテカン 03-5944-8750
http://petekan.com

初日が
10月14日～10月20日の公演

東京タンバリン
『お買いもの』



●「お買いもの」は、その名のとおり「買いもの」という行為をモチーフにした作品です。「買いもの」は今やひとつの「文化」として存在しています。満たされるはずもないことに気づきながらも、欲望を「お買いもの」で満たそうとする人々。そんな人々の姿を通して、文明社会に生きる我々を客観的に見つめています。(永井/制作)
●10/14～20◎駅前劇場

なります。'ギリシャ神話'家族愛'記憶'をテーマに不思議な絆で結ばれた二人の女性の運命を描くミステリアスでファンタジーなミュージカル!演出の謝珠栄が今回、日本ミュージカル界にどんな新風を吹き込むかご期待下さい!!(制作)



●10/9～31◎東京芸術劇場小ホール1
構成・演出・振付◎謝珠栄
出演◎姿月あさと 湖月美奈 今拓哉 平澤智 水谷あつし
＜料金＞前売¥8000 当日¥8500
＜お問い合わせ＞TSミュージカルファンデーション 03-5738-3567
http://www.tsmusical.com/

Project Nyx
『星の王子さま』



●永久に気高く麗しくぼくの星に咲いた一輪の花よ 寺山修司とサン・テグジュペリの「星の王子さま」を融合させた、女優だけによるメルヘン歌劇。宇野重喜良の絵本から飛び出したような美しいビジュアルと人形たちは必見。カルメン・マキ、黒色すみれが、世代を超えて、乙女の夢と希望を歌い上げる。(広島かつら/プロデューサー)
●10/13～20◎吉祥寺シアター
作◎寺山修司
構成・美術◎宇野重喜良
演出◎金守珍
出演◎水嶋カンナ 今村美乃 蘭妖子 カルメン・マキ 黒色すみれ 他
＜料金＞
一般¥5000 学生シート¥3500
＜お問い合わせ＞
プロジェクト・ニクス 03-6312-7031
http://www.project-nyx.com

かわかみ ゆり 〇80年生まれ、鳥取県出身。06年単身上海。同年6月、ノゾエ征軍率いる劇団「はえぎわ」のオーディションに合格し入団。「はえぎわ」公演の他、客演多数。近年は映画やCMなどにも活躍のフィールドを広げている。

No.3

『黄昏清平』

川上友里の風物詩

一日本海側から太平洋側へー

私病院をあとにする時、父は涙ぐんでたのかもしれないぐんぐん。珍しい。年をとった父。…暗い。

厳しい夏越えまして皆様がががが過してしまいか! 夏の思い出作りになられたでしょうか。私は何年ぶりの花火大会に出掛けました。調布花火大会です。大袋に言うところ10年ぶりくらい、久しぶりすぎて人混みさ愛くるしく感じました。鳥取県の岩美町花火大会(地元の花火大会です、徒歩三分以内です)で、見たことない花火を見ることが出来ました。しかし夏は短い、暑い暑いとだるい間に過ぎ去り、もう年末の匂いが。

「もう9月だよ、ゲー早い」とかいう会話はしない。い加減気付く、だから早いんだってば二年。そういうものだから。

最近の興味といえば、「ゲゲの女房」と老いていく両親です。

先日、父の手術のため帰郷。帰る途中に本屋さんで目撃しました。60歳の親と離れて暮らす人は、親と過せる時間は実質55日。確かに。睡眠時間とかもありそうですからね、それにしても短い二月月弱。たまに腹は立つけど可愛らしい両親ですから、これかたはなるべく顔を見に行き老いていく両親を写真に撮らせます。

うちの両親は二人とも髪が薄いですが、父は会った頃からでべん髪は毛はなく、母は昔反抗期の兄に「このゲがっ!」とでも酷い」とよく言われていました。しかし、現在両親は二人とも薄いなりに健康な髪をしていますが、フワフワとした。だから今まで悩みに悩んでいた私の薄毛もこのまま保たれるかもと希望が湧いています。

秋です。蟬はもういなくなりましたが、またさぶくなりま。誰もいなくなった浜辺に、空き缶、海眺めるなら一番いい時期です。

父は入れ歯を外しています。

観劇予定

鳥公園「乳水」

9/23～26◎日暮里d-倉庫

ピクトアップは映像カルチャー誌です。

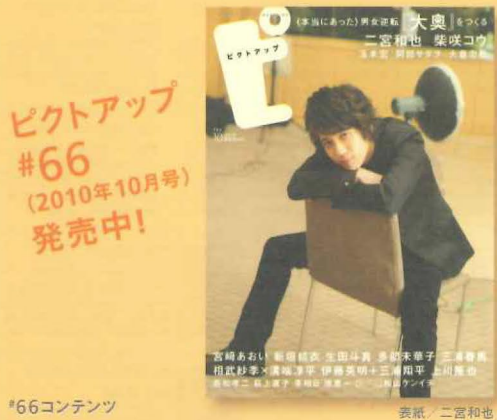
映画やドラマ、アニメーション、etc...

傑作を手がける表現者たちのスタンス、

イメージを映像に定着させる瞬間の

醍醐味など、創造力の核心を伝えます。

ピクトアップは偶数月18日発売。定価600円。
全国の書店、オンラインショップでご注文いただけます。



『66コンテンツ』

【巻頭特集】

『本当にあった』男女逆転『大奥』をつくる

男女が逆転し、1人の女將軍に3000人の美しき男が仕える大奥……。『傑作』との評価も高い、よしながふみの人気コミック。時代劇の聖地でもある(京都の東映撮影所)を拠点に、豪華キャストとスタッフたちは、奇抜な設定であるこの物語を、どのように映画化したのか?

二宮和也 柴咲コウ

玉木宏 阿部サダヲ 大倉忠義

スタッフが語る『大奥』メイキング秘話

【そのほかのコンテンツ】

この先に見る新しい形へ 『ハナミズキ〜君とわたしを人が百年後まで守るまで〜』によせて

宮崎あおい 新垣結衣 生田斗真

映画という武器で戦い続ける 灯火に託した問いかけ

『キャタピラー』監督 若松孝二 『悪人』監督 李相日

演技は赛道に似ている

上川隆也

『ナゲキシン』監製 金沢尚信

多部未華子 三浦春馬 相武紗季×溝端淳平

伊藤英明+三浦翔平 香里奈+北乃きい

山田孝之 木村多江 芦名星 松山ケンイチ

『トレント』監督 荻上直子 『カラフル』監督 原恵一

テレビがこんなに面白いのに、芝居が面白くなってどうする

シベリア少女鉄道 主宰 土屋亮一

【発行・発売】

有限会社 ピクトアップ

東京都新宿区西新宿7-19-6-202

tel 03-5348-5148 fax 03-5348-5149

オンラインショップはこちらから

<http://pict-up.com>

現空間を創り出す。『往還 地熱の荒野から』のフィナーレを飾るにふさわしい野心作にどうぞご期待下さい。(セツ寺共同スタジオ)



●10/21~25◎セツ寺共同スタジオ
演出◇天野天街
原作◇諏訪哲史
出演◇黒宮万理 時田和典 火田詮子 ほか
＜料金＞前売¥3000 当日¥3500
＜お問い合わせ＞052-221-1318
<http://nanatsudera-oukan.com>

ニブロール
『THIS IS WEATHER NEWS』



◎『ロミオとジュリエット』Kenji Iida
●『こうしたら、ああなるだろう』と予定調和を前提にして生きる現代において、現代批判でなく、回顧主義でなく、信じてきた価値観が崩壊したと言われても生き続けなければならない私たちのこれからを提示していくことを目指した作品。(あいちトリエンナーレ実行委員会)
●10/22~24◎愛知芸術文化センター・小ホール
出演◇ニブロール・矢内原美邦 高橋啓祐 矢内原充志 スカンク 伊藤剛
＜料金＞一般¥3000 当日¥3500
＜お問い合わせ＞あいちトリエンナーレ実行委員会 052-971-6124
<http://aichitriennale.jp/>

ステイプン・コーベン
『Chandelier』



◎John Hogg
●南アフリカ出身の白人、ホモ・セクシャル、ユダヤ人であるコーベンは、アイデンティティの中に潜む疑問をテーマに作品を発表している。(Chandelier)では、南アフリカのスラム街を舞台に、生きた彫刻のごとくジャンプリアを纏った作家が人々の日常を奇妙で優雅な宴客に巻き込む。(あいちトリエンナーレ実行委員会)
●10/23-24◎愛知芸術文化センター・ギャラリー G
＜料金＞¥2000
＜お問い合わせ＞あいちトリエンナーレ実行委員会 052-971-6124
<http://aichitriennale.jp/>

ローザス
『ローザス・ダンス・ローザス Rosas danst Rosas』



◎Herman Sorgeloos
●1983年にローザスを結成した4名の

<http://aichitriennale.jp/>

『4時48分サイコシス／渴望』



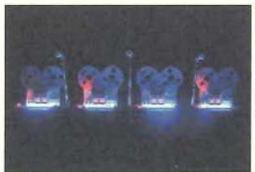
●デビュー作の過激なまでの暴力描写でイギリス演劇界にセンセーションを巻き起こし、その後重い鬱病を患い28歳で自殺した劇作家サラ・ケイン。次第にストーリーを排し、最後には登場人物の区別すらなくなった独特の、しかし限りなく美しい戯曲の言語空間に、よこしまブロッコリーのにへいたかひろが挑む。(セツ寺共同スタジオ)
●9/29~10/3◎セツ寺共同スタジオ
作◇サラ・ケイン
演出◇にへいたかひろ
出演◇おぐりまさこ 東條エミリー あぼともこ ほか
＜料金＞前売¥2500 当日¥3000
＜お問い合わせ＞052-221-1318
<http://nanatsudera-oukan.com>

平山素子
『(タイトル未定)』



◎長州賢一智
●日本のコンテンポラリーダンス界をリードする振付家・ダンサーで、卓越した身体能力と繊細かつダイナミックな表現力を持つ平山素子が、今回は長者町エリアにある創業400年の料亭河文を会場にパフォーマンスを行う。まず茶菓の呈上からパフォーマンスは始まり、それに続きダンスを上演する。(あいちトリエンナーレ実行委員会)
●10/3◎長者町・料亭河文
出演◇平山素子(ダンス) 神谷朝(ハープ)
料金◇¥4000(前売り券のみ、茶葉付)
＜お問い合わせ＞あいちトリエンナーレ実行委員会 052-971-6124
<http://aichitriennale.jp/>

オープンリールアンサンブル
『(タイトル未定)』



◎堀之内毅
●2009年より和田永を中心に、佐藤公俊、吉田悠、難波卓己、吉田匡で活動を開始。旧式のオープンリール式磁気録音機を改造し、『楽器』として演奏するグループ。長者町の特徴的な空間"旧荷さばき場"を舞台にライブ・パフォーマンスを行う。(あいちトリエンナーレ実行委員会)
●10/16-17◎長者町・旧モリリン名古屋支店ビル1階荷さばき場
料金◇無料
＜お問い合わせ＞あいちトリエンナーレ実行委員会 052-971-6124
<http://aichitriennale.jp/>

『りすん』

●名古屋を拠点に国際的に活躍する劇作家、演出家・天野天街の独特の劇世界と、名古屋在住の芥川賞作家・諏訪哲史のこれまた独特の言語世界がセツ寺共同スタジオで邂逅し、全く新しい表

テキスト・演出・舞台美術◇ヤン・ファープル
振付◇ヤン・ファープル、イヴァナ・ヨセク
出演◇アルテミス・スタヴリディ
料金◇一般¥5000 当日¥5500
＜お問い合わせ＞あいちトリエンナーレ実行委員会 052-971-6124
<http://aichitriennale.jp/>

ティム・エッチェルス&
ヴラトゥカ・ホルヴァ
『Over the Table』



◎courtesy of the artists
●フォード・エンターテインメントの芸術監督、ティム・エッチェルスとアーティスト、ヴラトゥカ・ホルヴァが、あいちトリエンナーレのための新しい共作『Over the Table』を世界初演。ステージに見立て展示室内の5つのテーブルごとに、二人の遊び心あふれる対話と交流の探求プロセスが展開する。(あいちトリエンナーレ実行委員会)
●9/22~26◎愛知芸術文化センター・ギャラリー G
＜料金＞国際美術展のチケットが必要
＜お問い合わせ＞あいちトリエンナーレ実行委員会 052-971-6124
<http://aichitriennale.jp/>

チェルフィッチュ
『わたしたちは無傷な別人である』



◎『わたしたちは無傷な別人であるのか?』Nobutaka Sato
●チェルフィッチュの特徴とされてきた、「ダダラダとした若者言葉とノイズな身体」という表現方法から自由になり、表象行為の在りようを根本から更新するために試行を繰り返しながら、演劇の新たな地平を目指した横浜でのプレビュー公演を経て、さらなる完成版として世界初上演されるものである。(あいちトリエンナーレ実行委員会)
●9/24~26◎愛知芸術文化センター・小ホール
＜料金＞一般¥3000 当日¥3500
＜お問い合わせ＞あいちトリエンナーレ実行委員会 052-971-6124
<http://aichitriennale.jp/>

アントア・ペアー
『Over The Shoulder』



◎[Laugh]Julie Pagnier
●アントニア・ペアーは、フィルム・インスタレーションなど、パフォーマンスに留まらない活動を展開してきたが、その特徴的な外見を活かしながら、感情の起伏やその表出の多様性をミニマルに作品化する。沈黙から刻々と高まるテンションの増幅を操る(Over The Shoulder)は、日本初演。(あいちトリエンナーレ実行委員会)
●9/25-26愛知芸術文化センター・ギャラリー G
＜料金＞¥2000
＜お問い合わせ＞あいちトリエンナーレ実行委員会 052-971-6124

ず映像・音・照明デザインまで担う梅田宏明。錯覚をテーマにした『Adapting for Distortion』は日本初演。色に焦点をあてた『Haptic』は、光を目に触れる物質として扱ったというパフォーマンス。(あいちトリエンナーレ実行委員会)
●9/11・12◎愛知芸術文化センター・小ホール
振付・ダンス◇梅田宏明
映像◇S20, Bertrand Baudry
＜料金＞一般¥3000 当日¥3500
＜お問い合わせ＞あいちトリエンナーレ実行委員会 052-971-6124
<http://aichitriennale.jp/>

コンタクト・ゴンゾ
『(タイトル未定)』



◎竹田伊織
●殴り合いのようで時に洗練されたダンスのような優雅な動きも垣間見える特異なパフォーマンスを行い、その模様をインターネットの動画共有サービスなどを通じて発表する。今回は会場としてパフォーマン上演を想定していた空間を散えて遊び使用する。(あいちトリエンナーレ実行委員会)
●9/18~20◎愛知芸術文化センター／搬入口B
＜料金＞無料、要整理券
＜お問い合わせ＞あいちトリエンナーレ実行委員会 052-971-6124
<http://aichitriennale.jp/>

フォード・エンターテインメント
『Quizoola!』



◎Hugo Glendinning
●日常の言葉や状況を詩的に用いつつ、神話や既成概念への挑戦、現代社会における夢や悪夢などのテーマを、多様な形式で表現するフォード・エンターテインメント。(Quizoola!)では、ピエロの化粧が融けはげかった俳優3人が質問者と回答者を交代しつつ、2000の問答を6時間にわたり即興的に繰り広げる。(あいちトリエンナーレ実行委員会)
●9/18◎愛知芸術文化センター・ギャラリーG
＜料金＞¥1000
＜お問い合わせ＞あいちトリエンナーレ実行委員会 052-971-6124
<http://aichitriennale.jp/>

ヤン・ファープル
『Another Sleepy Dusty Delta Day またもけだるい灰色のデルタデー』



◎Jean Pierre Stoop
●2008年アヴィニョン演劇祭で発表され、絶賛された女性ソロ・ダンス。激しく挑発的な作品が多いヤン・ファープルにとっては異例ともいえる、ナイヴで美しい、そして残酷なこのダンスは、最愛の母と愛する妻へのオマージュとなっている。(あいちトリエンナーレ実行委員会)
●9/18~20◎愛知芸術文化センター・小ホール

みに。(河西裕介／主宰・脚本・演出)



●9/23~27◎王子小劇場
出演◇後藤剛範 大竹沙鈴子 望月綾乃(口コ) 坂倉奈津子 深谷由梨香(柿喰う客) 梅田惟永(ろゐ) 他
＜料金＞
前売¥2800 当日¥3000(全席自由)
＜お問い合わせ＞
エビビモpro.03-5390-2728
http://www.geocities.jp/bunji_adult/

キコ(qui-co.)
2nd birthday
『ウラの目と銀杏の村』



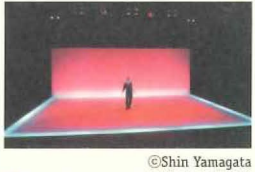
●秋雨が大銀杏の葉を墜落させる。砂埃がたちこめるアスレチックに背の小さな女の子が住み着いていた。盗品のガラクタを大切に雨に濡らる。取り返しに来た大人たちが「鬼を殺せ」と叫んでいる。彼女がなぜ鬼と呼ばれるのか?30年前の少女309人失踪事件の真相とともに鬼と人の戦争が始まる。(小栗剛／主宰・作・演出)
●10/9~14◎王子小劇場
佐藤佐吉演劇祭2010参加作品
作・演出◇小栗剛
出演◇清水那保 (DULL COLORED-POP) 如月明 酒井和哉 サキヒナタ 佐藤健士 原瑞穂 他
＜お問い合わせ＞
キコ qui-co. 090-1422-6944
<http://www.who-co.net/>

『あいちトリエンナーレ2010 パフォーミング・アーツ』



●世界最先端の目撃者になる! アートで溢れる愛知、ここでしか見ることのできない衝撃のパフォーマンス。ジャンルを超えて展開する世界最先端のパフォーミング・アーツをその目で目撃して下さい。(あいちトリエンナーレ実行委員会)
●8/21~10/31◎愛知芸術文化センター・長者町会場、納屋橋会場など
芸術監督◇建島哲
キュレーター◇唐津絵理
ゲスト・キュレーター◇エマニュエル・ド・モンガン
主催◇あいちトリエンナーレ実行委員会、愛知芸術文化センター
＜お問い合わせ＞あいちトリエンナーレ実行委員会 052-971-6124
<http://aichitriennale.jp/>

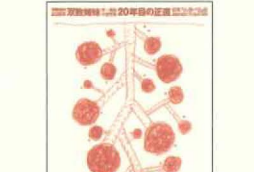
梅田宏明
『Adapting for Distortion (日本初演)』Haptic』



●自身の作品では振付・ダンスのみなら

者たちの昨日・今日・明日を映し出す感動の青春群像劇。(制作)
●11/3~7◎博品館劇場
作・演出◇宇澤晃一
出演◇坂本直弥 (ON/OFF) 坂本和弥 (ON/OFF) 岩崎大 (Studio Life) 他
＜料金＞¥6800(全席指定)
＜お問い合わせ＞
博品館劇場 03-3571-1003
<http://theater.hakuhinkan.co.jp>

双数姉妹
『20年目の正直』



●劇団創立20年、今林久枝、野口かおるら劇団員総出演で描くのは、学生時代から埋蔵金を掘り続ける6人の男女の20年。俳優二人で一人の人物の(20年前)と(今)を演じます。罪のない嘘が、閉ざされたビンの中で発酵し20年後どんな現実を醸し出すのか?20年目の集大成にご期待ください。(小池竹見 / 作・演出)
●11/7~13◎赤坂RED/THEATER
作・演出◇小池竹見
出演◇今林久枝 佐藤拓之 野口かおる 吉田麻起子 辻沢綾香 浅田よりこ 他
＜料金＞
前売¥3500 当日¥3800(全席指定)
＜お問い合わせ＞
双数姉妹 03-3227-0644
<http://www.duelsisters.com>



elePHANTMoon
『elePHANTMoon#6 again 心の余白にわずかな涙を』



●牧師の真顔と医者から性的別には男性である診断された美佐子。自らのアンテンティブに翻弄される二人の絶望の果てにある物語です。みなさんに面白いと思ってもらいたいという気持ちで毎回作品を創っていますが、今回は僕が面白ければいいと少し傲慢な気持ちで創りました。ごめんなさい。でもよろしく願います。(マキタ)
●9/16~20◎王子小劇場
脚本・演出◇マキタカズオミ
出演◇江ばら大介 石橋征太郎 立浪伸一 菊池佳南 根岸絵美 山田奈々子 他
＜料金＞前売¥2800 当日¥3000
＜お問い合わせ＞
<http://www.elephant-moon.com>
info@elephant-moon.com

国分寺大い倶楽部
『ストロベリー』
●夏の恋のお話です。2年ほど前から構想していた物語なのですが、諸事情によりなかなか上演に至らず、今回は満を持しての上演です。恋愛というテーマがあまりにもストレートなので、あえて変化球を投げてみようと思います。まあ、変化球に見せかけたストレートですが、どうぞお楽し

<http://www.ryusyokikaku.com/>

初日が
10月28日~11月7日の公演

ミュージカル『ファントム』



●'08年、鮮烈なミュージカル・デビューを果たした大沢たかお主演で完売を記録し、大ヒットした伝説のミュージカル『ファントム』。10年秋、さらに充実した大沢に豪華な新キャストを迎え、台本、舞台美術、衣装、音楽のすべてをスケールアップした壮麗豪華なグランドミュージカル。大沢ファントム、いよいよ最終幕。(広報宣伝)
●11/2~22◎赤坂ACTシアター
11/28~12/9◎梅田芸術劇場メインホール
出演◇大沢たかお 杏 樹里咲穂 篠井英介 ほか
＜料金＞S席¥13000 A席¥9000 大阪のみB席¥4000
＜お問い合わせ＞
梅田芸術劇場 06-6377-3800

カムカムミニキーナ
『水際バン屋 ~WATERFRONT BAKERY~』



●カムカムミニキーナが旗揚げ20周年に贈る三部作の第3弾!かつてリゾート地として繁栄を極めたが、30年前のシージャックテロと幽霊船騒動ですっかり人氣が途絶え、生きては出られぬ恐怖の刑務所が建つ馬場。海沿いの小さなバン屋の地下にはその刑務所へ通じる横穴が掘られていて...?20周年を記念して、チケット代金はサンキュー価格の3900円!3部作一挙上演もやります!気合と心意気の20周年、どうか見届けて下さい!(鈴木祥子 / 制作)
●11/3~17◎吉祥寺シアター(名古屋・奈良・大阪公演あり)
※11/17には3部作連続上演あり
作・演出◇松村武
出演◇八嶋智人 松村武 藤田記子 吉田晋一 田端玲実 中島崇治郎 佐藤恭子 長谷部洋子 米田弥矢 竜岡孝洋 尾裕信 篠崎祐樹 玉手みずき 浅見祐至 生山ヒジキ 安藤有希
＜料金＞前売・当日とも¥3900
＜お問合せ＞
カムカムミニキーナ 03-5843-6382
<http://www.3297.jp>

夜想曲(ノクターン)
『GOLD』



●さまざまな過去を抱えた若者たちが成功を手に入れる。その瞬間、何かが噛み合わなくなり、音もなく崩れ始める。人生という現実を知った男たちは、どこへかうのだから……。苦悩と葛藤、そして愛情と希望を美しく紡ぎだす12人の物語。若



宮沢章夫

LONG
INTERVIEW

概念化から逃れた「表現」 のあり方を思う日々

「ラジカル・ガジベリバン・システム」の都会的かつナンセンスな笑いで、松尾スズキやケラリーノ・サンドロヴィッチに影響を与えたサブカル界の雄という顔を持つ一方、小説やエッセイ、評論も書くといった文筆活動も続け、早稲田大学の教壇にも立つ。多面的に仕事を広げていく宮沢章夫だが、その胸の内では自らを「演劇人」と自覚する。02年に演劇活動を再開してから、発表する舞台の本数は微減。寡作傾向にあるものの、主宰する演劇ユニット「遊園地再生事業団」は、今年で20周年を迎えた。新作「ジャパニーズ・スリーピング／世界でいちばん眠い場所」のテーマは「眠り」。いま、宮沢章夫は何を考えているのか？ ある昼下がり、約120分のロングインタビューを敢行した。

眠りをテーマにした新作舞台

——5月30日から3日間、新作「ジャパニーズ・スリーピング／世界でいちばん眠い場所」※1のリーディング公演が行なわれました。10月に本公演が幕を開けますね。

まあ、おぼろげなことを言うと、物語じゃないものをやっているという考えがあつた作品は始まっているんです。演劇はドラマじゃなくてもいいわけで、演劇的なものは、ドラマとは別のところにもあるはずなんです。だとしたら、ドラマから逃れて「瞬間」が演劇的な情景となつて表れ、それが舞台表現になればいいと思うんですよ。やっぱり筋を追うのが当たり前だと観客は思い込んでる。そんな意識で舞台を観てしまつてしょ。それとはまた別の見方があるはずで、観客にそれを

了解してもらえらる方法が何かないかな、ということがひとつのスタートなんです。

——リーディング公演では、シーンがチャプターで区切られていて「順番通りに進むとは限らない」とスライドに書かれていました。

あれは「一応俳優がト書きを読んでる」という意味合いで出したんです。戯曲に登場人物という存在があつて、俳優はその登場人物になつて台詞をしゃべる。俳優がその登場人物になるということ自体から逃れる。そう考えると、その人がしゃべっていることはテキストに書かれた何かであつて、いわゆる「役」がしゃべっているんじゃないって感じなんです。そういうことがあると思つてやっただけだね。

——本公演に向けて戯曲はこれから書き直すことも？

書き直し、書き加えるつもりです。リーディング公演は1時間とちよつとたたからリーディングよりも役をひとつ増やそうとしているんですけど。キャストを増やさんじゃなくて、台本上の役をひとつだけ増やそうと……。こないだまでそれがどんな役柄だったか記憶してただけで、忘れちゃったんです（笑）。思いついたときはいいと思つたのに、なぜメモに取らなかったんだろ？ いま思い出している最中です。ツイッター※2につぶやいておけばよかったですよ（笑）。確か、3人の眠れない男たちが彼らが話を展開させるんだけど、そこに眠りについて何かを商売している人物を加えることを思いついた。外部の何かを入れるのがいいと思つたのは3週間くらい前です。

——眠りについて書くことと思つたそもその経緯には、ご自身の経験も含まれている？

なぜか3時間で目が覚めてしまつて

すね。まあ睡眠異常なんだけど、なぜなのかよくわからない。本を読むなどして調べていくうちに、睡眠の障害というのはとても都市的な病ではないかと考えるようになって。現代は情報がいつでも手に入る。例えばネットにしても常に情報が入るでしょ。24時間覚醒させられるという事実があつて、眠りそのものが変容していくことには時代的な意味合いがある。眠りについて考えていくと、現代のある断面が見えてくるかもしれないと思う。僕自身が睡眠異常だということもあるけれど、100人いれば100人の、眠りの困難を抱えているのではないかと思うんです。眠りをテーマにすることで、ある種の普遍性も存在するだろうし、共有できるものもあると思います。

——エッセイ※3でも睡眠異常というが、眠りにくい毎日についてお書きになつていました。いまは多少改善されましたか？

眠りに入るのは以前より楽になりましたけど、やっぱり3時間で目が覚めますね。長くて5時間くらいです。15時間寝たという人がいるけど、あれ、なんだろうと思えますよ。たまげますよ（笑）。

——レム睡眠のリズムは90分単位といいますが、宮沢さんが目覚める3時間というのは、ちよつと眠りが浅くなるタイミングかもしれないですね。

ああそうか。でも僕は最近、寝起きもよくなって。昔は割と寝起きのいい方でしたが……。で、思うんですよ。だいたい寝起きて何だと（笑）。寝起きがいいとか悪いとかいう現象はいったい何なんですかね。僕の知っている人の話ですけど、その人、すごく寝起きが悪くてね、学生時代に友だちの家に泊まつて、朝その家のお母さんが起こしにきたら、「うるせえー」て怒つたつていう（笑）。どこで寝てるのかもわかんなくなつたんだすね。

戯曲執筆は「タイトル先行」

——作品を書くにあたり、資料は手に取られましたか？

いろいろ読みました。結局、睡眠のメカニズムははっきりとは解明されていないんですよ。それで生理学的な意味とは別に睡眠には、生きるうえで必要な価値や意味があるんじゃないかと思うんです。寝ている瞬間というのは、つまり別の意識になつているわけじゃないですか。別の意識のなかで別の世界に生きているとなると、それは人間にとって必要な時間なのではないかと思うんです。夢を見るとか、無意識のなかで過ごすことが人間に力を与えていると解釈することもできる。それを書きたいんじゃないかなあと。

——思いつきでタイトルを決めたとか。そうです。いつでも僕はいたいタイトル先行ですけれどね。タイトルがないまま作品を書く、今度はタイトルを考えるのに悩んであまりうまくいかない。戯曲より先に、眠りについての小説※4を書いていたんです。その小説のなかに芝居を観ている設定があつて、そのなかでやっている芝居を書くことと相互に関連し合いながら面白いことがあるんじゃないかと。あとは死の問題といふことも繋がっていくのかな、と思います。「永遠の眠り」とか「死んだように眠る」とか、眠りを死と結びつけて考える傾向にありますよね。要するに眠りは死のメタファーである、と。死の問題についてもサブテーマとしてうまく書きたいですね。僕の子どもの頃のスターや父親の世代が死んでいく時期になったので、あらためて死を考えてみたいと思います。それからかつてのドラマでは、「死」は安易に劇のうへで悲劇を作り出せるモチーフとして

※1 「ジャパニーズ・スリーピング／世界でいちばん眠い場所」※2 ツイッター※3 エッセイ※4 小説

「遊園地再生事業団」ジャパニーズ・スリーピング／世界でいちばん眠い場所 10月15、24、25日 高円寺1
出演：上村龍太郎、牛尾千景、岡野正、山口聡、山村麻由美、伊沢原紀、ついでに……
ツイッター※2
140字以内のつぶやきを投稿し、フォローしたユーザーのつぶやきを読み情報収集できる「リツイート」機能。宮沢氏も参加しておリ「フォロー」される数は1万人以上。
http://twitter.com/aki_u_enchi
エッセイ※3
エッセイを綴るようになってから、宮沢氏の書き手としての足跡を辿ろうとしたファンも少なくない。コラム等をまとめた書籍に「牛の道」から「なつこくまじ」に至るまで、新刊文庫「1」に収録されている。宮沢氏の文庫などがある。新刊エッセイ「考えたい人」(新潮社)が発売中。
小説※4
小説家として「ヤチヂン・システムラッシュ」(文庫秋)で芥川賞候補にノミネートされたのは、本書に不在(文庫春秋)がある。

もうその時点で考え方がまったく違うんだよね。やっぱりもうコイツ、バカだからしょうがない。バカとはしゃべってもしようがないよね。自信云々じゃないんだよ。「根拠のない自信」という発想は、きわめて狭小な生き方のなかで生じるある価値のありようではない。僕はもう、いまをどうするかという考えでその都度生きているわけだから、仕事を辞めて「休む」と「自信」についてつながらないんだけどね。先のこととはどうでもいいんです。こうでなければいけないという生き方もない。

岸田戯曲賞受賞をきっかけに

——帰国後、「遊園地再生」(※29)を上演し、それが遊園地再生事業団のスタートとなります。

先のことなんて考えていなかったから、別に舞台でやっていいというつもりもなかったですね。以前からラジカルの舞台を観ていた人に声をかけられて、誘われて舞台をやることになった。作品のタイトルが「遊園地再生」で、ユニット名のようなものがあってプロデューサーに言われて、じゃあ「遊園地再生事業団」でいいやと(笑)。

で、その「遊園地再生」を観た人から声をかけられて「ヒネミ」(※30)を上演した。それがなぜか岸田戯曲賞を受賞したんです。「ヒネミ」を書いて、これを最後の舞台にしようと思っていたんですけれど、評価されたことは非常にうれしかった、そのことによって励まされた。もっと

というの結果です。目指してそこにいくんじゃない。岸田戯曲賞を獲ろうと思つて「ヒネミ」を書いたわけではないです。たまたま獲つてしまった。最後の作品だから、今まで書いたことがないものにとしよう。これまで自分が語ろうとしたかった少年時代の話や、子どもの頃、身の回りで見えたことのある出来事を盛り込んだ。評価されたことは非常にうれしかった、そのことによって励まされた。もっと

書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。

「ヒネミ」を最後にしようと思つたのはなぜだったんでしょう。

大変だから(笑)。演劇をやるのはとても大変だなあと思つて(笑)。僕自身には借金はないけど、お金もかかるし、「遊園地再生」で赤字が1000万円も出たし。

「宮沢さんはご自身をどういう出自の人だと認識していますか？ 宮沢さんを劇作家と思つている人もいれば、エッセイを書く人だと認識する人も。学生たちにとっては大学の先生でしようし。例えば、海外で職業を聞かれたら？

うーん。海外で聞かれたらどう説明するか。でもやっぱり演劇人だね。自分を「番育んでくれたのは演劇という場だと思つて、だつてもうかれこれ遊園地が20年、一番長くやつていっている仕事になります。小説も書きますし、これからもっと書くかもしれないけど、何について一番考えていたかという、やっぱり演劇について考えてきた。圧倒的にその時間が長いと思う。演劇はやっぱり自分の仕事なんだろうな

書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。

「ヒネミ」を最後にしようと思つたのはなぜだったんでしょう。

大変だから(笑)。演劇をやるのはとても大変だなあと思つて(笑)。僕自身には借金はないけど、お金もかかるし、「遊園地再生」で赤字が1000万円も出たし。



書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。

「ヒネミ」を最後にしようと思つたのはなぜだったんでしょう。

大変だから(笑)。演劇をやるのはとても大変だなあと思つて(笑)。僕自身には借金はないけど、お金もかかるし、「遊園地再生」で赤字が1000万円も出たし。

「宮沢さんはご自身をどういう出自の人だと認識していますか？ 宮沢さんを劇作家と思つている人もいれば、エッセイを書く人だと認識する人も。学生たちにとっては大学の先生でしようし。例えば、海外で職業を聞かれたら？

うーん。海外で聞かれたらどう説明するか。でもやっぱり演劇人だね。自分を「番育んでくれたのは演劇という場だと思つて、だつてもうかれこれ遊園地が20年、一番長くやつていっている仕事になります。小説も書きますし、これからもっと書くかもしれないけど、何について一番考えていたかという、やっぱり演劇について考えてきた。圧倒的にその時間が長いと思う。演劇はやっぱり自分の仕事なんだろうな

書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。

「ヒネミ」を最後にしようと思つたのはなぜだったんでしょう。

大変だから(笑)。演劇をやるのはとても大変だなあと思つて(笑)。僕自身には借金はないけど、お金もかかるし、「遊園地再生」で赤字が1000万円も出たし。

「宮沢さんはご自身をどういう出自の人だと認識していますか？ 宮沢さんを劇作家と思つている人もいれば、エッセイを書く人だと認識する人も。学生たちにとっては大学の先生でしようし。例えば、海外で職業を聞かれたら？

うーん。海外で聞かれたらどう説明するか。でもやっぱり演劇人だね。自分を「番育んでくれたのは演劇という場だと思つて、だつてもうかれこれ遊園地が20年、一番長くやつていっている仕事になります。小説も書きますし、これからもっと書くかもしれないけど、何について一番考えていたかという、やっぱり演劇について考えてきた。圧倒的にその時間が長いと思う。演劇はやっぱり自分の仕事なんだろうな

書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。

「ヒネミ」を最後にしようと思つたのはなぜだったんでしょう。

考えてみれば、もう10年も大学をやっているんだね。最初に話があったのは99年で翌年の秋に始めました。(受けた理由はまあ、やっぱり京都だからね(笑)。ま、それは冗談としても、なにより、太田省吾さん(※31)に呼ばれたのがうれしかったんです。

——実作者が大学で教えるとなると、制作の時間を削るなどしなくてはならないですね。それでも大学を選んだのは？

さっきの話に戻るけど、先のことを考えていないんですよ。やりたいと思つたらそれをやる。かといって僕は教えたいたいと思つたのかというところでもなくて、やっぱり太田省吾の近くで何かを学びたいと思つて。そばで見るのが一番大事なことですよ。何よりも、その人の振る舞いみたいなものが、一番勉強になる。太田さんに学びたいから京都に行ったんですよ。聞きたかつたことはたくさんあった。亡くなられた後に「あのことを聞いておけばよかった」と思うのはありますけど。ただ、太田さんの文章を読み返して、ようやく分かったことがある。難しいですからね、太田さんの文章は。分かりやすく書いてはくれませんが、なぜかというところや、よく書いてしまふこと自体を否定しているからですよ。それはべつに思想書のような「難解な文章」という意味ではないですよ。表面的には平易な文章です。だけどむかし。こないだも授業で読んだ太田さんの文章に、「人はものを概念化する目で見ている」という意味の一文があったんです。例えば「テーブル」に置いていた腕時計を指し「これは時計だ」と思つた瞬間に人は見なくなる。名前を出現させた瞬間に人は見なくなる。ところがそうじゃないはずなんだ。もっとよく見なければいけない。そのために概念化せずに見ることが必要になる。作品においても観る側に簡単に概念化させてはいけない。そうされないための表現方法があると太田さんは問うんだ

書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。

「ヒネミ」を最後にしようと思つたのはなぜだったんでしょう。

書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。

書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。

書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。

書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。

書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。

書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。

書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。

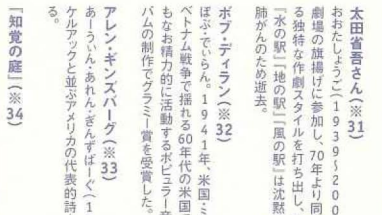
書いたと言われているように思つて、そういうことなら続けよう。背中を押してくれた人に報いなければならぬ。それであらためて演劇をやつていこうという気持ちになったんです。



「遊園地再生」(※29)
90/12/17～23◎青山246CLUB
作・演出◎宮沢章夫
出演◎ふせり 山崎一 吹越満 戸村由香 松尾スズキ 温水洋一 大河内浩 宮川賢 秋山菜津子 他



「ヒネミ」(初演)
92/11/27～12/8◎渋谷シードホール
作・演出◎宮沢章夫
出演◎ふせり 深浦加奈子 山崎一 手塚とおる 温水洋一 林和義 伊勢志摩 他



太田省吾さん(※31)
おたふ(1933～2007)。劇作家、演出家、劇団「遊園地」の旗揚げに参加し、70年より劇団主宰に。無言で劇が進行する独特な作風スタイルを打ち出し、団員の評価される代表作の「水鏡」地の駅一風の駅は沈黙劇三部作と呼ばれている。07年、肺がんのため死去。



「知覚の庭」(※34)
95/11/17～21◎青山山形劇場
作・演出◎宮沢章夫
出演◎小田豊 伊勢由美子 笠木泉 小浜正寛 杉村智子 田中夢 南波典子 三坂知絵子 他



「トーキー・ボディ」(※35)
03/12/22～2/2◎シアタートラム
作・演出◎宮沢章夫
出演◎小田豊 伊勢由美子 笠木泉 小浜正寛 杉村智子 田中夢 南波典子 三坂知絵子 他



「トーキー・ボディ」(※35)
03/12/22～2/2◎シアタートラム
作・演出◎宮沢章夫
出演◎小田豊 伊勢由美子 笠木泉 小浜正寛 杉村智子 田中夢 南波典子 三坂知絵子 他



宮沢章夫

みやざわあきお○56年生まれ。静岡県出身。劇作家、演出家、小説家。85年、竹中直人、いとうせいこうと演劇ユニット「ラジカル・カジベリバシステム」を立ち上げ、作・演出を担当する。90年から自ら「遊園地再生事業団」を率い、「ヒネミ」で第37回岸田戯曲賞を受賞。90年代後半には、岩松了、平田オリザとともに「静かな劇」の旗手として注目を集め、「砂の楽園」「あの小説の中で集まろう」「14歳の国」といった作品を発表。00年には、遊園地再生事業団の活動を休止し、京都造形芸術大学の舞台映像芸術学科助教授として、後進の指導に従事。現在は早稲田大学文化構想学部教授として教壇に立っている。02年に演劇活動を再開し、「トーキー・ボディ」ではこれまでの作風を一新。映像を多用したビジュアルに訴える舞台で注目を集める。また、小説「サーチエンジン・システムクラッシュ」は、第122回芥川賞、第13回三島由紀夫賞の候補にもなり、「不在」は小説、さらに数多くのエッセイも執筆。10年以上にわたり「一冊の本」に、連載し続けた横光利一「機械」論をまとめた「時間のかかる読書—横光利一「機械」を巡る素晴らしきぐずぐず」で第21回伊藤整文学賞を受賞。今年は遊園地再生事業団結成20周年を迎え、10月には新作「ジャパニーズ・スリーピング」世界でいちばん眠い場所」の上演を控えている。

芸術・文化活動をサポートします！

平成23年度助成対象活動募集

独立行政法人日本芸術文化振興会では、我が国の芸術・文化の向上と普及・振興を図るために、助成事業の対象となる芸術・文化活動を広く募集します。

応募受付期間
平成22年11月8日(月)
～平成22年11月19日(金)



文化庁補助金による助成
芸術水準の向上に資する創作性・芸術性の高い舞台芸術(音楽、舞踊、演劇、伝統芸能・大衆芸能)の創作活動などへの助成を行います。



芸術文化振興基金による助成
芸術の創造、普及を図るための舞台芸術公演や地域の文化活動への支援など、文化・芸術の振興・普及を図る活動への助成を行います。

お問い合わせ
独立行政法人
日本芸術文化振興会
基金部 企画調査課
〒102-8656 東京都千代田区準町4-1
TEL03-3265-6302

「募集案内」等詳細については、独立行政法人日本芸術文化振興会ホームページに掲載する予定です。
<http://www.ntj.jac.go.jp/kikin>

思ふに筆者が高校生の頃にはアイドル的な人気を誇っていた男闘呼組。そのリーダーだった前田耕陽がまさか我が地元の大阪を拠点としながらも小劇場の世界に飛び込むことになるのは、多分予想しませんでした。しかし彼が舞臺キャリアの出发点が劇団MOPの客演だったという点、関西小劇場界で活動を行うのは何かの導きだったのかも不思議。それまで舞臺は食わず嫌いだっただけで、彼の芝居はすごく面白くて、厳しい評価が多々へこんだりもしましたが(笑)この劇団のファンに認められる俳優になろうと、逆に奮起しましたね(前田)。

その後住みたいほど好きと公言していた大阪に、本当に移住し、しかしすぐに芝居をする場所が東京に比べて圧倒的に少ない、関西の実状を痛感した。だから自分分度面白く人を集めて、普段劇場に行かない方も足を運ぶことになる舞臺が作れないか(前田)という想いから「TEAM 54 PRODUCE」を立ち上げることに。そこで真先に招いたのが、関西の客演王坂口修一。しかし役者(というよりも「プロデューサー」)としてだったこの企画を提案した時、食いついてくれた人の二人。彼なら小劇場界に人脈が多いし、純粋にやりたい芝居が作れそうだと思う(前田)本格的なプロデューサーの経験はなかった。



前田耕陽
まえだこうよう 1968年生まれ、東京都出身。88年に「男闘呼組」でレコードデビュー。同グループではキーボードを務めた。93年活動休止後も、俳優・ミュージシャンとして活動中。06年に大阪に拠点を移し、TVドラマやバラエティなどで活躍する一方、ファンタジーなどの小劇場劇団の舞台にもたびたび出演している。

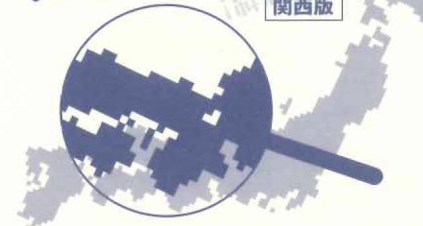
坂口修一
さかぐちしゅういち 1975年生まれ、大阪府出身。97年に劇団「TRYTHM (タートリズム)」を旗揚げし、愛敬のあるキャラで注目される。劇団解散後はフリーの俳優として、数々の舞台に出演。07～08年には「火曜日のシューイチ」という1人芝居連続100回上演企画に挑戦し、大きな話題を呼んだ。

次回予定◎TEAM 54 PRODUCE 3×3=3 待ち時間。10/29～11/2◎ソープオペラクラシック http://ameblo.jp/team54produce/

次回予定◎化石オートバイスタンプラリー 10/10～12◎In-dependent theatre 2nd 伊藤えん魔プロデュース「惑星ボーイズ」10/1～4◎ABCホール THE ORIGINAL TEMPO「眠るな、遊べ!!!」10/22～24◎HEP HALL http://tuchi.secret.jp/

特捜! エンブスケープ!

関西版



撮影◎堀川高志 (kutowans studio)



TEAM 54 PRODUCE「Return Card〜彼らからの手紙〜」
作◎原野真文 演出◎ごまのはえ(ニットキャブシアター) 出演◎前田耕陽 坂口修一 ヤナギブソン(サブラング) 岡崎秀昭 久保田浩(遊気舎) 浜本広晃(テンダラー...18日のみ) おーい! 久馬(サブラング...19日のみ) 兵動大樹(矢野・兵動...20日のみ) 7/18～20◎HEP HALL

依頼

元男闘呼組(おとこぐみ)の前田耕陽さんが、大阪の小劇場でプロデュース公演をしていると聞きました。どんな芝居をしているのでしょうか? というか、なぜ東京ではなく関西なの?

たけと、耕陽さんが「何でもやる」というから笑。僕が出演したある舞のテキストが面白かったというので、脚本を書いた原野君に、まず声をかけて演出家や出演者も僕が信頼できる人たちが揃いました(坂口)。

「Return Card」は、中年を迎えた男たちが、封印した過去に改めて向き合う物語だ。元高校球児たちのもとに、学校の部室に呼び出す手紙が届く。スナカの再会に盛り上がる人だが、そのうち話題は彼の人生を交えた乳首切りの事件へと移っていく。現在の部室で起こるドラマと、20年前の部室で起こった事件全員が、現在の姿と高校生時代の姿の二役を巧みに演じ分ける前田は登場人物の一人の父親役も演じて、計三役(という、時間軸の違う二つの話を見る、コメディ&サスペンス)の舞台だった。

「お笑いの世界からギンソン君を招いたので、普通の芝居とは違うカラーが出てたかな。たに僕が乳首切りに抵抗があったり、ギリギリまで決めたんですが、坂口君に「何でもやるって言ったでしょ?」と怒られて(笑)。彼を信じてやることにしました(前田)演出にごまを招いたのは、シニカルな感じが、いい案配に加わって、と考えると、手紙の出し主が現れるシーンで、彼のアイデアが反映された所は多いです(坂口)。この手紙のシーンとは、日替わりゲストの芸人に、重要な展開をアドリブ的に委ねてしまうというリスク。なにも小劇場だけの発想では、なかなかできない演出だ。たかもしない。

今後、信頼できる関西のプロデュースを丸抱えするスタイルで続けていこう(TEAM 54 PRODUCE)。

そして、たに、関西には「たかもしない」という。僕の周りの面白い人はほとんど関西人だから、関西自体が面白い場所のほうなんです。今は皆が東京に出て行きたがる時代だけど、その中で他の地方の人たちが関西まで観に行きたいと思える舞台を作りたい(前田)。

と前田。地元人間としては大変頼もしく嬉しい言葉だ。ちなみに坂口も、もう一度一緒にやりたいからと尋ねると、「オキッ!」と返す。たに、次は演出をお願ひしようかな(笑)。

演劇モバイル

「演モ」コラム 木曜日に新コラムニスト誕生!

関智一

お前の悩み裁いてやる!

「演劇モバイル」で 関智一のコラム連載始まる!

関智一さんに裁いて欲しい悩み、質問を大募集です

演劇を楽しむならケータイが便利! 「演劇モバイル」、好評稼働中!

有名俳優のコラム連載中! 舞台上だけじゃない! 俳優の素顔がわかるゾ!

NEW! 関智一 お前の悩み裁いてやる!

★ 演劇情報を知りたいアナタ!! 「演劇モバイル」で検索!!

人気演劇人登場! 演モ書店へようこそ

栗根まことの 貧弱ユビキタス

馬場徹の Photo+Field

富岡晃一郎の トミーの演劇気なな! / スム

松永玲子の 今夜もネットショッピング

「演劇モバイル」QRコードなら、もっと簡単!! いますぐアクセス!!

http://engeki.cave.co.jp

株式会社 ケイブ http://www.cave.co.jp

【NEWS!】

「特捜! エンブスケープ」関西版では、皆さまからの依頼をお待ちしています。「あの公演が見えなかったのでレポートして欲しい」というものから「役者の皆さんの素顔が知りたい!」「▲▲劇場の近所にある○○という店が気になるので調べて下さい」というものまで。ミューバなネタ、くだらないネタでもOKです。ただし、関西地方限定! 巻末ハガキにて「エンブスケープ」まで。

Sun!!
(ミジンコターボ)
安室奈美恵「BEST FICTION TOUR 2008-2009」
演劇の本なのになんで音楽DVDなんだと思った方。ぶったまげです。出産前までの持ち歌を1曲も歌わず、復帰後からのナンバーのみ! MCを一度もはさまず! ずっと歌い踊りあがります!!「自分を越えるのは自分しかない」と銘打って、更新の高みへとチャレンジする姿は、家の小さなテレビでも十二分に感動的。

次回予定◎ミジンコターボ「スーパーソニックジェント赤子」10/8～11◎In-dependent theatre 1st ※「僕が燃えて死ぬまでの嘘」と同時上演 http://www.mijinkoturbo.com/

山本禎顕
(スクエア)
「サマーウォーズ」
一度映画館で見て「柴ばあちゃんとの別れ」のところで号泣。冷静にもう一度見たいと思い、映画館に足を運び再度鑑賞。すると今度は、柴ばあちゃんが登場しただけで涙がぼろぼろ。おばあちゃん子の子供にとって、涙腺を驚つかみにされる映画です! 頻繁に自宅鑑賞しますが、毎回号泣であります。

次回予定◎スクエア「マンガマン」10/22～24◎ABCホール 10/28～31◎シアターグリーン http://square.serio.jp/

黒木陽子
(劇団衛星/ユニット美人)
ドラマ「フレンズ」
シーズン6のチャンドラーのプロポーズ大作戦の回は、何度見ても泣きます。古い友達同士のプロポーズを、陰からこっそり見守るような感慨深い気持ちになれるのは、シーズン1からコソ見た人だけに許される特権ですね。友達が少ない方にオススメです!

次回予定◎劇団衛星「プレビだよ!」&ユニット美人「黒い紙と3つの箱」9/18～20◎アートコミュニティスペースKAIKA (ユニット美人公演は18・19日のみ) 9/25～26◎桂木本町商店街アイアンシアター(ユニット美人公演は25日のみ) ※ユニット美人のみ9/11・12に札幌公演あり! http://www.eisei.info/

依頼

今年の秋は、なぜか思い切り泣きたい気分です。関西の役者さんには、何か取っておきの「泣けるDVD」はありますか?

087

演劇・映画業界の最前線で活躍する演出家や、映画監督、俳優、脚本家、プロデューサーなどが演技や映像制作のノウハウを直接指導。
1年後には、講師指導のもと自分達で作品をつくり、劇場公演や映画館での上映を行います。

プロが直接指導



第一線で活躍する、現役講師陣の生きたノウハウを直接吸収することができます！

業界未経験 OK



基礎から応用、実践まで段階を追って学び、未経験でも即戦力で活躍できるスキルを修得！

授業は実践主義♪



実践的な授業の中で「生きた」ノウハウを学び、表現力、技術力を磨ける！

第一線で活躍中の演出家、映画監督、俳優、脚本家に学ぶ！

1年コース
夜間部

2010年10月生募集中！

映像俳優コース

映画界で活躍中の監督がつくるオリジナル作品への演出し、その作品を映画館で公開！

専任講座

映画監督オリジナルの作品に出演！

これまでに学んだ演技や表現方法を活かし、担当講師がつくるオリジナル作品に出演。完成した作品は、1年間の集大成として実際に映画館で上映。舞台挨拶も行います！

【担当講師／専任講座】

光石富士朗

みつしふじろう●「大阪ハムレット」(08年)「おぎゃあ」(02年)等を手がけ、いずれも賞を獲得している。ことに演出の腕は群を抜いており、役者たちを生き生きとフィルムに収める手腕はみごと。最新作は「はさみhasami」



「大阪ハムレット」第21回東京国際映画祭「日本映画・ある視点」部門正式出品作品

【担当講座／専任講座】

入江悠

いりえゆう●映画監督。「SRサイタマノラッパー」(09年)「SRサイタマノラッパー2 女子ラッパー☆傷だらけのライム」(10)日本映画監督協会新人賞。ゆうばり国際ファンタスティック映画祭グランプリ。富川ファンタスティック映画祭アジア映画最高賞(韓国)。現在、新作準備中。



「SRサイタマノラッパー2 女子ラッパー☆傷だらけのライム」2010年6月全国ロードショー

カリキュラム

演技基礎、台本の読み解き方、教養講座、オーディション講座、コラボレート、身体ワークショップ、俳優ワークショップ、監督ワークショップ、専任講座

卒業
上映会



映画監督コース

映画をつくるための技術と知識を身につけ、1年後には、自分の作品を映画館で公開！

専任講座

一人一本、「本当に撮りたい映画」を撮る！

監督からアドバイスを受けながら、1人1作品、脚本から撮影、編集までを手がけます。完成した作品は、実際に映画館で上映します。

【担当講師／専任講座】

富永昌敬

とみながまさのり●「バビリオン山椒魚」(06年)「オダギリジョー、香椎由宇出演」[バンドラの匣] (09年) 染谷将太、川上未映子、仲里依紗、窪塚洋介出演などの俊英。最新作は、本谷有希子原作「乱暴と待機」(浅野忠信、美波、小池栄子、山田孝之出演／10年秋公開予定)。



「乱暴と待機」2010年10月9日、テアトル新宿ほかにて全国ロードショー
©2010「乱暴と待機」製作委員会

ENBUで夢をかなえよう！

映画監督になる！

カリキュラム

機材入門、脚本入門、撮影入門、ノンリニア編集入門、録音入門、照明入門、教養講座、コラボレート講座、短編映画制作講座、ワークショップ講座、専任講座

映画館
上映



デビューのチャンスを強力にバックアップ！

1 大手プロダクションによる
ENBUゼミ特別オーディション

【対象コース】
演劇 俳優

2 出演依頼を受けるチャンス！豊富なキャスト情報！
ENBUゼミナール俳優ファイル

【対象コース】
演劇 俳優 監督

3 プロのカメラマンによる
プロフィール写真撮影

【対象コース】
演劇 俳優

4 映画製作を積極支援！
撮影機材を卒業後も貸し出し

【対象コース】
監督

舞台上立つ！映画に出る！映画監督になる！

ENBUゼミナール

〒164-0012 東京都中野区本町2-28-11-2F

資料請求・説明会予約のお申し込みはこちらから

☎ 03-5358-5211 (10:00～22:00)

✉ enbu-info@enbuzemi.co.jp <http://enbuzemi.co.jp/>



QRコード対応機種携帯からも資料請求・ご予約いただけます
<http://enbuzemi.co.jp/m/>

演劇コース

基礎を学んだ後、様々なジャンルの表現方法を実施していきます。卒業制作ではプロの演出家とともにオリジナル作品をつくり、劇場で公演！

専任講座

オリジナル作品を実際の舞台上で公演！

1年間学んできたことの集大成として、実際に劇場公演を行います。専任講師のもとでじっくり作品づくりに取り組み、観客の前で発表することで「舞台上立つ」ことの楽しさと、可能性を体感します。



【担当講師／専任講座】

土田英生

つちだひでお●89年「B級プラクティス」(現MONO)結成。90年以降全作品の作・演出を担当する。01年「崩れた石垣、のぼる鯉たち」、09年「チェーホフを待ちながら」で第56回・第64回文化庁芸術祭優秀賞をそれぞれ受賞。並行してテレビドラマの執筆も多数。



MONO第37回公演「赤い薔」舞台写真
2010年2～3月／赤坂レッドシアター 他

ENBUで夢をかなえよう！

舞台上立つ！

カリキュラム

演技基礎、台本の読み解き方、教養講座、オーディション講座、ウェルメイド、ミュージカルコメディ、リーディング、身体ワークショップ、特別ワークショップ、専任講座

劇場
公演



演劇コース 担当講師



【担当講座／ウェルメイド】

赤堀雅秋

あかほりまさあき●劇作家、演出家、俳優。96年THE SHAMPOO HAT旗揚げ。以来全作品の作・演出、出演を担当。等身大の不格好な人間を描く作風は日常の中に存在する「ざらつき」を表現し、観る者の心に刺さる。外部での脚本、演出、俳優としての活動も多岐にわたる。



【担当講座／リーディング】

明神慈

みょうじんやす●97年よりボカリン記念会での作・演出、舎長を務める。俳優の動きや声に残像や余韻が残る濃密な時空づくりが特徴。国内外で公演や「ボカメソッド」ワークショップを展開。公演形態は本公演の他にパフォーマンス、音楽劇、リーディングなど多角的。



【担当講座／ミュージカル】

田辺茂範

たなべしげのり●95年「ロリタ男爵」を旗揚げし、脚本家、演出家として活動を開始。「バカバカしい事を仕度」をモットーに掲げたオリジナルミュージカルを展開。近年はドラマやアニメ、コトの脚本執筆など、活動の場を広げている。



【担当講座／特別ワークショップ】

河原雅彦

かわはらまさひこ●演出家・脚本家・俳優・HIGHLEG JESUS永久結成。舞台演出・出演、映画・ドラマ脚本、雑誌連載など幅広いジャンルで活躍中。06年の演出舞台「カンパニー」公演「父帰る／屋上の狂人」で第14回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。



【担当講座／コメディ】

土屋亮一

つちやりょういち●99年「シベリア少女鉄道」結成。作・演出を手掛ける。深夜のファミレス的な、くだらない衝動をあえて舞台公演として提示する作風で、演劇界のみならず各方面で注目を浴び、TV等の分野にも活動の場を広げている。現在、不定形ユニット「シベリア少女鉄道スピリッツ」として新作公演準備中。



【担当講座／特別ワークショップ】

西川浩幸

にしかわひろゆき●キャラメルボックスの看板俳優。舞台「プライベート・ライヴス」「郵便配達夫の恋」「容疑者Xの献身」、(NA)「ホワイトシアター」、(RA)「マイ・ストーリー」、(TV)「雨と夢のあとに」「お米のなみだ」(書籍)「僕はいつでもここにいます」等。



【担当講座／特別ワークショップ】

松村武

まつむらたけし●劇作家・演出家・俳優。90年「カムカムミニキーナ」を結成。作・演出・出演・主宰を一手に担う。スケールの大きな作品世界と秀逸な笑いのセンスで多くの観客を魅了する。近年、外部への脚本執筆や演出、出演など多数。劇団には八嶋智人が在籍。



【担当講座／演技基礎】

横山仁一

よこやまさみかず●舞台演出家、俳優・トレーナー、東京オレンジ主宰。俳優・高橋洋らと劇団東京オレンジを結成。自らの俳優経験を元に理論化された方法で、職業俳優としての価値ある「自分らしさ」の獲得を目指している。



【担当講座／台本の読み解き方】

板垣恭一

いたがきしょういち●舞台演出家、映像ディレクター。感情の機微を大切にし、人間の内面をいかに描く作風に定評がある。喜劇、悲劇、ミュージカルと、内容やジャンルを問わず力を発揮。プロの俳優を対象とした演技レッスンコーチなども務める。

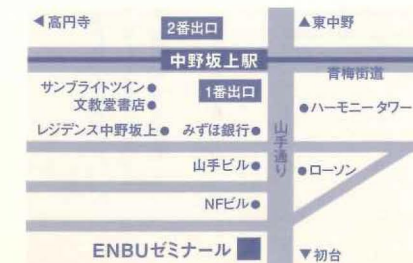


【担当講座／身体ワークショップ】

小野寺修二

おのでらしゅうじ●95年～06年まで「水と油」として活躍。01年エジンバラフェスティバルフリンジヘラルドエンジェル賞。03年第二回朝日舞台芸術賞寺山修司賞。台詞を使わずに寓話性のある舞台を創ることを旨とし、世代を超えた観客層に定評がある。現在はカンパニーデラシネラとして活動中。

撮影：神戸龍太郎



ACCESS

丸の内線 中野坂上駅 1番出口より徒歩3分
大江戸線 中野坂上駅 1番出口より徒歩3分

■ 駅からENBUゼミナールへの行き方
山手通りを初台方面へ3分程歩くと、右手に1階が100円ショップのビル見えます。そのビルの2階になります。

『学校説明会』開催中！

映画監督コース 11:00～12:30
演劇コース・映像俳優コース 13:30～15:00

★体験講座あり
(無料・予約制)

9/12 (日)
9/26 (日)
10/10 (日)

お得な

えんぶ特選チケット

割引価格は
HPへ

割引情報

演劇ぶっくが入手した“特選チケット”を特別価格で限定発売中!チケットの購入は演劇ぶっくの情報サイト演劇キックから!

9月9日発売ラインナップ

★以下は販売対象公演…オレンジの日付は昼公演、緑の日付は夜公演です。



M&Oplays+PPPPプロデュース

『窓』

▶9/16～26◎本多劇場 ▶前売¥5500 当日¥5800

作・演出◎倉持裕

出演◎高橋一生 野波麻帆 小林高鹿 ぼくもとさきこ 玉置孝匡 他

★9/16(木)、17(金)、18(土)、19(日)、20(月)、22(水)、23(木)、24(金)、25(土)



ゴジゲン

『美しきラビットパンチ』

▶9/18～26◎下北沢 駅前劇場

▶前売¥3000 当日¥3500

作・演出◎松居大悟

出演者◎加賀田浩二 東迎昴郎 星野秀介 松居大悟 目次立樹 本折哲史 香積元

★9/21(火)、22(水)、23(木)、24(金)



TSミュージカルファンデーション

『ディアナ』

▶10/8～31◎東京芸術劇場 小ホール1

▶前売¥8000 当日¥8500

構成・演出・振付◎園 珠栄

出演◎安月あさと 潮月わたる 今拓哉 平澤智 水谷あつし

★10/20(水)、25(月)、26(火)



成井豊の世界名作劇場

『シラノ・ド・ベルジュラック』

▶10/14～17◎新神戸オリエンタル劇場

▶S席¥5000 A席¥4000

作◎エドモン・ロスタン 脚訳◎渡辺守幸 演出◎成井豊

出演◎岡部哲子 岡部文二 多田直人 岡内美智子 畑中智行 他

★10/14(木)、15(金)、16(土)、17(日)



自己批判ショー

『十五周年漂流記』

▶10/15～17◎アトリエ春風舎

▶前売¥2500 当日¥2800

脚本・演出・出演◎自己批判ショー

出演◎佐伯さち子 ヨシヒロ 川崎麻里子 下尾里美 金満綾子 紺野憲和

★10/15(金)、16(土)、17(日)、17(日)



演劇集団キャラメルボックス

『サンタクロースが歌ってくれた』

▶10/30～11/7◎シアター BRAVA(大阪)

▶S席¥7000 A席¥6000

脚本・演出◎成井 豊

出演◎西川浩幸 上川隆也 近江谷太朗 大森美紀子 坂口理恵 岡田さつき 他

★11/2(火)、3(水)、4(木)、5(金)、6(土)



カムカムミニキーナ

『水際バン屋～WATERFRONT BAKERY～』

▶11/3～11/17◎吉祥寺シアター

▶前売・当日¥3900

作・演出◎松村 武

出演◎八嶋智人 松村武 藤田記子 吉田晋一 田端玲美 中島英治郎 他

★11/3(水)、4(木)、5(金)、6(土)、7(日)、8(月)、10(水)、10(水)



トム・プロジェクト プロデュース

『風間杜夫ひとり芝居』

▶11/3～10◎本多劇場

▶前売¥5500 当日¥6000

作・演出◎水谷龍二

出演◎風間杜夫

★11/3(水)、4(木)、5(金)、6(土)、7(日)、8(月)、9(火)、10(水)



キョードー東京

『アベニューQ』

▶12/15～26◎東京国際フォーラム ホールC

▶S席¥9800 A席¥7800

作曲・作詞・原案・アニメーションデザイン◎ロバート・ロベス

作曲・作詞・原案◎ジェフ・マクス 演出◎ジェイソン・ムーア

★日程は演劇キックHPをご覧ください。

チケット取り扱い・演劇キック 演ぶShop[チケット店]

enbu.co.jp/kick/shop/

携帯からも購入できます。enbu.co.jp/kick/mobile-s/



送料・手数料無料

●お問い合わせ先
株式会社えんぶ 03-3229-2424

演劇鑑賞組織「えんぶ◎観劇グループ」会員募集中!詳しくは68ページ及び、HP演劇キックをごらんください。

FROMハーダース

◆いつもは公演中のキャラメルボックスの記事が、今回は稽古中なのですね。ふだんは、公演が終わったあとに「演劇ぶっく」を読んでもニヤニヤ思い出し笑いをするのですが、今回は公演の始まる前(しかも初日前日)に読みながら、早く観たい!!という気持ちを高めつつニヤニヤ笑いました。なかなか見ることのない稽古場風景も見れ、ファンにはたまらない内容でした。今度は舞台裏が見たいです。(千葉県 会社員 もち)

◆NACSTYLEで、音尾さんと大好きな後藤さんの対談! すごく面白かったです。今後、piperの公演にNACSの客演がないかと期待してしまいます!! 今度、演劇の裏方を大解体なんて言って、見せていただくと嬉しいです。劇団☆新感線や演劇集団キャラメルボックスの照明さんや音響さんを紹介して下さい!! (千葉県 学生 湯けむり殺人)

◇前号の特集「稽古場のひみつ」お楽しみいただけたようで、安心です。真剣な作品づくりが行われる稽古場は発見の連続でした。舞台は知れば知るほど“奇跡”みたいな瞬間の積み重ねなんですね。次は舞台裏、スタッフワークですね(笑)。今後の参考にさせていただきます!

◆私は基本的に舞台に「観る側」の人間な

ので、8月号の稽古場特集はとても興味深く読ませていただきました。役者さんたちの生声、舞台に対する真剣さが感じられ嬉しくなりました。先日、野田地図「ザ・キャラクター」を観てきました! ストーリーの巧妙さ、深み、全体的にも良かったんですが、やっぱり古田さん!! 悪のカリスマ役をステキに演じていらっしゃいました。(愛知県 サービス業 樋田加菜)

◆「ザ・キャラクター」観てきました。野田演劇らしい、言葉や感じの使い方、飛び交う台詞にほれほれしてしまいました。テーマがテーマだけに明るいラストではありませんでした。観客、ひとりひとりに問いかける、素晴らしい芝居でした。それにしても、宮沢りえさんは、本当に舞台女優として華がある。これからも芝居に出続けて欲しい!! 今年、受験生なので、ひとまず観劇とはおさらば……。その間は演ぶを読んで気分をなぐさめます……。 (東京都 学生 ネイノークン)

◇観る度に衝撃を与えられる野田作品。今作も古田さん、宮沢さん、藤井さんetc.と見どころだらけでした。8月8日にやっと1月半もの本番が終わったかと思うと、9月5日には野田地図 番外公演「表に出ろい!!」が始まる野田秀樹さん。観客もなかなか気が抜けません!

◆今回待ちに待った長谷川博己さんのイン

タビューがあると知り、買わせていただきました。これまでこんなに大きく掲載されたことは無かったと思うので、本屋さんで開いた時は本当にびっくりしました。正直言うと、今までは長谷川さんの容姿に惹かれていた部分もありましたが(笑)、今回、この記事を読んで舞台上だけではわからない舞台への情熱や、役者魂が伝わってきて、より一層ファンの1人として応援していきたいと思いました。(東京都 高校生 そらこ)

◆今号は長谷川博己さんのロングインタビューが掲載されているということで、発売即購入でした。文学座の頃からずっと応援していましたが、個人的な情報についてはほとんど知りませんでした。これを読むことにより生い立ちから、俳優への道、文学座退座の理由、姉川さんの存在、俳優として幸せを感じる時等……いろいろなことを知ることができ、うれしかったです。今後のご活躍を祈っています。(静岡県 無職 KOCHORAN)

◇プリンスのような容姿+タフ+バワフル! 長谷川博己さんの魅力に魅了されたファンは、高校生からご年配の方までとても幅広かったです!全国各地より長谷川さんへの応援メッセージが多数、届きました。「ひとまず、ここで一区切り!!」ということですが、これからの活動にますます目が離せません!!

今年の夏は暑かったですね。7月に故障していた編集部のエアコンも直り、無事に夏を乗り切ることができました。東京・中野の夏はエアコンなしでは無理でした。。。いつかエアコンがなくても過ごせる場所へ引っ越したい…そんな野望を抱いた夏でした。次は11月9日にお会いしましょう。

◆2年前までは東京に住んでいたのですが、どこかの書店にも「演劇ぶっく」はあったのですが、ここ静岡岡県に引っ越してから探すのが大変で、今では定期購読者になっています。書店に走ることもなく、ゆったりした気持ちで毎月拝読しています。あと割引チケットも楽しみです。(静岡県 主婦 フジヤマさん)

◇定期購読、ありがとうございます! 全国津々浦々の書店で販売したいのですが、なかなか難しく…。とは言っても各地の大型書店では販売していますし、書店での取り寄せ注文も可能です。またネットショップ「演ぶShop[マガジン店]」(<http://enbu.co.jp/kick/>)でも購入いただけますので、ぜひご利用ください。

今回もたくさんのご意見、ご感想をありがとうございました! 巻末のハガキにて楽しかったお芝居や気になる俳優さんについてなど、お気軽にお送り下さい。ハガキの内容の一部をお便りコーナーで紹介することもあります(スペースの都合上、文章を編集する場合がありますので、ご了承ください)。みなさまからのお便りお待ちしております!

プレゼント 広場!!

巻末のアンケートハガキに希望のプレゼントの番号をご記入の上、ご応募ください。締切は9月30日(消印有効)。発表は発表をもってかえさせていただきます。

1 ナイロン100℃
「2番目、或いは3番目」
サイン入り公演パンフ/1名
敢えて「タクラミ」という言葉を用いた今号の特集。編集長いわく、この特集を企画するきっかけとなったのが「2番目、或いは3番目」であり、特に大倉孝二演じるおじいちゃんには、強いイマジネーションを受けたとか。実際、この取材中に聞けた言葉の数々は、とても興味深いものでした。そんな大倉孝二、長田宗麻のサインが入った公演パンフを1名に。

2 演劇集団キャラメルボックス
「また逢おうと電馬は言った」
サイン入りポストカード&公演Tシャツ/1名
今年の夏は「猛暑!!」というイメージが強いですが、筒井俊作と岡部文二を取材したこの日も、それはそれは「猛暑!!」という1日でした。そんな「猛暑!!」な午後3時、太陽が照りつける屋外撮影にも関わらず、笑顔で対応してくれた2人に大感謝です! その筒井&岡部のサインが入ったポストカードと、公演Tシャツ(スライブルーのSサイズ)をセットにして1名に。

Editor
園田喬
渡辺敬恵
榎原和子
矢崎亜希子

Art Direction
釣巻敬康
Design
内山絵美
諸橋藍
小野菜摘

OFFICIAL HOME PAGE
<http://www.enbu.co.jp>

次号12月号は11月9日発売

演劇ぶっく 第25巻 第5号 通巻147号
2010年9月9日発売
定価750円(本体価格714円)
発行・編集人 坂口真人
発行・編集 株式会社えんぶ
〒164-0011
東京都中野区中央5-46-5
池田ビル2F
TEL:03-3229-2424
FAX:03-3229-2423
印刷所 株式会社マルス

8 松本慎也・関戸博一
サイン入り写真/2名
舞台では対照的な姉妹を演じた松本慎也と関戸博一。とはいえ、かわいい姿には甲乙付けがたく、気がつけばどちらも応援していました。同期生の2人はつきあっても長く、実際の役作りも相談しながら進めていったなど、仲の良さやインタビュー中も印象的でした。表紙に初登場したこの2名のサインを入れた表紙カットを2名に。



5 ミュージカル
「エリザベート」
パンフ/1名
大作ミュージカル「エリザベート」で、貴族の帝王トートを演じている城田優。憧れていた役と作品に出ることができて張り切る毎日だ。初の20代トートならではの若さ+パワーで10月まで進化をめざしている。その公演の豪華パンフを。



Twitterはじめました。@enkick



by Patrick Meyers

作:パトリック・メイヤース 翻訳:小田島 雄志
演出:千葉 哲也

堤 真一 × 草薙 剛

2010年11月2日(火)～11月28日(日) 世田谷パブリックシアター 料金(全席指定・税込) S席:¥8,500 A席:¥6,500

提携:財団法人せたがや文化財団 企画・製作・お問い合わせ:シス・カンパニー TEL.03-5423-5906 <http://www.siscompany.com/>

一般前売開始日:2010年10月2日(土)

SIS
company

【前売チケット取扱い】 ※インターネットでのチケット販売はございません。ご希望の公演日をご確認の上、お電話ください。 ※発売日翌日(10/3)以降は、残席がある場合のみお取り扱いいたします。
※0570から始まる番号は、一部携帯電話、PHS、CATV接続電話、IP電話からはご利用できません。

- ◎チケットぴあ……………●0570-02-9970(発売初日特電 10:00～23:30 Pコード不要) ●0570-02-9999(10/3以降 音声認識予約 Pコード406-495)
●チケットぴあ店舗、サークルK・サンクスでも直接販売
- ◎ローソンチケット……………●0570-084-099(発売初日特電 10:00～18:00 Lコード不要) ●0570-084-003(10/2 18:00以降 Lコード30090) ●0570-000-407(10/2 18:00以降 オペレーター予約)
●ローソン店舗(店内Loppi)でも直接販売
- ◎イープラス……………●0570-06-9943(公演専用特電) ●ファミリーマート店舗(店内Famiポート)でも直接販売
- ◎CNプレイガイド……………●0570-08-9933(発売初日特電 10:00～18:00) ●0570-08-9999(10/3以降 10:00～18:00 オペレーター予約) ●セブン・イレブン(店内マルコピー機)でも直接販売
- ◎劇場チケットセンター……………●0570-02-1159(発売初日特電 10:00～19:00 初日のみ店頭販売なし) ●03-5432-1515(10/3以降 10:00～19:00)

【当日券】全ステージ開演1時間前より販売いたします。詳細はお問い合わせください。

2010年	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
11月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
15:00	●	休			●	●			休			●	●		●	休			●	●	★		休		●	●	
19:00	●	演	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●

※開場は開演の30分前

★印公演(11/22)のみ、14:00開演となります。
ご注意ください。

【ご注意】小学生未満のお子様はご入場いただけません。

【車イスで会場のお客様へ】 ◎車イススペースのご利用…車イスのままで観劇されるお客様は、車イススペースをご予約ください。一般前売開始日より、劇場チケットセンター(03-5432-1515)にお申し込みください。(予定枚数終了次第締切)

◎お座席での観劇…お座席にご自身で移動可能な方は、チケットご購入後、当日の安全でスムーズなご案内のために、公演日前日までに席番をシス・カンパニーへお知らせください。

【託児サービス】全公演託児サービスをご利用いただけます。お申込み:03-5432-1530(世田谷パブリックシアター)

お申込み〆切:ご利用希望日3日前の正午まで。定員制・要予約・料金¥2,000 対象:生後6ヶ月以上9歳未満(障害のあるお子様についてはご相談ください。)

雑誌02063-10

定価750円 本体714円



4910020631008
00714